

令和4年度

農作物有害動植物発生予察年報

愛媛県病害虫防除所

愛媛県農林水産研究所農業研究部

病理昆虫室 発生予察グループ

令和4年度農作物有害動植物発生予察年報 目次

I	病虫害防除所の概況	1
1	沿革	
2	所管事項	
3	管内の概況	
4	重点事項	
II	病虫害発生予察の対象病虫害・予察圃場	4
1	指定有害動植物	
2	指定外有害動植物	
3	病虫害発生予察圃場	
III	病虫害発生予察情報・防除技術情報	7
1	病虫害発生予察情報	
2	病虫害発生予察注意報	
3	病虫害発生予察特殊報	
4	病虫害防除技術情報	
IV	病虫害の発生及び防除状況	44
1	発生経過・発生原因及び防除の概要	
2	病虫害発生程度別面積及び防除面積（県全体）	
V	調査観察成績	57
1	水稻	57
1)	病虫害調査（予察圃場）	
2)	広域調査 (いもち病、ウンカ類、コブノメイガ、斑点米カメムシ類)	
2	麦	77
1)	麦類赤かび病（子のう胞子飛散量調査）	
2)	広域調査	
3	大豆	79
1)	広域調査	

4	かんきつ	80
	1) 病害調査	
	2) 害虫調査	
	3) 広域調査 (かいよう病・ヤノネカイガラムシ・秋季調査)	
5	かき	93
	1) 病害調査	
	2) 害虫調査	
6	キウイフルーツ	97
	1) かいよう病調査	
7	野菜	98
	1) 病虫害調査	
	2) 広域調査 (いちご育苗床調査・たまねぎ白色疫病・たまねぎべと病)	
8	トラップ等による害虫の発消長調査	117
	1) 予察灯による一般害虫の発消長調査	
	2) 予察灯による水稻海外飛来性害虫の調査	
	3) 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ) の越冬状況調査	
	4) 予察灯・集合フェロモントラップによる果樹カメムシ類の発消長調査	
	5) 性フェロモントラップ等による野菜等害虫の発消長調査	
9	病虫害発生予察速報	135
VI	病虫害防除指導	137
	1 協議会等への参加状況	
	2 病虫害等診断件数	
VII	植物防疫関係調査成績	142
	1 重要病虫害侵入警戒調査事業	
	2 中四国防除所職員等協議会発表要旨	
	3 成績概要書	

I 病虫害防除所の概況

1 沿革

- 昭和27年6月1日 植物防疫法第32条及び愛媛県病虫害防除所等に関する条例（第17号）の規定に基づき、県内12郡に各地方病虫害防除所が設置され、業務遂行に当たっては、旧農林事務所、農業改良普及所、農業試験場（地区予察員）などの長及び職員が兼務で業務を行ってきた。
- 昭和46年4月1日 国は、昭和45年度より3か年計画で防除所の整備統合を図り、本県では、昭和46年に県下3か所に統合することとし、東予、中予及び南予病虫害防除所として発生予察及び防除指導の体制整備がなされた。
- 昭和48年4月1日 機構改革に伴い、愛媛県病虫害防除所等に関する条例（第18号に改正）の一部改正により、大洲市及び喜多郡の1市5町村が中予病虫害防除所から南予病虫害防除所の管轄区域となった。
- 昭和63年4月1日 県では、業務推進の効率化、合理化を図るため、愛媛県病虫害防除所等に関する条例の一部改正により、愛媛県病虫害防除所を1所に統合し、東予支所及び南予支所を設置した。
- 平成20年4月1日 県では、病虫害防除所の再編整備を図り、愛媛県病虫害防除所等に関する条例の一部改正により、東予支所と南予支所を廃止し、南予駐在を置いた。

愛媛県病虫害防除所の位置、名称及び管轄（担当）区域

位置	名称	管轄（担当）区域	備考
【松山市】 松山市上難波甲311	愛媛県病虫害防除所	【愛媛県一円】 松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町、今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、上島町	【兼務職員】 農林水産研究所 農業研究部 4名 果樹研究センター 6名 東予地方局産業振興課 1名
【宇和島市】 宇和島市吉田町法花津7-115	南予駐在	【愛媛県一円】 宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	

2 所管事項

(1) 病虫害の発生予察に関すること

「農作物有害動植物発生予察事業調査実施基準」に基づいて、普通作物、果樹、野菜の病虫害の発生予察を実施し、その調査結果を基に毎月（月初め）の発生予報、必要に応じて警報、注意報、特殊報及び病虫害防除技術情報を作成し、関係機関・団体へ情報提供する。

(2) 病虫害の防除指導に関すること

病虫害の発生状況及び防除技術情報の的確な把握に努め、関係機関・団体との密接な連携により、病虫害の発生生態に応じた効率的・総合的な防除を指導する。

(3) その他植物防疫に関すること

新たな発生病虫害及び難防除病虫害の発生生態と防除対策、薬剤に対する感受性の低下に伴う有効薬剤の探索や防除対策の確立など、地域課題解決のための調査を実施する。

3 管内の概況

愛媛県病虫害防除所の管轄区域は愛媛県一円である。この中で、担当区域を東予・中予区域及び南予駐在担当による南予区域に区分している。その概要は下図に示すとおりである。

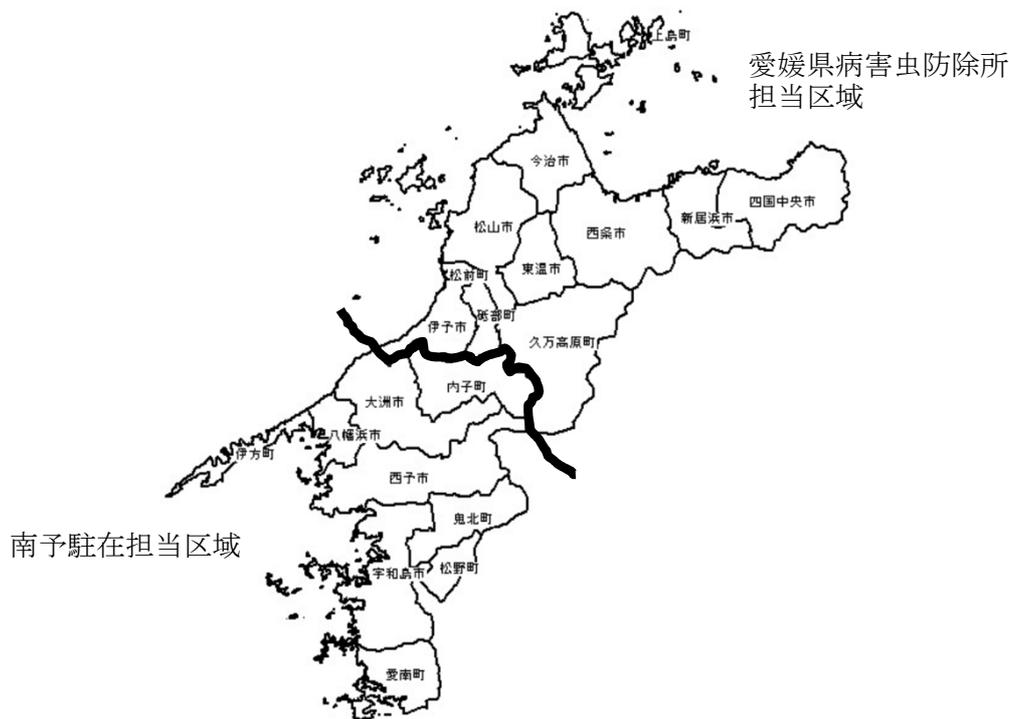


図 愛媛県病虫害防除所における担当区域

4 重点事項

(1) 発生予察情報の作成並びに業務の効率的推進

毎月末に、病虫害防除所、農林水産研究所農業研究部及び果樹研究センター、農産園芸課の関係職員を参集し予察情報作成会議を開催して病虫害発生予察月報及び病虫害発生予察月報を作成した。また、効率的な植物防疫業務を推進するため、当面する技術課題や新しい知見等について、関係機関との調整や技術指導の一元化を図った。発生予察情報や調査データは、病虫害防除所ホームページに掲載し、迅速な情報発信に努めた。

(2) 発生予察精度の向上

発生予察技術の精度向上を図るため、J P P - N E T 情報等コンピュータの利用による最新情報の収集、全国の病虫害発生状況の把握及び発生予察技術の改善に努めた。

II 病虫害発生予察の対象病虫害・予察圃場

1 指定有害動植物

作物名	病害名	害虫名
水稲	稲こうじ病、いもち病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、紋枯病	イネミズゾウムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ
麦	赤かび病、うどんこ病	
大豆		アブラムシ類、吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ
いちご	うどんこ病、炭疽病、灰色かび病	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ
キャベツ	菌核病、黒腐病	コナガ、アブラムシ類、オオタバコガ
きゅうり	うどんこ病、褐斑病、灰色かび病、べと病	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ
トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病	アブラムシ類、コナジラミ類、オオタバコガ
なす	うどんこ病、灰色かび病	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ
かき	炭疽病	アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類、果樹カメムシ類
かんきつ	かいよう病、黒点病、そうか病	アブラムシ類、ハダニ類、果樹カメムシ類
キウイフルーツ	かいよう病	果樹カメムシ類
さといも		ハスモンヨトウ
たまねぎ	白色疫病、べと病	アザミウマ類

2 指定外有害動植物

作物名	病害名	害虫名
水稻	ごま葉枯病、萎縮病、白葉枯病、苗立枯病	アワヨトウ、イチモンジセセリ（イネツトムシ）、イネキモグリバエ（カラバエ）、イネゾウムシ、イネヨトウ、スクミリンゴガイ、イネシンガレセンチュウ
麦	さび病類、株腐病、黒節病、縞萎縮病、斑葉病、裸黒穂病、黒穂病	アブラムシ類
大豆	べと病、白絹病	ハダニ類
キャベツ	べと病、株腐病、軟腐病	モンシロチョウ
さといも	疫病	ハダニ類、アブラムシ類
たまねぎ	ボトリチス属菌による葉枯病	
いちご	輪斑病、萎黄病、疫病、芽枯病、菌核病	ドウガネブイブイ、コナジラミ類
きゅうり	つる割病、つる枯病、モザイク病、疫病、黄化えそ病、菌核病、黒星病、退緑黄化病、炭疽病、白絹病、斑点細菌病、苗立枯病、ふち枯れ細菌病	ウリノメイガ、ウリハムシ、ハダニ類、ハモグリバエ類
トマト	ウイルス病、うどんこ病、かいよう病、すすかび病、モザイク病、萎ちょう病、黄化葉巻病、根腐萎ちょう病、青枯病、軟腐病、斑点細菌病、輪紋病	タバコガ類(オオタバコガを除く)、ハモグリバエ類
なす	すすかび病、褐色腐敗病、青枯病、半枯病、半身萎ちょう病、綿疫病	コナジラミ類、チャノホコリダニ、テントウムシダマシ類、ハモグリバエ類、ホコリダニ、マメハモグリバエ
かき	うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、落葉病	イラガ
かんきつ	灰色かび病、褐色腐敗病、青・緑かび病、	アザミウマ類、カイガラムシ類、ゴマダラカミキリ、サビダニ類、チャノホコリダニ、ミカンサビダニ、ミカントゲコナジラミ、ミカンハモグリガ、ロウムシ類、果実吸蛾類
キウイフルーツ	花腐細菌病	クワシロカイガラムシ
びわ		ビワキジラミ

3 病虫害発生予察圃場

	調査圃場数	作型 内訳	東・中予	南予	備考
水稻	31		23	8	
麦	3		2	1	広域
大豆	2		1	1	広域
いちご	10		6	4	
キャベツ	5		3	2	春キャベツ
きゅうり	13	5	3	2	夏秋キュウリ
		8	3	5	冬春キュウリ
トマト	8	1	1	0	夏秋トマト
		7	4	3	冬春トマト
なす	8	4	3	1	夏秋なす
		4	3	1	冬春なす
かき	9		5	4	
かんきつ	31		17	14	
キウイフルーツ	18		12	6	
さといも	6		5	1	
タマネギ	6		3	3	
計	150		94	56	

Ⅲ 病虫害発生予察情報・防除技術情報

1 病虫害発生予察情報

毎月1回、病虫害発生予察情報及び月報を作成し発表した。多発が予想された病虫害について病虫害発生予察注意報を3報発出した。さらに、発生予報情報を補完して、発生状況や防除対策に関する情報提供をする必要が認められたため病虫害防除技術情報を10報発出した。なお、本県で初めて発生が確認された病虫害について発出する病虫害発生特殊報は1報発出した。

各種情報は、全農えひめ、農業協同組合、農業共済組合、農薬販売業者、農業高等学校、市町、農林水産省関係機関、県関係機関（農産園芸課、農林水産研究所、果樹研究センター、農業大学校など）の136ヶ所に対して電子メールを利用して迅速に情報提供した。

1) 発生予報の内容

(1) 普通作（発生予報）

発生予報対象（令和4年度）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発表月日		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
病虫害名		31日	28日	31日	30日	29日	31日	30日	31日	30日	28日	31日	28日
水 稲	いもち病		育苗～ 本田初期 並～やや多	葉いもち： やや多～多	(普通期) 葉いもち ：並 (早期) 葉いもち・ 穂いもち ：並	(普通期) 葉いもち ：やや少 (早期) 穂いもち ：やや少	穂いもち： 並						
	紋枯病				並～やや多	やや多～多	やや多						
	稲こうじ病												
	イネミズゾウムシ		発生時期： 早い	並～やや多									
	ヒメトビウンカ			並									
	セジロウンカ			－	飛来時期：早 今後の飛来量 に注意	やや少							
	トビイロウンカ			－	飛来時期：今 後の飛来に注 意 今後の飛来量 に注意	並	やや多～多	やや多～多					
	ツマグロヨコバイ			並		並							
	コブノメイガ				飛来時期・飛 来量：今後の 飛来に注意	(普通期) 並～やや多							
	イチモンジセセリ					(第2世代) 並							
フタオビコヤガ					少								
斑点米カメムシ類				並～やや多	やや多～多	並～やや多							
麦	赤かび病	並	並～やや多										
	アブラムシ類												
大豆	ハスモンヨトウ				やや多～多	やや多～多	並～やや多	やや多					
	吸実性カメムシ類						並	やや多～多					

注) 注意は、防除上の注意を記載（発生量には言及せず）。

(2) 果樹（発生予報）

発生予報対象（令和4年度）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発表月日		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
病害虫名		31日	28日	31日	30日	29日	31日	30日	31日	30日	28日	31日	28日
かんきつ	かいよう病	多	やや多～多	やや多～多	並	やや少～並	並～やや多	やや多～多					
	そうか病	やや少	並～やや多	並～やや多									
	灰色かび病												
	黒点病			並～やや多	やや少	少	やや少～並						
	褐色腐敗病							並～やや多					
	貯蔵病害							やや多～多	並～やや多				
	ミカンハダニ		やや少～並	並～やや多	並	並～やや多	少～やや少	並	やや少	並～やや多			並～やや多
	アブラムシ類		並～やや多										
	ミカンサビダニ					並～やや多	並						
ヤノネカイガラムシ			発生時期： 並 発生量：並		(第2世代)発生時期： やや早								
かき	炭疽病	並	やや多	並～やや多	やや少	並～やや多	やや多	やや多					
	うどんこ病			やや少	やや少	やや少	並						
	カキノヘタムシガ			発生時期： 並									
	フジコナカイガラムシ			並	やや少	(第2世代) 並							
キウイフルーツ	かいよう病	発生注意	発生注意	発生拡大注意	発生拡大注意						発生注意	発生注意	
果樹全般	カメムシ類	並～やや多 飛来時期： やや早	並～やや多 飛来時期： 早い	やや多	多	(新成虫) やや少～並	並	少					

注) 注意は、防除上の注意を記載（発生量には言及せず）。

(3) 野菜（発生予報）

発生予報対象（令和4年度）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発表月日		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
病害虫名		31日	28日	31日	30日	29日	31日	30日	31日	30日	28日	31日	28日
作型		冬春きゅうり			夏秋きゅうり			冬春きゅうり					
きゅうり	黄化えそ病				やや多	やや少	やや少		並	並～やや多	やや少	並	
	灰色かび病	やや少	やや多～多								やや多	やや少～並	やや少～並
	べと病	並	やや多～多				やや少			やや少	並～やや多	やや少～並	やや少
	褐斑病		並			やや多	やや多～多		並	やや少	やや少～並		
	炭疽病					やや多	やや多～多						
	うどんこ病								やや少	並～やや多	やや少～少		
	シキイロアザミマ		やや多～多	並～やや多	多								多
	コナジラミ類										やや少		ワジフ： 並～やや多 カゴ： やや多～多
アブラムシ類									並～やや多				
いちご		本圃		育苗床			本圃						
	灰色かび病	やや少	やや多～多								やや多	やや多～多	やや少～並
	うどんこ病		やや多～多	やや多	少				並	並～やや多	並～やや多	並	やや多
	炭疽病			やや多	並～やや多	並～やや多	やや少～並		やや多				
	ハダニ類	やや多～多	やや多			やや多～多	多	やや多～多	やや少	並～やや多	並	並	やや多
	ハスモンヨトウ						並～やや多	やや多～多					
	アザミウマ類	やや多	やや多～多									やや多～多	やや多～多
	コナジラミ類					やや多～多					ワジフ： やや少 カゴ： 多		ワジフ： 並～やや多 カゴ： やや多～多
アブラムシ類	やや多～多						やや少～並	並～やや多	やや多～多	並	多	やや多～多	
トマト		作型		冬春トマト		夏秋トマト			冬春トマト				
	黄化葉巻病												
	灰色かび病	やや少	やや多～多								やや多	やや少～並	やや少～並
	葉かび病					やや少～並							
	アブラムシ類									並～やや多			
コナジラミ類	並		並						並	並～やや多	やや少	やや少～並	ワジフ： 並～やや多 カゴ： やや多～多
なす		作型		冬春ナス		夏秋ナス			冬春ナス				
	灰色かび病		やや多～多										
	アブラムシ類												
	シキイロアザミマ		やや多～多	並～やや多	多								
たまねぎ	白色疫病											少～やや少	やや少
	べと病	多	多										やや少
	ネギアザミウマ	やや多	並										多
キャベツ	菌核病	並										やや少～並	
	コナガ		やや多										

発生予報対象（令和4年度）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発表月日		3月 31日	4月 28日	5月 31日	6月 30日	7月 29日	8月 31日	9月 30日	10月 31日	11月 30日	12月 28日	1月 31日	2月 28日
病害虫名													
さ と い も	アブラムシ類					やや多～多	やや多～多						
	ハスモンヨトウ				やや多～多	やや多～多	並～やや多						
	ハダニ類					やや多～多	多						
野 菜 全 般	灰色かび病				少								
	アブラムシ類			やや少	やや多～多	やや多～多	やや多～多	やや多～多	やや少～並				
	ハスモンヨトウ			並～やや多	やや多～多	やや多～多		やや多～多	やや多～多				
	シロイチモジヨトウ			並～やや多	やや多～多	やや多～多	やや多～多	やや多	並				
	オオタバコガ			並～やや多	やや多	やや多～多	やや多～多	やや多	並				
	コナジラミ類				やや多～多	やや多～多							
	ハダニ類				やや多～多	やや多～多	多	やや多～多					
	コナガ			並									

2 病虫害発生予察注意報

令和4年度 病虫害発生予察注意報（第1号）

4 愛防第15号
令和4年5月31日

病虫害名 かいよう病

作物 かんきつ類（伊予柑、甘平、はれひめ等罹病性品種）

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 やや多～多

3 注意報発表の根拠

ア) 伊予柑および甘平での越冬病斑量（2月調査）は、両品種とも多であった。

イ) 5月中旬の定点調査における春葉の発病葉率・発病度は、ともに平年に比べて高く、特に東中予地域では高い傾向であった（表1）。

ウ) 5月26日発表の1か月予報（高松地方气象台）では、降水量は平年並か多いとされており、発生にやや助長的であり、今後の降雨や強風等でさらに発生が拡大すると予想される。

4 防除上の注意

ア) 旧葉の発病葉は、病原菌の密度抑制のため、除去に努める。

イ) 強風による付傷やミカンハモグリガの食害痕は発病助長に直結するので、防風垣や防風ネットを整備するとともに、ミカンハモグリガの防除を徹底する（県防除指針 P.107 参照）。

ウ) 梅雨時期の連続降雨は発生を助長するので薬剤散布に努める（表2）。薬剤散布にあたっては、高温時の散布は薬害発生の恐れがあるので注意する。

エ) 散布液の霧を細かくして散布し、薬液が葉から滴り落ちるほどには散布しない。



写真1 葉の発病（品種：はれひめ）



写真2 葉の発病（品種：伊予柑）

表1 かんきつかいよう病の発生調査結果(5月中旬調査)

地域	調査園地数	発病葉率(%)		発病度	
		R4	平年	R4	平年
東予	7	2.26	0.00	0.55	0.00
中予	10	1.42	0.04	0.35	0.03
南予	14	0.06	0.16	0.01	0.04
県全体	31	0.99	0.09	0.24	0.02

1)調査対象品種:伊予柑、甘平、はれひめ、愛媛果試第28号、せとか、夏柑、温州みかん

2)平年:H24~R3の平均値

表2 かんきつかいよう病に対する防除薬剤

薬剤名	濃度	使用時期/使用回数	備考
ICボルドー66D	200倍	—/—	マシン油との近接散布薬害注意 (14日程度空ける)
コサイド3000	2,000倍	生育期/—	薬害軽減のため炭酸カルシウム剤 (200倍)加用
ムッシュボルドーDF	1,000倍	—/—	
クプロシールド	2,000倍	—/—	
マイコシールド	1,000倍	収穫30日前まで/2回以内	

1)薬剤は、令和4年度愛媛県農作物等病害虫防除指針より抜粋

病虫害名 果樹カメムシ類
(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)

対象作物 うめ、もも、キウイフルーツ、なし、すもも、かんきつ、かき等

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 やや多～多

3 注意報発表の根拠

- (1) 本年のチャバネアオカメムシの越冬量は、県下40カ所調査の平均値によると越冬虫数は、県全体では0.93頭/2m²（平年：1.05頭/2m²）と平年並であったが、東予地域では1.00頭/2m²（平年：0.58頭/2m²）とやや多となっていた（図1）。
- (2) 県下5カ所の集合フェロモントラップ調査では、2地点で5月第4～5半旬に急増し、平年より多く誘殺されている（図2）。
- (3) 5月26日の1か月予報（高松地方気象台発表）では、気温は平年並か高いとされており、今後の気温上昇にともない越冬成虫（7月頃まで生存）の果樹園への飛来数は増加してくるものと予想される。

4 防除上の注意

- (1) もも、なしでは園内への飛来に注意し、早めに袋掛けを終える。
- (2) かんきつでは開花期頃から園内への飛来が予想され、大量飛来は落花(果)被害を引き起こす恐れがあり、かきにおいても園地への飛来と被害には十分注意する。
- (3) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (4) 主に山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。
- (5) 園地で飛来を確認した場合には、各地域の防除暦に従いただちに薬剤防除を行う。
- (6) 飛来が長期間続く場合は、継続的な防除が必要である。
- (7) 薬剤は登録内容に応じて使用する（表1）。なお、薬剤の種類によっては周辺作物や生物（魚・蚕・ミツバチなど）に影響を及ぼし、カイガラムシ類、ハダニ類の異常増殖（リサージェンス現象）を生じる恐れがあるので選択に注意する。

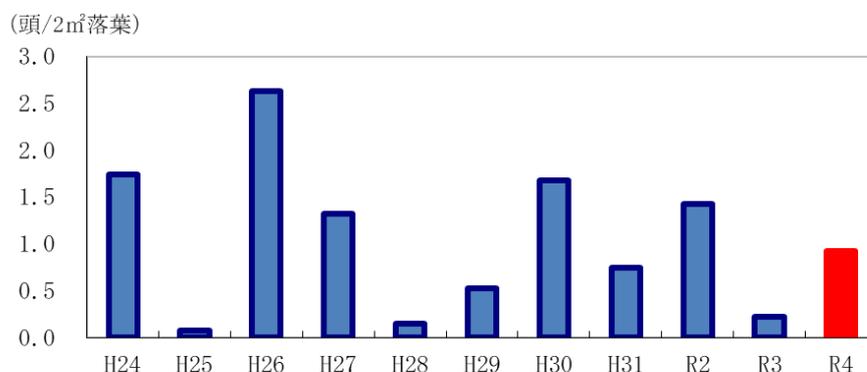


図1 チャバネアオカメムシの越冬量調査（全県）

調査法：令和4年2月に、広葉樹の落葉2m²（1m²×2）分を加温した室内に置き、11日後生存虫数を調査

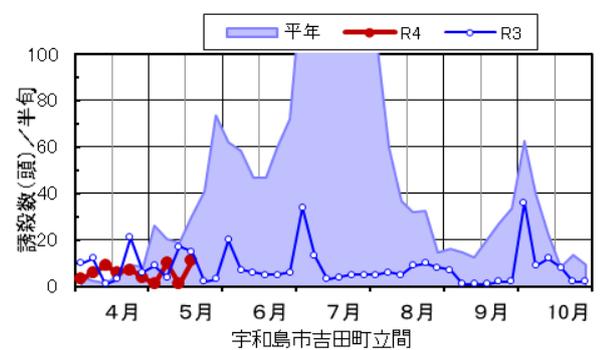
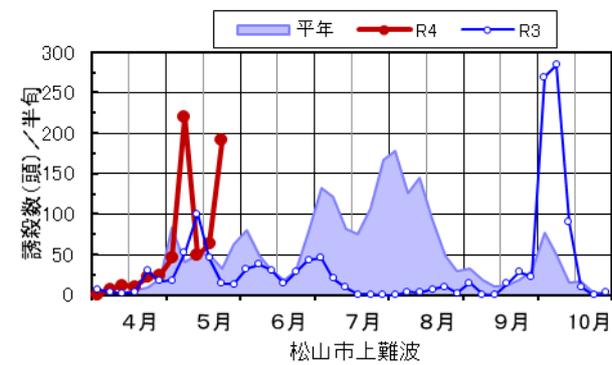
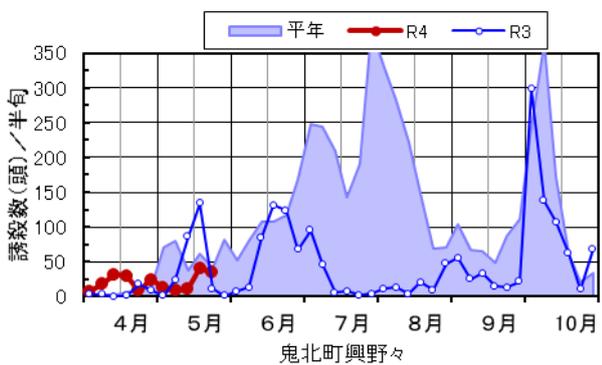
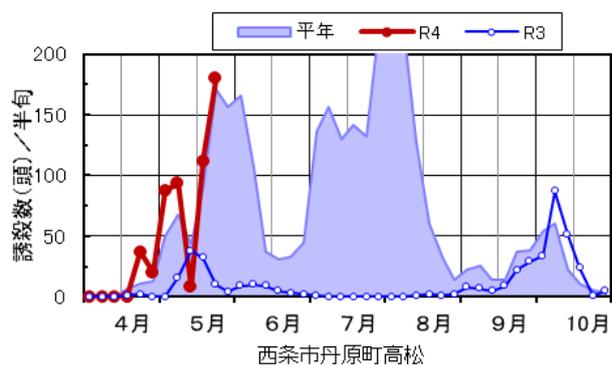
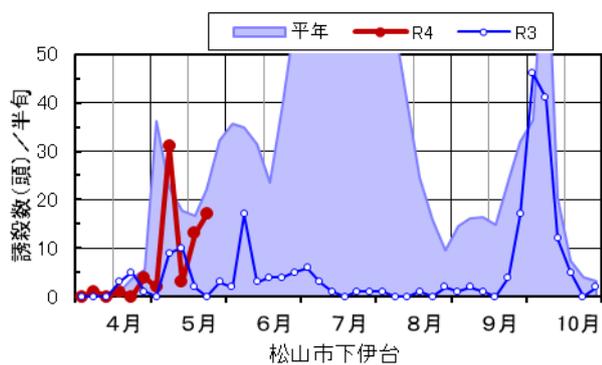


図2 集合フェロモントラップによる誘殺状況 (数字はチャバネカマシ、ツアカマシ、クギカマシの合計値：半旬別頭数)

表1 主な防除薬剤一覧(令和4年度愛媛県農作物病害虫等防除指針より抜粋)

作物	IRAC コード	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	毒性	
						人毒	水産 ^{注2)}
うめ	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫7日前まで	2回以内	普通	△
		スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	スカウトフロアブル	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△※
もも	1B	スミチオン水和剤40	1,000	収穫3日前まで	6回以内	普通	△
	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アドマイヤーフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△
	3A	アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	5回以内	劇物	×
		テルスターフロアブル	3,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
キウイフ ルーツ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	アディオオン乳剤	2,000	収穫7日前まで	5回以内	普通	×
	アグロスリン乳剤	2,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×	
なし	1B	スミチオン水和剤40	1,000	(無袋) 収穫21日前まで (有袋) 収穫14日前まで	6回以内	普通	△
	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アドマイヤー水和剤	1,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	アグロスリン水和剤	1,500	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
		スカウトフロアブル	1,500	収穫前日まで	5回以内	劇物	△※
		テルスター水和剤	2,000	収穫前日まで	2回以内	普通	△※
		テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
		ロディー水和剤	1,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
MR. ジョーカー水和剤		2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△	
すもも	4A	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△
	3A	アグロスリン水和剤	1,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
かんきつ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	普通	△
		スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		モスピランSL液剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△
		ロディー乳剤	2,000	収穫7日前まで	4回以内	劇物	×
	テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×	
かき	1B	スミチオン水和剤40	1,000	収穫30日前まで	3回以内	普通	△
	4A	アドマイヤー水和剤	1,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	△
		アルバリン 顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△
	3A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△
		MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△
		アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
		テルスター水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△※
		テルスターフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	×
	ロディー水和剤	1,500	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×	
	3A+1B	パーマチオン水和剤	2,000	収穫30日前まで	3回以内	劇物	×
	2B	キラップフロアブル	2,000	収穫7日前まで	2回以内	普通	○

注1) IRACコード 4A: ネオニコチノイド系、3A: 合成ピレスロイド系、1B: 有機リン系、2B: フェニルピラゾール系

注2) 水産動植物への影響(表記については令和4年度愛媛県農作物病害虫等防除指針P.8参照)

注3) アドマイヤー水和剤及びフロアブル剤は、露地栽培については発芽期から開花期までは除く

病害虫名 ベと病

作物 たまねぎ

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 やや多～多

3 注意報発表の根拠

- (1) 3月上中旬の定点調査では、過去6か年と比較すると発生圃場率及び発病株率ともに、平年よりやや高い（表1）。
- (2) 3月上中旬の広域調査では、県全体の発生圃場率20.3%、発病株率1.04%であり、過去6か年と比較する発生圃場率及び発生株率ともに高い。特に、東予地域では他の地域に比べて発生が多くなっている（表2）。
- (3) 3月23日発表（高松地方气象台）の1か月予報では、気温は高く、降水量はほぼ平年並とされているが、3月25日～4月7日にかけて低気圧や前線の影響で降雨や曇天になると予想されており、さらに発生拡大が懸念される。

4 防除上の注意

- (1) 越年罹病株（一次伝染株）は、やや萎縮し葉身が湾曲する（写真1）。湿潤な気象条件下（気温15℃前後、降雨が続く場合）では、罹病株上に多量の分生胞子が形成され、周辺に飛散し二次伝染を起こす（写真2）。分生胞子は広範囲に飛散するため、地域一体となって防除すると効果が高まる。
- (2) 圃場観察は丁寧に行い早期発見に努め、越年罹病株は直ちに抜き取り、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- (3) 排水不良の圃場で発生が多いため、降雨後の排水に努める。
- (4) 発病後では薬剤の防除効果が劣るので、早くから計画的に散布を実施する。なお、たまねぎの葉身は薬液の付着性が悪いため、展着剤を必ず加用する。
- (5) 防除は降雨等の天候を考慮しながら7～10日間隔で行う。また、同一系統の薬剤の連用を避け、ローテーション使用する。
- (6) 農薬の散布にあたっては農薬安全使用基準を順守し、周辺農作物への飛散防止対策を徹底する。

表1 定点圃場におけるべと病の発生調査結果

調査圃場数	発生圃場率(%)		発病株率(%)	
	R5.3	平年	R5.3	平年
6	33.3	24.2	2.7	1.4

1) 調査対象は越年罹病株および二次伝染株

2) 平年: H26、H30～R4(6か年)の平均

表2 広域調査におけるべと病の発生調査結果(普通期)

地域	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)		発病株率(%)	
			R5.3	平年	R5.3	平年
東予	60	24	40.0	10.9	2.40	0.24
中予	59	3	5.1	8.7	0.05	0.22
南予	29	3	10.3	11.2	0.17	2.61
県全体	148	30	20.3	10.1	1.04	0.63

1) 調査対象は越年罹病株および二次伝染株

2) 平年: H29.3～R4.3(6か年)の平均



写真1 越年罹病株(一次伝染株)



写真2 二次伝染による多発圃場

3 病害虫発生予察特殊報

令和4年度 病害虫発生予察特殊報（第1号）

4 愛防第11号
令和4年5月20日

病害虫名 トマトキバガ（チョウ目キバガ科）

病原菌 *Tuta absoluta*(Meyrick)

特殊報の内容 愛媛県における誘殺の初確認

1 発生確認

令和4年4月、中予地域のトマト施設周辺に設置したトマトキバガの侵入警戒トラップにおいて、1地点でトマトキバガ疑似成虫（写真1）が誘殺された。捕獲された成虫を神戸植物防疫所に同定依頼した結果、本県では未発生のトマトキバガであると同定された。なお、県内では5地点にトラップを設置しているが、他の4地点では確認されていない。また、現在のところ県内では本虫による農作物の被害は認められていない。

2 国内外の発生状況

本種は南米原産であるが、平成18年にスペインへの侵入が確認され、ヨーロッパ、アフリカ、中央アメリカ、西アジア、アラビア半島、インド、ネパール、東南アジアに分布しており、令和3年5月までに、台湾、中国、中央アジア諸国などで発生が確認されている。また、国内では令和3年10月に熊本県で初めて確認され、同年12月に宮崎県、令和4年3月に鹿児島県、大分県、福岡県、長崎県で確認されている。

3 本種の特徴

(1) 形態

成虫は翅を閉じた静止時で体長5～7mm（前翅長5mm弱、開帳^{※1}約10mm）。前翅は灰褐色で黒色斑が散在する。後翅は一様に淡黒褐色である。

幼虫は終齢で約8mmに達する。体色は淡緑色～淡赤白色で、前胸の背面後縁に狭い黒色横帯を有する（写真2）。

※1 翅を左右に広げたときの両方の翅の先端から先端までの長さ

(2) 生態

ア 1年に複数回の世代が発生し、繁殖力が高い。発生世代数は環境条件によって異なり、南米では年に10～12世代発生することが報告されている。

イ 卵～成虫になるまでの期間は24～38日程度で、気温が低い時期はさらに延びる。また、発育下限温度は8℃とされている。

ウ 成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多い。

エ 雌は一生のうち平均で約260個の卵を寄生植物の葉の裏面などに産み付ける。

オ 幼虫は1齢～4齢までの生育ステージがあり、土中や葉の表面で蛹化する。

(3) 被害

トマトでは、葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、葉肉内に孔道が形成される（写真3）。食害部分は表面のみを残して薄皮状になり、白～褐変した外観となる。果実では、幼虫が穿孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に数mm程度の穿孔痕が生じるとともに食害部分の腐敗が生じ果実品質が著しく低下する（写真4）。

また、海外では、ばれいしょの地上部を加害し、塊茎は直接加害しないとされてきたが、近年、フランスでは、ばれいしょ塊茎への直接加害も報告されている。

(4) 寄主植物

トマト、ピーマン、ナス、タバコ、バレイショなどのナス科植物が主要な寄主植物であるが、マメ科のインゲンマメも寄主植物として確認されている。

(5) その他

海外では、ピレスロイド系やジアミド系などの殺虫剤に対する抵抗性を獲得した個体群の発生が確認されている。

4 防除対策

(1) 現在、トマトキバガに対する登録農薬はないが、植物防疫法第29条1項に基づく措置として、別紙に記載された農薬による防除を行う。なお、薬剤防除にあたっては、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う。

(2) 圃場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。

(3) 被害葉や被害果は圃場内から持ち出すとともに、野外に放置せず速やかに適切に処分する。また、掘り取ったいもは長く圃場に放置せず、残りいもも適正に処分する。



写真1 フェロモントラップで捕獲されたトマトキバガ



写真2 トマトキバガ幼虫



写真3 トマトキバガによる葉の被害
(写真2～4：熊本県病害虫防除所提供)



写真4 トマトキバガによる果実の被害

トマトキバガに対しては 以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はトマトキバガに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。

また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数、使用回数、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

○ トマト

農薬の種類	使用方法	希釈倍数 使用量	使用時期	散布液量	本剤の 使用回数	RAC コー	系統名	チョウ目 登録	ハモグリバ 工類登録
アクリナトリン・スピロメシフェン水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	3A 23	ピレスロイド系 ピレトリン系 テトロン酸及びテトラ ミン酸誘導体	○	-
アクリナトリン水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	150~300L/10a	3回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
イソキサチオン粉剤	土壌表面散布土 壌混和処理	6kg/10a	は種時又は植付 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
インドキサカルブ水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	22A	オキサジアジン系	○	-
エマメクテン安息香酸塩・ ルフェエロン水和剤	散布	1500倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	6 15	アベルメクテン系 ミルベマイシン系 ベンゾイル尿素系	○	○
エマメクテン安息香酸塩乳 剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	5回以内	6	アベルメクテン系 ミルベマイシン系	○	○
クロマフェノジド水和剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	18	ジアシルヒドラジン 系	○	-
クロラントラニプロール 水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
クロラントラニプロール 粒剤	株元散布	1g/株	育苗後半~定 植時		1回	28	ジアミド系	○	○
クロルフェナピル水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	13	ピロール系 ジニトロフェノール系 スルフルアミド	○	○
クロルフルアズロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	-
シアントラニプロール・ チアメトキサム粒剤	株元散布	2g/株	鉢上げ時~育苗 期後半		1回	28 4A	ジアミド系 ネオニコチノイド系	○	○
シアントラニプロール水 和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
スピネトラム水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
スピノサド水和剤	散布	5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
ダイアジノン粒剤	土壌混和	6~9kg/10a	は種時又は植付 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
ダイアジノン粒剤	全面土壌混和又 は作条土壌混和	4~6kg/10a	は種時又は定植 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
テトラニプロール水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
テフルベンズロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	-
ノバルロン乳剤	散布	2000~3000倍	1番花の開花ま で	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
ピリダリル水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	UN		○	○
フルキサメタミド乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	30	メタジアミド系 イソキサゾリン系	○	○
フルフェノクスロン乳剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
フルベンジアミドくん煙剤	くん煙	くん煙室容積 400m ³ (床面積 200m ² ×高さ2m) 当り50g	収穫前日まで		2回以内	28	ジアミド系	○	-
フルベンジアミド水和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	28	ジアミド系	○	-
ベルメトリン粒剤	株元散布	3kg/10a	生育初期		3回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
メタフルミゾン水和剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	22B	セミカルバゾン系	○	-
メトキシフェノジド水和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	18	ジアシルヒドラジン 系	○	-
ルフェエロン乳剤	散布	2000~3000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
レピメクテン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	6	アベルメクテン系 ミルベマイシン系	○	○
還元澱粉糖化物・クロリア ンジン・ピリダリル・ベル メトリン・マンデストロピ ン水和剤	散布	原液	収穫前日まで		2回以内	4A 3A UN	ネオニコチノイド系 ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
脂肪酸グリセリド・スピ ノサド水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○

○ ミニトマト

農業の種類	使用方法	希釈倍数 使用量	使用時期	散布液量	本剤の 使用回数	RAC コード	系統名	チョウ目 登録	ハモグリバ 工類登録
アクリナトリン・スピロメ シフェン水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	3A 23	ピレスロイド系 ピレトリン系 テトロン酸及びテトラ ミン酸誘導体	○	-
アクリナトリン水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	150~300L/10a	2回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
イソキサチオン粉剤	土壌表面散布土 壌混和処理	6kg/10a	は種時又は植付 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
エマメクチン安息香酸塩・ ルフェヌロン水和剤	散布	1500倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	6 15	アベルメクチン系 ミルベマイシン系 ベンゾイル尿素系	○	○
エマメクチン安息香酸塩乳 剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	5回以内	6	アベルメクチン系 ミルベマイシン系	○	○
クロマフェノジド水和剤	散布	1000~2000倍	収穫7日前まで	100~300L/10a	3回以内	18	ジアシルヒドラジン 系	○	-
クロラントラニリプロール 水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
クロルフェナピル水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	13	ピロール系 ジニトロフェノール系 スルフルアミド	○	○
クロルフルアズロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	-
シアントラニリプロール・ チアメトキサム粒剤	株元散布	2g/株	鉢上げ時~育苗 期後半		1回	28 4A	ジアミド系 ネオニコチノイド系	○	○
シアントラニリプロール水 和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
スピネトラム水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
スピノサド水和剤	散布	5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
テトラニリプロール水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
テフルベンズロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	-
ノバルロン乳剤	散布	2000~3000倍	1番花の開花ま で	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
ピリダリル水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	UN		○	○
フルキサメタミド乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	30	メタジアミド系 イソオキサゾリン系	○	○
フルフェノクスロン乳剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
フルベンジアミド水和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	28	ジアミド系	○	-
ペルメトリン粒剤	株元散布	3kg/10a	生育初期		1回	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
メタフルミゾン水和剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	22B	セミカルバゾン系	○	-
ルフェヌロン乳剤	散布	2000~3000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
レピメクチン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	6	アベルメクチン系 ミルベマイシン系	○	○
脂肪酸グリセリド・スピノ サド水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○

○ ピーマン

農業の種類	使用方法	希釈倍数 使用量	使用時期	散布液量	本剤の 使用回数	RAC コード	系統名	チョウ目 登録	ハモグリバ エ類登録
インドキサカルブ水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	22A	オキサジアジン系	○	-
エマメクチン安息香酸塩・ ルフェヌロン水和剤	散布	1500倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	6 15	アベルメクチン系 ミルベマイシン系 ベンゾイル尿素系	○	○
エマメクチン安息香酸塩乳 剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	6	アベルメクチン系 ミルベマイシン系	○	○
クロマフェノジド水和剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	18	ジアシル-ヒドラジン 系	○	-
クロラントラニプロール 水和剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	28	ジアミド系	○	○
クロラントラニプロール 水和剤	灌注	100倍	育苗後半~定 植当日	1株当り25ml	1回	28	ジアミド系	○	○
クロルフェナピル水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	13	ピロール系 ジニトロフェノール系 スルフルラミド	○	○
クロルフルアズロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	-
シアントラニプロール水 和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
シベルメトリン水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	5回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
スピネトラム水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
スピノサド水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
ダイアジノン粒剤	土壌混和	6~9kg/10a	は種時又は植付 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
ダイアジノン粒剤	全面土壌混和又は 作条土壌混和	4~6kg/10a	は種時又は定植 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
テトラニプロール水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
ノバルロン乳剤	散布	3000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
ピリダリル水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	UN		○	○
フルキサメタミド乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	30	メタジアミド系 イソキサゾリン系	○	○
フルフェノクスロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
フルベンジアミドくん煙剤	くん煙	くん煙室容積 400m ³ (床面積 200m ² ×高さ2m) 当り50g	収穫前日まで		2回以内	28	ジアミド系	○	-
フルベンジアミド水和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	28	ジアミド系	○	-
ベルメトリン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	5回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	○
ベルメトリン乳剤	散布	200倍	収穫前日まで	100~300mL/m ²	5回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
ベルメトリン乳剤	散布	300倍	収穫前日まで	100~300mL/m ²	5回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	○
ベルメトリン粒剤	株元散布	3kg/10a	生育初期		5回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
メタフルミゾン水和剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	22B	セミカルバゾン系	○	-
メトキシフェノジド水和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	18	ジアシル-ヒドラジン 系	○	-
ルフェヌロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
レピメクチン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	6	アベルメクチン系 ミルベマイシン系	○	○
脂肪酸グリセリド・スピノ サド水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○

○ なす

農業の種類	使用方法	希釈倍数 使用量	使用時期	散布流量	本剤の 使用回数	RAC コード	系統名	チョウ目 登録	ハモグリバ 工類登録
アクリナトリン水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	150~300L/10a	4回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
イソキサチオン粉剤	土壌表面散布土 壌混和処理	6kg/10a	は種時又は植付 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
インドキサカルブ水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	22A	オキサジアジン系	○	-
エマメクチン安息香酸塩・ クロラントラニプロール 水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	6 28	アベルメクチン系 ミルベマイシン系 ジアミド系	○	○
エマメクチン安息香酸塩・ ルフェヌロン水和剤	散布	1500倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	6 15	アベルメクチン系 ミルベマイシン系 ベンゾイル尿素系	○	○
エマメクチン安息香酸塩乳 剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	6	アベルメクチン系 ミルベマイシン系 ジアシルヒドラジン 系	○	○
クロマフェノジド水和剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	18		○	-
クロラントラニプロール 水和剤	灌注	100倍	育苗期後半~定 植当日	1株当り25ml	1回	28	ジアミド系	○	○
クロラントラニプロール 水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	28	ジアミド系	○	○
クロラントラニプロール 粒剤	株元散布	1g/株	育苗期後半~定 植時		1回	28	ジアミド系	○	○
クロルフェナピル水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	13	ピロール系 ジニトロフェノール系 スルフルアミド	○	○
クロルフルアズロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	-
シアントラニプロール・ チアメトキサム粒剤	株元散布	2g/株	鉢上げ時~育苗 期後半		1回	28 4A	ジアミド系 ネオニコチノイド系	○	○
シアントラニプロール水 和剤	灌注	400株当り25ml	育苗期後半~定 植当日	400株当り10~ 20L(1株当り25~ 50ml)	1回	28	ジアミド系	○	○
スピネトラム水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
スピノサド水和剤	散布	5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
ダイアジノン粒剤	土壌混和	6~9kg/10a	は種時又は植付 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
ダイアジノン粒剤	全面土壌混和又 は作業土壌混和	4~6kg/10a	は種時又は定植 時		2回以内	1B	有機リン系	○	-
テトラニプロール水和剤	灌注	200倍	育苗期後半~定 植当日	25ml/株	1回	28	ジアミド系	○	○
テトラニプロール水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
テフルベンズロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	-
ノバルロン乳剤	散布	2000~3000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
ピフェントリンくん煙剤	くん煙	くん煙処理室の 容積400m3(床面 積200㎡×高さ 2m)当り48g	収穫前日まで		3回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
ピリダリル水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	UN		○	○
フェンバレート・マラソ ン水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	5回以内	3A 1B	ピレスロイド系 ピレトリン系 有機リン系	○	-
フルキサメタミド乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	30	メタジアミド系 イソキサゾリン系	○	○
フルフェノクスロン乳剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
フルベンジアミドくん煙剤	くん煙	くん煙室容積 400m3(床面積 200㎡×高さ2m) 当り50g	収穫前日まで		3回以内	28	ジアミド系	○	-
フルベンジアミド水和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	-
ベルメトリン粒剤	株元散布	3kg/10a	生育初期		3回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
メタフルミゾン水和剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	22B	セミカルバゾン系	○	-
メトキシフェノジド水和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	18	ジアシルヒドラジン 系	○	-
ルフェヌロン乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	4回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○
レビメクチン乳剤	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内	6	アベルメクチン系 ミルベマイシン系	○	○
還元澱粉糖化物・クロチア ニジン・ピリダリル・ベル メトリン・マンデストロピ ン水和剤	散布	原液	収穫前日まで		3回以内	4A 3A UN	ネオニコチノイド系 ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
脂肪酸グリセリド・スピノ サド水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○

○ ばれいしょ

農薬の種類	使用方法	希釈倍数 使用量	使用時期	散布液量	本剤の 使用回数	RAC コード	系統名	チョウ目 登録	ハモグリバ 工類登録
NAC水和剤	散布	800~1000倍	収穫7日前まで	100~300L/10a	3回以内	1A	カーバメート系	○	-
PAP乳剤	散布	1000倍	収穫14日前まで	100~300L/10a	2回以内	1B	有機リン系	○	○
PAP粉剤	散布	3kg/10a	収穫14日前まで		2回以内	1B	有機リン系	○	○
アセタミプリド水溶剤	散布	2000倍	収穫7日前まで	100~300L/10a	3回以内	4A	ネオニコチノイド系	○	○
アセフェート水溶剤	散布	1000倍	収穫30日前まで	100~300L/10a	2回以内	1B	有機リン系	○	○
カルタップ水溶剤	散布	1000倍	収穫7日前まで	100~300L/10a	6回以内	14	ネライストキシン類縁 体	○	○
カルタップ粉剤	種いも粉衣	種いも重量の 0.3%	植付前		1回	14	ネライストキシン類縁 体	○	-
シアントラニプロール水 和剤	無人航空機によ る散布	40倍	収穫7日前まで	2~3.2L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
シアントラニプロール水 和剤	散布	4000倍	収穫7日前まで	100~300L/10a	3回以内	28	ジアミド系	○	○
スピネトラム水和剤	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	5	スピノシン系	○	○
ダイアジノン粒剤	土壌混和	6~9kg/10a	植付前		1回	1B	有機リン系	○	-
ダイアジノン粒剤	全面土壌混和又 は作業土壌混和	4~6kg/10a	植付前		1回	1B	有機リン系	○	-
トラロメトリン水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	5回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	○
ピリダリル水和剤	散布	1000倍	収穫7日前まで	100~300L/10a	2回以内	UN		○	○
フルベンジアミド水和剤	散布	2000~4000倍	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内	28	ジアミド系	○	-
プロチオホス乳剤	散布	1000倍	収穫14日前まで	100~300L/10a	3回以内	1B	有機リン系	○	○
プロフェノホス乳剤	散布	1500倍	収穫7日前まで		6回以内	1B	有機リン系	○	-
ベルメトリン粒剤	株元散布	3kg/10a	生育初期		4回以内	3A	ピレスロイド系 ピレトリン系	○	-
メソミル水和剤	散布	1000倍	収穫7日前まで	100~300L/10a	5回以内	1A	カーバメート系	○	-
メソミル粉粒剤	散布	3~5kg/10a	収穫7日前まで		5回以内	1A	カーバメート系	○	-
ルフェヌロン乳剤	散布	3000倍	収穫7日前まで	100~300L/10a	2回以内	15	ベンゾイル尿素系	○	○

4 病害虫防除技術情報

病害虫防除技術情報（第1号）

4愛防第6号
令和4年4月28日

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひします。

1 情報の内容 キウイフルーツ花腐細菌病に対する防除の徹底について

2 今後の発生程度：やや多～多

3 発出の根拠

(1) 4月21日発表（高松地方気象台）の1か月予報では、降水量は多く、日照時間は少ないとされており、発生に助長的である。

(2) 4月下旬以降天候不順が続いており、5月6日（2週目）まで平年に比べ晴れの日が少ないとされており感染に好適な条件が続くものと予想される。

4 防除上の注意

(1) 通風、採光及び排水を良くする。

(2) 新梢長約10cm頃までに、コサイド3000の2,000倍、カスミンボルドー1,000倍、銅シン水剤1,000倍（いずれの剤も炭酸カルシウム剤200倍加用）を散布する。

(3) 天候不順が続く場合には、抗生物質（アグリマイシン100 1,000倍、カスミン液剤400倍、アグレプト水和剤1,000倍、マイシン20水和剤1,000倍）を開花10～20日前に散布する。



写真 キウイフルーツ花腐細菌病の病徴（品種：ヘイワード）

このことについて、次のとおりお知らせしますので、ご参照の上、防除指導方よろしくお願いたします。

記

情報の内容 ヤノネカイガラムシ第一世代幼虫の発生について

対象作物 かんきつ類
発生時期 平年並

1 発生状況

ヤノネカイガラムシの第一世代幼虫の初発は、南予地域の遅い地点で5月9日と平年に比べ5日遅いものの、その他の3地点は平年並（5月6～7日）の発生であり、中予地域の早い地点で5月9日であるが、その他の地点は平年並（5月12日）の発生となっている（表1）。以上のことから、全体的な発生時期は平年並と判断している。

2 発生生態

カンキツ類にのみ寄生し、主に成虫で越冬して年3回発生する。第一世代の幼虫は5月上・中旬頃に発生し始め、2齢を経て成虫となる。成虫に達するまでの期間は45～60日程度である。第二世代幼虫は7月中・下旬頃、第三世代は9～11月に発生する。

3 被害

葉や枝に多数寄生すると、落葉するとともに激発した場合は樹全体が枯れることもある。果実に寄生すると商品価値が著しく低下する。

4 今後の防除上の注意と対策

- (1) 幼虫期に薬剤散布する必要があり、防除適期は第一世代幼虫初発日から30～35日後である。但し、アプロード水和剤、アプロードエースフロアブル及びモベントフロアブルは散布時期を早める必要があり、第一世代幼虫初発日から20～25日後がその時期にあたる（表2）。
- (2) アプロード剤、スプラサイド乳剤40の感受性が低下している園地がみられるので注意する。
- (3) 1か月予報（5月12日発表）によると、気温が平年並か低いと予想されており今後の生育が早まる傾向はないとみられるが、防除時期が遅れないようにする。

表1 令和4年 ヤノネカイガラムシ第一世代幼虫初発日

対象地域	調査地点	標高(m)	初発日	平年	平年比較
南予地域	八幡浜市合田	100	5月7日	5月7日	並
	八幡浜市川上	50	5月9日	5月4日	5日遅い
	八幡浜市真網代	130	5月6日	5月6日	並
	八幡浜市向灘	150	5月7日	5月7日	並
中予地域	松山市粟井1	60	5月9日	-	-
	松山市下伊台	200	5月12日	5月13日	並

平年：平成24年～令和3年の10年間

「-」：平年値無

表2 ヤノネカイガラムシに登録のある主要薬剤(令和4年愛媛県農作物病害虫等防除指針抜粋)

薬剤名	希釈倍数	IRAC コード	使用時期/使用回数		人毒	水産 (注)
			かんきつ(温州みかん除く)	温州みかん		
※アブロード水和剤	1,000倍	16	収穫45日前まで/3回以内	収穫14日前まで/3回以内	普	○
※アブロードエースフロアブル	1,000倍	16+21A	収穫45日前まで/2回以内	収穫14日前まで/2回以内	普	×
※モベントフロアブル	2,000倍	23	収穫7日前まで/3回以内	収穫7日前まで/3回以内	普	○
スプラサイド乳剤40	1,500倍	1B	収穫90日前まで/4回以内	収穫14日前まで/4回以内	劇	△
ダズバン乳剤40	1,000倍	1B	収穫60日前まで/1回	収穫30日前まで/2回以内	劇	×
ダズバンDF	2,000倍	1B	収穫60日前まで/1回	収穫30日前まで/2回以内	劇	×
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	4A	収穫前日まで/3回以内	収穫前日まで/3回以内	普	△
オリオン水和剤40	1,000倍	1A	収穫14日前まで/3回以内	収穫14日前まで/3回以内	劇	△
コルト顆粒水和剤	3,000倍	9B	収穫前日まで/3回以内	収穫前日まで/3回以内	普	△
トランスフォームフロアブル	2,000倍	4C	収穫前日まで/3回以内	収穫前日まで/3回以内	普	○

※：薬剤の特性により、散布時期を早める薬剤

(注)水産動植物への影響(詳細は令和4年愛媛県病害虫等防除指針P.8参照)

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひします。

記

情報の内容 **ビワキジラミの発生地域の拡大について**

対象作物 **ビワ**

1 発生状況

- (1) 令和4年6月上旬に、昨年の発生地域（徳島県及び香川県境）より西側に調査範囲を広げたところ、発生地域は約3km西側に拡大していることが明らかとなった（図1）。
- (2) 調査は、野良ビワ及びビワ栽培園を対象に行ない、27地点中7地点で発生が確認された。
なお、今回の調査において、黒く汚損される「すす病」被害果の発生が1地点で確認された（写真1）。
- (3) これまでの発生経緯（参考）
 - ① 令和3年2月に四国中央市の徳島県境付近のビワ樹周辺に設置した黄色粘着トラップで、ビワキジラミ成虫が県内初誘殺された。
 - ② 令和3年5月下旬に徳島県境から西側へ10kmまでの41地点のビワ樹を調査した結果、県境から約5kmまでに所在する11地点で本種の寄生が確認された（写真2）。

2 被害の特徴

主に幼虫が排出する甘露と呼ばれる排泄物には、糖分が含まれており、この排泄物が付着した果実や葉に糸状菌（カビ）が発生し、黒く汚損される「すす病」被害を生じる。果実が肥大・成熟する5～6月頃に顕著な被害をもたらすが、袋かけを行う前の3月時点で既に果房や幼果の隙間に寄生しているため、袋かけを行っても被害を防ぎきれない。なお、本種が寄生・増殖できる植物はビワだけである。

3 今後の防除上の注意と対策

- (1) 徳島県と香川県の発生事例によると、1年に最大10kmの速さで分布を広げていることから、新たに発見された地点から半径10km圏内のビワ栽培園でも防除を実施する（図1）。また、成虫は黄色に誘引されるため、侵入が警戒される園地では黄色粘着トラップによるモニタリングを行い、発生の早期把握に努める。
- (2) 防除適期は、果実袋かけ前の3月頃と、摘房・摘蕾後の11月中旬頃の2回あり、その時期に薬剤散布する。それでも収穫時の被害が多い場合は、成虫多発期の7月上旬までに追加散布する（表1）。なお、薬剤散布時には展着剤を加用する。
- (3) 人為的な拡散防止のため、発生地域からの苗木や枝葉を移動させないように注意する。特に、発生地域の道端や雑木林などで野生化したビワを伐採した場合、地域外へ持ち出して処分することは控え、発生地域内で適切に処分する。

※ビワの果実や枝葉で激しい「すす病」の被害が認められた場合は、病害虫防除所または果樹研究センターまでご連絡をお願いします。

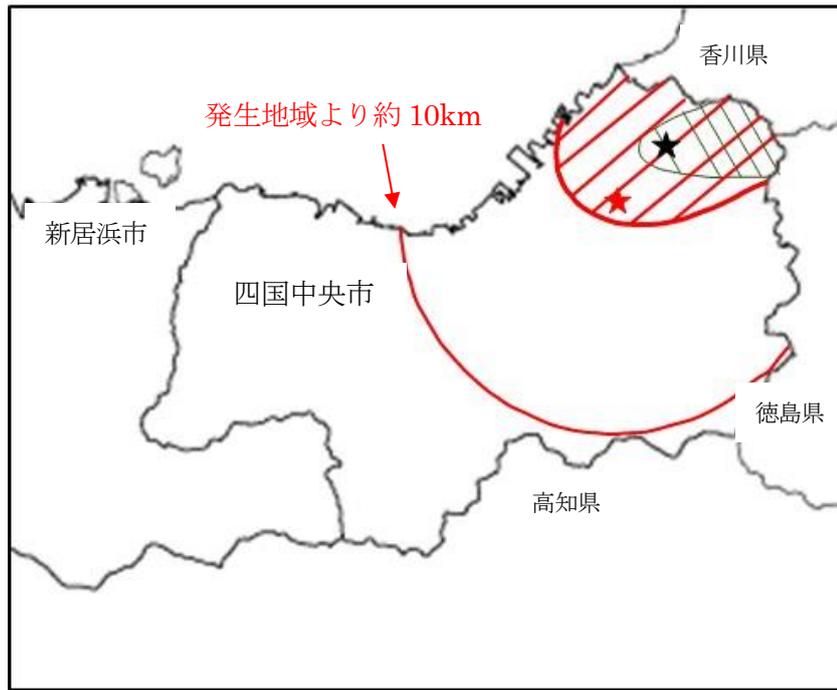


図1 ビワキジラミの発生状況 (R4)
 : R4. 6月時点の発生確認地域、★ : 発生地点のうち最も西側の地点
 R3. 6月時点の発生確認地域、★ : 発生地点のうち最も西側の地点



写真1 すず病の果実被害



写真2 ビワキジラミ成虫

表1 登録農薬一覧 (令和4年愛媛県農作物病害虫等防除指針より)

IRAC コード	農薬名	希釈倍率	使用時期	使用回数
1 B	スプラサイド乳剤 40	1,500 倍	開花期まで	2 回以内
21A	サンマイル水和剤	3,000 倍	収穫 3 日前まで	2 回以内
3 A	スカウトフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内
	ロディー水和剤	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内
4 A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍	収穫前日まで	あわせて 2 回以内
	アルバリン顆粒水溶剤			

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひします。

記

情報の内容 **果樹カメムシ類のトラップ誘殺数の増加について**

対象作物 もも、キウイフルーツ、なし、すもも、かき、かんきつ等

1 発生状況

- (1) 令和4年5月31日に病害虫発生予察注意報（第2号）を発出したものの、6月中旬以降、県内全地点の集合フェロモントラップ及び予察灯での誘殺数が平年を大きく上回っている（図1、2）。
- (2) キウイフルーツ、なし、かき等の落葉果樹では、被害果が認められている（写真1、2）。
- (3) 1か月予報（令和4年6月30日発表）では、気温は高いとされており、成虫の飛来は活発になるとみられる。

2 防除上の注意

- (1) 病害虫発生予察注意報（第2号）を参照する。
- (2) 7月下旬頃までは越冬成虫が飛来の主体であり、8月以降は新成虫となるため、7月下旬までは多発傾向が予想され、特に注意が必要である。
- (3) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (4) 園地で飛来を確認した場合には、各地域の防除暦に従い、ただちに薬剤防除を行う。
なお、園地での飛来確認は、日中は難しいため、夕方（特に日没直後が確認しやすい）に行う。

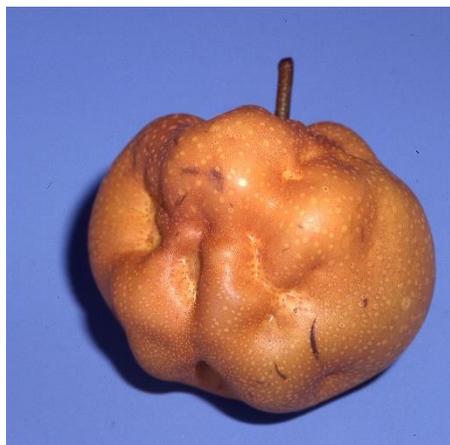


写真1 ナシ被害果実



写真2 キウイフルーツ被害果実

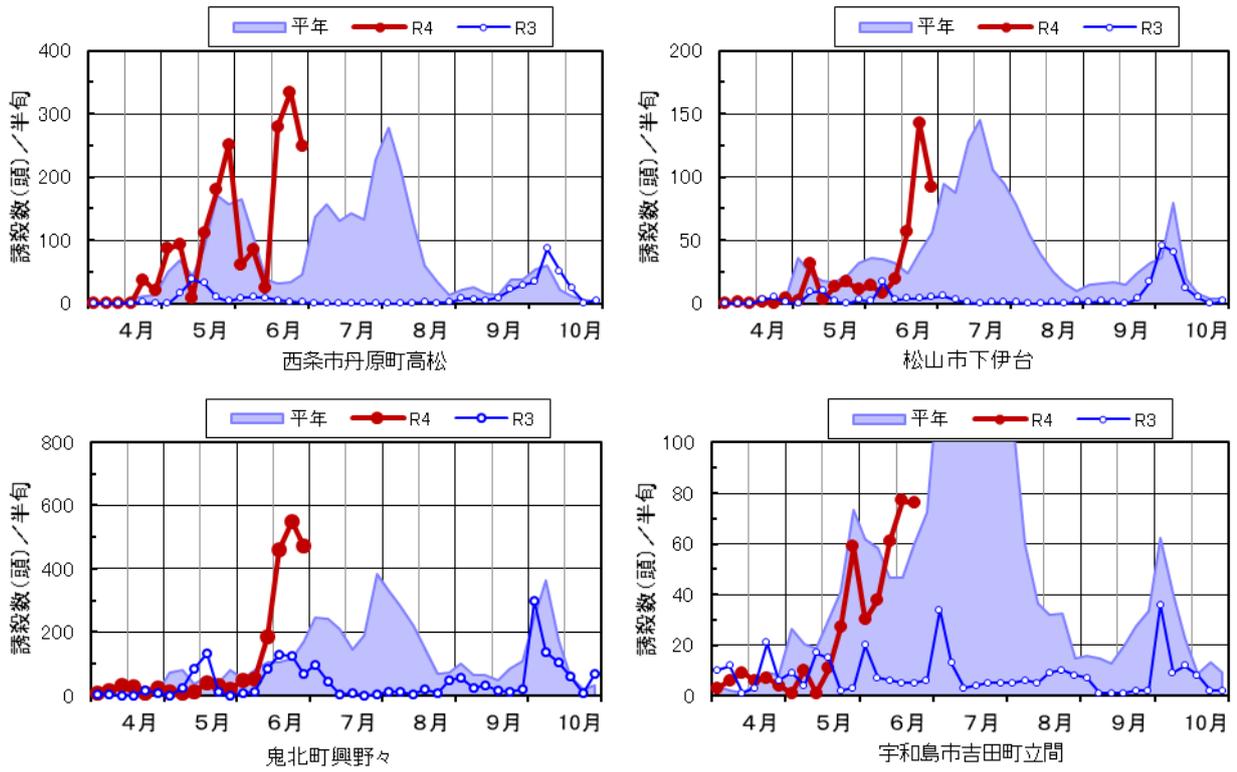


図1 集合フェロモントラップによる誘殺数

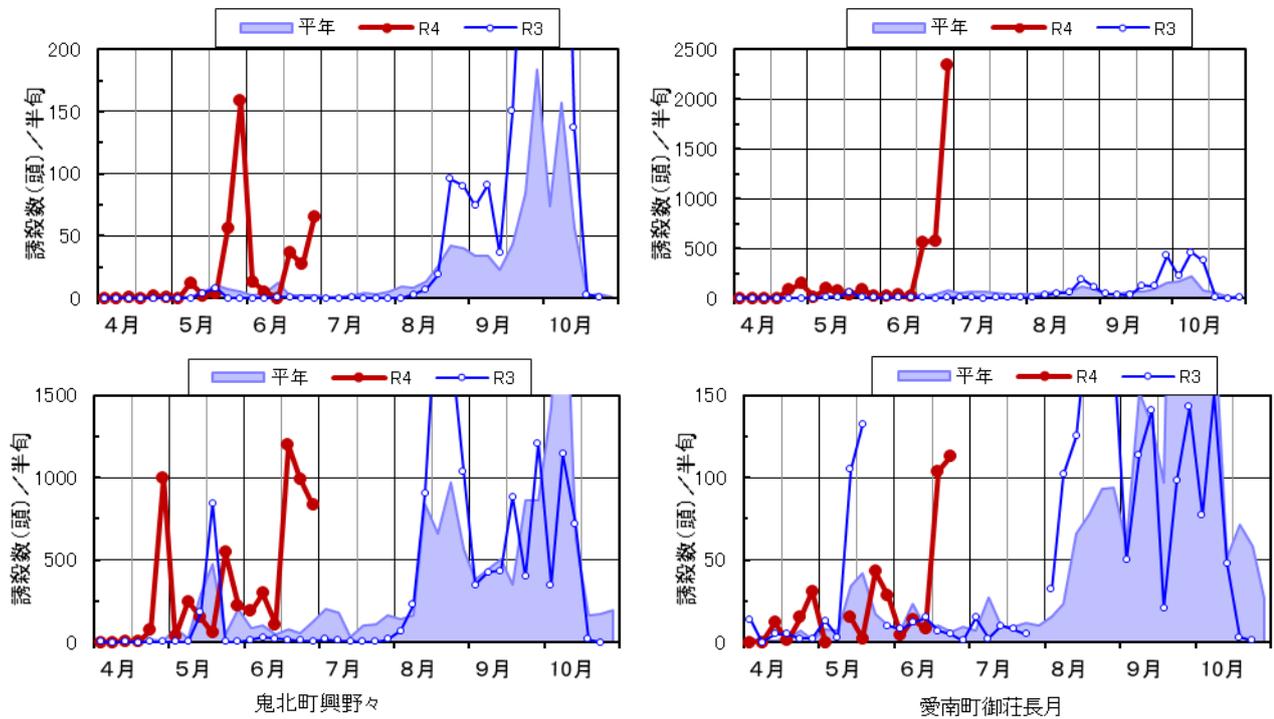


図2 予察灯における誘殺数

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、発生の確認と防除指導方よろしく願います。

記

1 情報の内容 サトイモ疫病の早期発見と防除の徹底について

2 発生経過

令和 4 年 7 月 13 日、四国中央市においてサトイモ疫病の本年度の初発生を確認した（昨年 7 月 20 日初発確認）。本病は、平成 27 年に県内での発病が初めて確認され、平成 28 年以降、発生地域は徐々に拡大している。

3 当面の防除対策

- (1) 圃場内での発生は周辺箇所から始まることが多いため、こまめに観察し、サトイモの中位葉から下位葉の発病有無を確認する。
- (2) 発病茎葉は早急に除去し、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- (3) ジーファイン水和剤、ペンコゼブ水和剤による定期的な予防散布を行い、発病が認められた圃場では、直ちにダイナモ顆粒水和剤、アミスター 20 フロアブルを散布する（下表参照）。なお、サトイモの茎葉は水をはじきやすく薬剤が付着しにくいので、展着剤を必ず加用する。
- (4) 台風の通過後に茎葉が損傷した場合にも発病茎葉を圃場外に持ち出し（袋に入れて密閉）、圃場内の菌密度を下げ、直ちに治療剤であるダイナモ顆粒水和剤、アミスター 20 フロアブルを散布する。

表 サトイモ疫病の防除体系モデル

	6月	7月	8月	9月													
【防除薬剤】	梅雨入り前	初発警戒期	梅雨明け後	蔓延警戒期 (発生増加注意)	収穫期												
 ジーファイン水和剤	① ↓	↓	↓	↓	↓												
 ペンコゼブ水和剤	② ↓	↓	↓	↓	↓												
 ダイナモ顆粒水和剤																	
 アミスター 20 フロアブル																	
	【使用時期別の防除薬剤と注意点】 ○梅雨入り前または梅雨明け後 <table border="1"> <thead> <tr> <th>散布方法</th> <th>時期</th> <th>梅雨入り前</th> <th>梅雨明け後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ダニ剤混用散布</td> <td></td> <td>ペンコゼブ</td> <td>ジーファイン</td> </tr> <tr> <td>②単用散布</td> <td></td> <td>ジーファイン</td> <td>ペンコゼブ</td> </tr> </tbody> </table> ○初発後 発病葉等を除去し、ダイナモ、次いでアミスターを散布 ○降雨が続くことによる多発前 応急的にダイナモを連続散布(但し、可能な限り「蔓延警戒期」まで温存すること)			散布方法	時期	梅雨入り前	梅雨明け後	①ダニ剤混用散布		ペンコゼブ	ジーファイン	②単用散布		ジーファイン	ペンコゼブ	○発生増加前 ペンコゼブを散布 ○台風通過後 ダイナモ、次いでアミスターを散布 ○収穫前 軟腐病の予防対策も兼ねてジーファインを散布	
散布方法	時期	梅雨入り前	梅雨明け後														
①ダニ剤混用散布		ペンコゼブ	ジーファイン														
②単用散布		ジーファイン	ペンコゼブ														

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひします。

記

1 情報の内容 トビイロウンカの発生状況と防除対策の徹底について

2 発生状況

(1) 予察灯による誘殺状況（表 1）

愛南町において、7月19日（平年：7月28日）に県内最初の誘殺を1頭の飛来で確認し、その後の誘殺は8月第1半旬までは認められなかったが、8月10～14日に4頭、16～20日に2頭確認している。その他の予察灯では、8月11、20日に西予市においてそれぞれ1頭の誘殺を確認している。

(2) 圃場における発生状況（表 2）

最初の発生は、7月27日の広域調査により西予市宇和町で確認した。その後も定点調査や各地域の広域調査を実施した結果、四国中央市、久万高原町、松前町、松山市、大洲市で発生を確認している。特に、西予市、大洲市では個体数は多くはないが増殖率の高い短翅雌成虫の発生を確認している。

(3) 多発年との発生状況の比較（表 3）

平年に比べると10株当たり成幼虫数及び短翅雌成虫の発生圃場率は低いものの、過去の多発年と比較すると、平成 25、26 年より発生密度は高くなっている。なお、平成 25 年は8月下旬以降、急激に圃場内密度が増加し、坪枯被害が多発した。

3 今後の対策と注意点

予察灯の誘殺状況や圃場の発生状況から、トビイロウンカの飛来量は平年並と推定され、現在の発生密度は高くはないが圃場内に広く生息している可能性がある。

- (1) 県内の予察灯の平年の飛来（愛南町除く）は8月10日～29日となっていることから、今後も継続する可能性があるので引き続き圃場での発生には注意する（防除所 HP 参照）。
- (2) 圃場における発生は、要防除密度（時期：8月中旬～8月下旬）である10株当たり成幼虫数30～50頭には達していないものの、今後増加する可能性があるので注意する。
- (3) 移植時にトビイロウンカに登録ある育苗箱施用剤をしていない圃場や、トビイロウンカに対して感受性が低下している殺虫成分を含む薬剤を処理している圃場では既に発生密度が高まっている可能性があることから、出穂期の定期防除は必ず実施し、発生状況によっては追加防除を実施する。また、効果の高い殺虫成分を含む育苗箱施用剤を処理している圃場でも出穂期の定期防除を実施する。
- (4) 発生は圃場間差や、圃場内での偏りがあるため、圃場全体を注意して見回り、被害発生前のサインである黄化症状（写真）などの変化を見逃さないよう注意する。
- (5) 薬剤は、本虫が生息する稲の株元に十分届くよう丁寧に散布する。

表 1 予察灯におけるトビイロウンカの半旬別誘殺数

予察灯	7月			8月			
	第4半旬	第5半旬	第6半旬	第1半旬	第2半旬	第3半旬	第4半旬
西条市西泉	0	0	0	0	0*	0*	0
松山市上難波	0	0	0	0	0	0	0
松前町大間	0*	0	0	0	0	0	0
久万高原町入野	0	0	0	0	0	0	0
西予市宇和町	0	0	0	0	0	1	1
愛南町長月	1	0	0	0*	1*	3	2

*: 欠灯のため一部日別誘殺データなし

表2 圃場におけるトビイロウンカの発生状況（8月23日調査まで）

調査月日	調査地点	調査圃場数	発生圃場数	程度別発生圃場数 (成幼虫数/10株)		短翅雌成虫数 (頭/10株)	備考
				1～9(頭)	10～49(頭)		
7月27日	西予市宇和町	28	1	1	0	1	広域調査
8月5日	四国中央市	40	1	1	0	0	広域調査
8月15日	西予市宇和町	1	1	1	0	2	定点
8月16日	久万高原町	1	1	1	0	0	定点
8月19日	久万高原町	88	10	9	1	0	広域調査
8月19日	松山市	1	1	1	0	0	定点
8月22日	松前町	1	1	1	0	0	定点
8月23日	大洲市	17	3	3	0	3	広域調査

1) 定点: 病害虫防除所(農水研)の調査地点

2) 広域調査: 各地域ごとに圃場を調査

表3 広域調査における多発年との比較(7月下旬～8月中旬)

	H25	H26	R1	R2	<i>R4</i>	平年
成幼虫数/10株	0	0.004	3.89	12.68	0.04	1.69
短翅雌成虫発生圃場率	0	0.38	1.40	13.1	0.25	1.58
発生概評	多	やや多	甚	甚		

1) H25は8月下旬以降に急激に発生増加

2) 平年: H24～R3の10年の平年値



写真 黄化症状(坪枯直前)

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひします。イネカメムシは、過去に南予地域で生息していましたが、近年全県で増えつつあるため注意が必要です。

記

情報の内容 **イネカメムシの発生と防除対策について**

1 予察灯における本虫の誘殺状況（表1）

- (1) 県内の予察灯（6カ所設置）における最初の誘殺は、愛南町で7月1日に1頭確認した。7月の誘殺は、愛南町では4半旬まで継続して認められたが、他の5カ所では認められなかった。
- (2) 8月以降、愛南町では増加し、西予市を含め、他の3カ所においても徐々に確認されている。

2 圃場における本虫の発生状況（表2）

- (1) 最初の発生は、6月29日に早期栽培のコシヒカリ（鬼北町）で1頭確認した。
- (2) 7月の調査では、南予では確認されなかったが、東・中予では本田及び畦畔雑草での発生を確認した。
- (3) 8月以降徐々に発生は多くなり、中・南予では8月後半になり発生圃場率が高まっている。特に南予では捕虫網による20回掬い取り調査で20頭以上の成虫が捕獲されるなど発生程度の高い圃場が認められている。
- (4) 8月中旬以降に出穂した水稻に発生が集中しているとみられ、今後は中晩生品種の発生及び被害が懸念される。

3 形態の特徴

成虫は体長12～13mm、体色は薄い茶褐色、やや長めの楕のような形で、触角は短く紅色をしている（写真1）。幼虫はやや扁平な形状をしている（写真2）。

4 被害の特徴

イネカメムシによる被害は、主に子実粒の基部を吸汁加害されることで斑点米が生じる。特に、出穂期から乳熟期にかけての吸汁加害により不稔粒となり収量を大きく減少させ、また登熟期の吸汁加害では特徴的な斑点米（被害の多くが子実基部）となる。このような被害は、他の斑点米カメムシ類の被害とは異なる特徴である。

5 発生生態

成虫で越冬し、イネ科雑草内で活動しながら7月中～下旬の早期品種の出穂とともに水田に侵入する。さらに、8月中旬から出穂する中生品種や晩生品種の水田に侵入する。成虫の発生密度は出穂後にピークがあり、移動先の水田では盛んに穂を吸汁加害し、葉や穂に産卵する。卵は1週間以内にふ化し、ふ化幼虫は穂を吸汁しながら5齢まで發育し、8月中旬以降羽化する。羽化した成虫（第1世代成虫）はこの頃出穂する品種の水田に移動し吸汁加害し、9月下旬まで水田内に生息する。日中もある程度歩行活動はしているが主にイネ株内で潜み、夕方になると飛翔活動が活発となる。

6 防除上の注意と対策

- (1) 地域内で出穂の早い品種よりも遅い品種に集中して飛来する傾向があるので注意する。
- (2) 出穂直後の飛来による吸汁加害は不稔粒の発生につながるため、基幹防除である出穂期の防除は重要である。また、その後も発生が見られた場合には追加防除（幼虫発生初期：乳熟期（出穂10～15日後））を実施する。
- (3) 本種の発生には地域的な偏りがあるため、発生時期や発生量に注意し防除実施後も発生を確認した場合には、追加防除が必要となる。
- (4) 本虫を含む大型種のカメムシ類の要防除密度は、穂揃期～乳熟期の捕虫網による20回掬い取り個体数で1頭である。

表1 予察灯におけるイネカメムシ半旬別誘殺数

予察灯 (設置場所)	7月						8月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
西条市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
久万高原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
松山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西予市	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	2	3
愛南町	1	2	5	2	0	0	-	-	19	11	18	18

1) 愛南町の8月第1.2半旬は欠灯

表2 広域調査におけるイネカメムシの発生状況

地域	調査時期	発生圃場率%	発生地点率%
		(本田)	(畦畔)
東予	7月	1.5	4.8
	8月前半	0	0
	8月後半	1.2	2.1
中予	7月	0.0	2.6
	8月前半	2.2	1.9
	8月後半	7.0	1.8
南予	6月	8.3	0
	7月	0	0
	8月後半	38.7	8.7
県全体		4.2	2.1

1) 捕虫網による20回掬い取り調査



写真1 イネカメムシ成虫



写真2 イネカメムシ幼虫

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひします。

記

1 情報の内容

トビイロウンカの発生状況（8月下旬～9月上旬）と今後の防除対策について

2 発生状況

(1) 広域調査における発生状況（表1）

8月下旬から9月上旬にかけて県下全域を調査した結果、県全体の発生圃場率は12.0%と平年(22.1%)よりやや低く、10株当たりの成幼虫数も0.9頭と平年(13.4頭)より少ないものの、一方で、10株当たりの成幼虫数が100頭以上に達している圃場も一部に認められている。また、短翅雌成虫の県全体の発生圃場率は3.6%と平年(14.0%)より低いが、南予では高い傾向にある。

(2) 過去の発生状況との比較（図1、2）

多発した平成25、26年、甚発生であった令和元、2年と比較すると発生圃場率は低いが、それ以外の年次と比較すると発生圃場率は高い位置にあり、短翅雌成虫の発生圃場率もやや高い傾向にある。

(3) 本年9月上旬に坪枯圃場（写真1、2）が確認されている。

3 今後の対策と注意点

令和4年8月25日付け病虫害防除技術情報（第6号）の発出以降、発生密度の急激な増加は認められないが、調査圃場ではトビイロウンカの発生が確認される事例が続いており、中晩生品種の圃場では広く生息している可能性がある。このため、中晩生品種では、9月下旬以降の発生に注意が必要である。

(1) 本田移植時にトビイロウンカに登録ある育苗箱施用剤をしていない圃場や、トビイロウンカに対して感受性が低下している殺虫成分を含む薬剤を処理している圃場では既に発生密度が高まっている可能性もあることから、発生状況によっては収穫前の追加防除を実施する。

(2) 効果の高い殺虫成分を含む育苗箱施用剤を処理している圃場での発生密度は低い傾向であるが、黄化症状等の変化には十分注意する。

(3) 発生は圃場間差や、圃場内での偏りがあるため、圃場全体を注意して見回り、黄化症状などの変化を見逃さないよう注意する。

(4) 薬剤は、本虫が生息する稲の株元に十分届くよう丁寧に散布する。



写真1 坪枯症状（本年確認）



写真2 株元の被害状況

表1 広域調査におけるトビイロウンカの発生状況

地域	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)	成幼虫数/10株	短翅雌成虫発生圃場率(%)
東予	256	36	14.1	1.3	3.5
中予	304	26	8.6	1.0	2.3
南予	31	9	29.0	0.5	16.1
県全体	591	71	12.0	0.9	3.6
平年	690	150	22.1	13.4	14.0

- 1) 平年値はH24～R3の10年平均
- 2) 調査は、8月下旬から9月上旬に実施

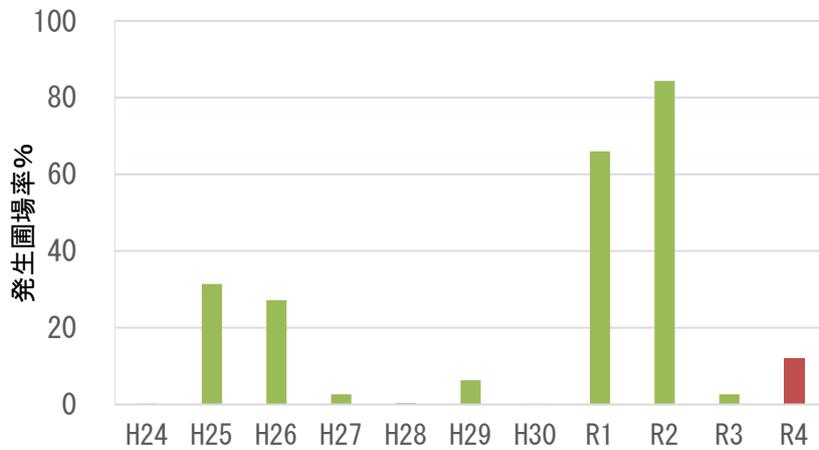


図1 トビイロウンカの年別発生推移 (8月下旬～9月上旬)

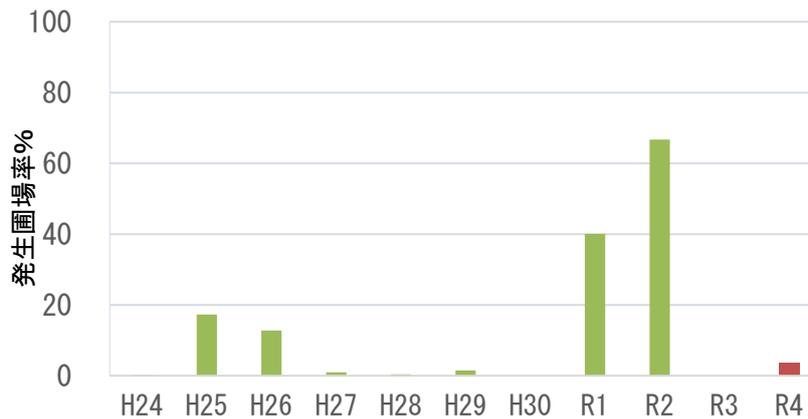


図2 短翅雌成虫の年別発生推移 (8月下旬～9月上旬)

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願いたします。

記

1 情報の内容 **かんきつかいよう病の越冬病斑の調査結果と防除の徹底について**

2 対象作物 **かんきつ類**

3 対象地域 **県下全域**

4 情報の根拠

- (1) 2月に伊予柑の夏秋梢を対象に越冬病斑を調査した結果、発生園地率は平年に比べやや高く、過去10年間で2番目に高い（図1）。また、地域別では東・中予で平年よりやや高く、南予ではやや低い（表1）。発病度は県全体では平年に比べやや低いものの、東・中予ではやや高い（表1）。
- (2) ‘甘平’では、県全体の発病度は平年並であるが、発生園地率は平年より高く、特に東・中予では高い（表2）。
- (3) ‘甘平’は、伊予柑に比べ発生園地率、発病度ともに高い。
- (4) 令和4年9月の台風（11号、14号）による樹体の風傷は多いとみられる。

5 防除上の留意点

- (1) 園地に残存する夏秋梢などの罹病枝葉をできるだけ除去し、病原菌密度を下げる。
- (2) 防風垣や防風ネットを整備する。
- (3) 春先感染防止対策として、発芽前の薬剤防除を徹底する。なお、IC ボルドー66Dは、マン油乳剤との散布間隔を14日以上あけ、樹勢の弱い樹体には使用しない（表3）。
- (4) ‘はれひめ’‘愛媛果試第28号’など本病に対する感受性の高い品種も対策を徹底する。

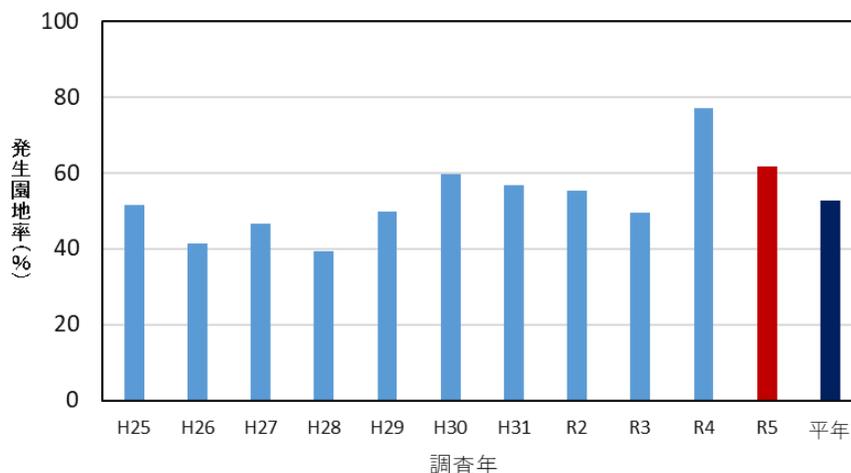


図1 伊予柑におけるかんきつかいよう病の越冬病斑の発生推移

表1 伊予柑におけるかいよう病の越冬病斑調査結果

地域	調査園地数	発生園地率(%)		発病度	
		R5.2	平年	R5.2	平年
東予	54	59.3	43.2	4.7	4.0
中予	73	65.8	41.5	4.5	3.8
南予	27	55.6	74.2	4.4	8.6
県全体	154	61.7	52.6	4.6	5.5

1) 発病度 = $\Sigma(\text{甚} \times 7 + \text{多} \times 5 + \text{中} \times 3 + \text{少} \times 1) \times 100 / (\text{調査樹数} \times 7)$

2) 平年: 平成25～令和4年の10年間の平均

表2 ‘甘平’におけるかいよう病の越冬病斑調査結果

地域	調査園地数	発生園地率(%)		発病度	
		R5.2	平年	R5.2	平年
東予	28	92.9	57.5	14.6	14.9
中予	36	88.9	73.9	20.9	17.3
南予	9	77.8	81.4	21.0	20.4
県全体	73	89.0	71.7	18.5	18.5

1) 発病度 = $\Sigma(\text{甚} \times 7 + \text{多} \times 5 + \text{中} \times 3 + \text{少} \times 1) \times 100 / (\text{調査樹数} \times 7)$

2) 平年: 平成28～令和4年の7年間の平均

表3 発芽前のかんきつかいよう病に対する防除薬剤

時期	薬剤名	使用基準	
		濃度	使用時期/使用回数
発芽前 (3月中旬～下旬)	コサイド3000*	1,000倍	発芽前/—
	ムッシュボルドーDF*	500倍	—/—
	フジドーLフロアブル*	500倍	—/—
	クプロシールド*	1,000倍	—/—
	クミガードSC*	500倍	—/—
	ICボルドー66D	40倍	—/—

1) 薬剤: 令和4年愛媛県農作物病害虫等防除指針より抜粋

2)*: 散布時に炭酸カルシウム剤200倍を加用

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、早期発見と防除対策の徹底方よろしくお願ひします。

情報の内容	スイカ果実汚斑細菌病（ウリ科野菜果実汚斑細菌病）の県内での初確認とその後の対応
病原菌	<i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>citrulli</i>
作物名	ニガウリ、すいか

1 発生経過

令和4年2月、県内の種苗生産施設において接木後の穂木部分に萎れ症状を呈するニガウリ苗及びすいか苗が確認された（写真1、2）。罹病組織を検鏡すると細菌の溢出が認められ、何らかの細菌病の発生が疑われたことから、神戸植物防疫所に同定を依頼した。同植物防疫所において顕微鏡による観察、細菌の分離、血清及び遺伝子診断等を実施した結果、本県では未発生のスイカ果実汚斑細菌病であることが確認された。

なお、該当する種苗生産施設では発病苗や感染が疑われる種苗の廃棄処分は既に完了している。併せて、同植物防疫所からは、感染が疑われる苗と同ロットの出荷済みの苗についても廃棄処分が完了したとの連絡を受けている。また、令和5年3月、同植物防疫所と共に当該生産施設の育苗状況を調査したところ、本病の発生がないことを確認している。

2 感染源の特定

育苗に用いられたニガウリ種子の遺伝子診断等の結果、病原細菌が検出されたことから、本菌の汚染種子が感染源である可能性が高いと神戸植物防疫所から連絡を受けた。なお、すいか苗については、接ぎ木作業時での二次伝染による発病と推定されている。

3 国内の発生状況

平成10年に山形県のすいかで初めて確認され、その後、すいかでは長野県、鳥取県、徳島県、熊本県、秋田県、石川県、北海道、千葉県、新潟県、愛知県で発生が確認されている。また、北海道、茨城県ではメロンで発生が確認されている。いずれの発生道県も速やかに防除及び発生株の適切な処分が行われ、その都度終息を確認している。

4 病徴

- (1) 葉、茎、果実に発病し、発芽後まもなくから収穫期までの全栽培期間で発生する。
- (2) 苗では子葉に水浸状の小斑点を生じ、その後拡大して壊死斑となる。胚軸が軟化腐敗し、壊死することがある。
- (3) 本葉では水浸状の斑点を生じ、その後拡大して褐色の大きな不整形病斑となる。病斑は葉脈に沿って拡大することがあり、病斑の周囲に黄色の退緑部分を伴うこともある。
- (4) 果実では陽光面での発病が多い。最初は水浸状の不整形病斑が現れ、これが拡大して暗緑色～黒色の大型病斑となる。大型病斑には亀裂が生じ細菌泥を噴出する。さらにひどくなると果実全体が軟化腐敗する。

5 発生生態

- (1) 病原細菌は主に種子伝染する。圃場内に残ったこぼれ種子やつる等の発病残さは、翌年の発生源となる可能性がある。
- (2) 感染種子を播種すると育苗中に発病するが、未発病のまま保菌苗となり、ハウスや圃場に植え付

けられてから発病する事例も確認されている。

- (3) 発病苗や保菌苗から灌水や接触により二次伝染する。特に頭上灌水や雨滴による飛散、接木や摘心などの管理作業で伝染しやすい。
- (4) 20℃以上の多湿条件で発生が多くなるが、特に30～35℃の高温・多湿条件で多発しやすい。
- (5) すいか果実では着果2～3週間目頃に最も発病しやすい。
- (6) 本病原菌による病害はすいかのほか、メロン、トウガンで自然感染の報告がある。本県で確認されたニガウリでの発生は、国内で初めての自然感染となる。

6 防除対策

育苗時や定植から収穫までハウスや圃場をよく見回り早期発見に努める。疑わしい症状が見られた場合は、直ちに病害虫防除所に連絡する。

- (1) 病原細菌に汚染されていない消毒済み又は検定済みの種子を用いる。
- (2) 育苗時はできるだけ少量の単位で管理し、二次感染を防ぐため接ぎ木用ナイフなどの器具類や手指は少なくとも1単位ごとに次亜塩素酸カルシウム剤や70～80%の消毒用エタノールで消毒する。また、単位ごとに種子のロット番号を記録しておく。
- (3) 育苗用資材や圃場資材など消毒したものをを用いる。
- (4) 過度の灌水を避け、多湿にならないように管理する。水滴に伴う病原菌の飛散を防ぐため、できるだけ頭上灌水は避ける。
- (5) 発病が確認された場合は、発病苗と同一ロットの苗及び、その隣接した育苗箱、ポットの苗を埋設または焼却処分し、他の苗への薬剤散布を行う（表参照）。
- (6) 本病についての詳細な情報については、農林水産省の「スイカ果実汚斑細菌病（ウリ科野菜果実汚斑細菌病）の防除について」を参照する。

https://www.maff.go.jp/j/syuan/syokubo/keneki/k_kokunai/info_1.html (R5.4月より変更予定)

表 スイカ果実汚斑細菌病に登録のある農薬（すいかのみの登録）

薬剤の種類	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
カスガマイシン・銅水和剤	カスミンボルドー	1,000 倍	収穫前日まで	5回以内 ※1
	カッパーシン水和剤			
銅・メタラキシル水和剤	リドミル銅水和剤	800 倍	収穫7日前まで	3回以内 ※2
有機銅水和剤	キノンドー水和剤 40	800 倍	収穫10日前まで	5回以内 ※3
	キノンドーフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで	
	ドキリンフロアブル	800 倍		

当該成分を含む農薬の総使用回数、※1：カスガマイシン、※2：メタラキシル、※3：有機銅。



写真1 子葉の水浸・褐変症状（すいか苗）



写真2 穂木部の萎れ症状（ニガウリ苗）

令和4年度の主要病害虫の発生及び防除状況

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻	葉いもち	平年：早期並、普通期並 前年：早期やや少、普通期やや少	早期栽培では、常発地で6月上旬に初発を確認した。初発後の増加は緩慢であったが、6月中下旬から罹病性品種を中心に発生が増加した。 普通期栽培では、7月上旬の罹病性品種で発生を確認し、7月中下旬にかけ増加傾向となった。7月期の広域調査の結果、発生圃場率は31.4%と平年の1.5倍と高かったが発生程度は平年並であった。8月以降は、罹病性品種で発生が増加するものの、8月期の広域調査においては発生圃場率は27.5%と平年並であった。	早期栽培では、5月の少雨により抑制的であったが、梅雨入り後（6月13日：平年より5日遅い）の6月中旬に天候不順が続き助長的となった。罹病性品種で苗いもちの発生があったと推定され、当該作型での育苗箱施用剤の移植当日処理では十分な効果が発揮できなかったと推定される事例があった。普通期栽培では、7月中下旬の天候不順により発生が助長されたが、梅雨明け後は高温が続き、また降雨量、降雨日数も少なく抑制的となった。	早期栽培、普通期栽培とも育苗箱施用を実施。早期栽培では7月中下旬に定期防除、普通期栽培では7月下旬に緊急の追加防除した地域があった。
	穂いもち	平年：早期並、普通期やや少 前年：早期やや少、普通期やや少	早期栽培では、常発地において7月中旬以降に葉いもちの発生がやや多い地域で穂いもちの発生がみられたが、多発圃場は少なかった。 普通期栽培では、8月上旬出穂の短期栽培（品種：あきたこまち）でやや多発傾向となった。また、8月下旬出穂の中生品種では発生はやや少なかった。	早期栽培では、梅雨入り後の天候不順により葉いもちが多くなり、穂いもちの発生を助長した。普通期栽培では、8月以降の高温と少雨により抑制的となった。	早期栽培、普通期栽培とも出穂期の基幹防除を実施。さらに普通期栽培では出穂以降に追加防除が一部地域で実施された。
	紋枯病	平年：早期やや多、普通期やや多 前年：早期やや多、普通期やや多	早期栽培で6月下旬、普通期栽培で7月中旬に初発を確認した。早期栽培では7月以降も徐々に発病増加はみられ、8月に入ると上位進展している圃場が多くなった。普通期栽培では、7月の発生は平年並であったが、8月以降の高温により急激に上位進展する圃場が多くなり、9月以降も上位進展は続き、やや多の発生となった。	早期栽培では6月下旬～7月上旬に気温が高く経過し、さらに出穂後も高温であったことから増加傾向となった。普通期栽培では8月上旬から高温傾向となり発病が増加した。9月以降も高温となり上位進展が多く認められた。普通期栽培では分けつ数が多かったことが発生増加要因となった。	紋枯病に効果のある育苗箱施用を実施する地域が多いが、早期栽培では育苗箱施用剤に紋枯病を対象としていない地域もある。毎年発生が多い地域では出穂期防除を実施し、出穂期以降の紋枯病応急防除を実施率は高まっている。
	稲こうじ病	平年：早期やや多、普通期並 前年：早期並、普通期やや少	早期栽培（7月上旬出穂）では、一部圃場で発生が認められ、やや多の発生であった。 普通期栽培では、短期栽培のあきたこまち（8月上旬出穂）で発生を確認した。中生品種の発生は、前年ほどの多発生でなかったが、発生は広範囲で確認され、多圃場も認められた。	昨年発生の多かった地域では育苗箱施用剤に稲こうじ病に登録ある薬剤を使用しており、発生はある程度抑えられているが、昨年多発圃場では継続して発生が多くなった。普通期栽培では8月中旬（幼穂分化期～穂孕み期頃）に天候不順により、感染にやや好適な条件となった。	前年多発圃場では、本病に登録ある育苗箱施用剤が施用された。本病に効果の高い銅剤は散布適期が他病害と異なるため実施率は低い。
	ばか苗病	平年：早期少、普通期やや少 前年：早期並、普通期並	早期栽培での育苗期及び本田の発生は少であった。普通期栽培では自家採取の圃場で発生が例年認められるが、発生はやや少なかった。	自家採取及び種子消毒の未実施圃場では継続して発生している。種子消毒剤の変更。	ばか苗病を対象とした種子消毒の実施（薬剤はスポルタック、テクリードが主体）。種子更新。
	もみ枯細菌病	平年：早期並、普通期やや多 前年：早期やや多、普通期やや多	育苗期での苗腐敗症の発生はわずかに認められ、やや少の発生であった。本田では、早期栽培での発生は昨年より多くなったが、平年並であった。普通期栽培では、中生品種及び短期栽培品種（8月上中旬出穂）ともに発生が認められ、やや多の発生であった。	早期栽培及び普通期栽培ともに、出穂後の強風雨と高温により発生が助長された。	本病に有効な薬剤による種子消毒の実施率は高い。出穂期の穂いもちとの同時防除。本病のみを対象した防除は少ない

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻	縞葉枯病	平年： 早期 やや少 普通期 やや少 前年： 早期 やや少 普通期 やや少	早期栽培での発生は7月上旬頃から散発的に認められたが、やや少の発生であった。 普通期栽培では7月中旬以降に育苗箱施用剤を未施用の圃場で発生が見られた。	ヒメトビウンカの発生は広く認められ、また生息密度が比較的高いほ場もあった。従来の箱処理剤（イミダクロプリド剤等）がウンカ類対し長期残効性の薬剤に変更された。また、予察灯での飛来状況から海外飛来個体は少なく、昨年の発生は平年比「やや少」であり、保毒虫の越冬量もやや少なかったと推定される	育苗箱施用剤の処理。出穂期の他の病害虫との同時防除の実施。
	ごま葉枯病	平年： 早期 やや多 普通期 並 前年： 早期 やや多 普通期 並	早期栽培では6月下旬から、普通期栽培では7月中旬頃から発生が認められた。早期栽培では出穂以降に発生がやや増加し、やや多の発生であった。普通期栽培では中生品種で増加した。	地力低下（堆きゅう肥等の未施用）。秋落ち田での発生が多い。早期栽培では出穂後の降雨によりやや助長され、普通期栽培（8月下旬出穂の中生品種）では出穂期の降雨と気温が高めに経過したため助長された。	出穂期防除の実施。
	イネミズゾウムシ	平年： 早期 やや少 普通期 並 前年： 早期 やや多 普通期 並	成虫の発生は平年並。早期栽培では発生密度は低かったが発生圃場率は高い傾向であった。 普通期栽培では、山間部の圃場で移植直後に発生が見られる圃場が多かったが、被害程度は比較的lowかった。	本虫に効果のある箱施用剤の普及により移植後の発生密度は減少している。5月の低温により発生が遅くなった。	常発地では本虫を対象にした育苗箱施用剤の処理で対応。発生はあるものの被害が少ない圃場では特に対応はしていない。
	コブノメイガ	平年： 早期 並 普通期 並 前年： 早期 やや多 普通期 やや多	早期栽培及び普通期栽培ともに、7月中旬頃から第一世代幼虫による被害を確認したが発生程度は低かった。普通期栽培での第二世代幼虫による被害はやや増加し平年並となった。	トラップでの誘殺は確認できなかったが、ウンカの飛来状況、圃場での発生状況から6月下旬には最初の飛来があったと推定されるが、非常に少なかった。また、食葉性害虫に適用のある育苗箱施用剤により被害の発生は抑制された。	育苗箱施用剤で対応。
	セジロウンカ	平年： 早期 少 普通期 少 前年： 早期 並 普通期 並	初飛来後から7月にかけて、圃場での発生は少なかった。早期栽培、普通期栽培ともに発生は少なく本田密度は低く抑えられたが、飼料米で穂が褐変する多発事例が認められた。	予察灯（6カ所）への最初の飛来は、2カ所で6月23日に確認した（平年より9日早い）。4カ所の予察灯では6月下旬～7月上旬の飛来（平年並）であった。飛来量は少なく、また長期残効性の育苗箱施用により発生・被害は少なかった。また、飼料用品種では箱施用含めて防除がほぼ実施されていない圃場がある。	育苗箱施用剤、出穂期防除で対応。
	ツマグロヨコバイ	平年： 早期 少 普通期 やや少 前年： 早期 やや少 普通期 やや少	早期栽培・普通期栽培ともに移植後から発生密度は低かった。早期栽培、普通期栽培ともに出穂後も密度の増加はなかった。	予察灯への飛来時期は平年並、また飛来量も平年並であった。効果の高い箱施用剤を処理している圃場では非常に少なく、出穂後の密度増加もなく、9月以降の発生も少なかった。	育苗箱施用剤、本田剤の散布で対応。
	トビイロウンカ	平年： 早期 並 普通期 並 前年： 早期 やや多 普通期 やや多	7月下旬の圃場調査において、県下で初めて発生を確認し短翅雌成虫の発生も確認した。圃場での発生密度は低かったが、広域調査での発生圃場率は7月下旬～8月中旬調査で2.9%とやや多であった（令和4年8月25日技術情報発出）。その後、8月下旬～9月上旬調査では発生圃場率は12.0%と高まったが平年並であった。坪枯被害は普通期栽培で一部認められた。	予察灯への初飛来は7月19日であり、平年に比べ9日早かった。圃場での発生状況から、6月下旬にも飛来があったと推定されるが飛来量は継続して少なかった。効果の高い箱施用剤の普及率が高く発生が抑制された。残効の短い育苗箱施用剤を使用した圃場での坪枯が認められた。	育苗箱施用剤、本田防除は出穂期と仕上げ防除（出穂10-15日後）を実施。
	ニカメイガ	平年： 早期 やや少 普通期 やや少 前年： 早期 並 普通期 並	早期栽培では第一世代の被害はやや少であった。普通期栽培では、第一世代幼虫による被害は少なかったが、第二世代の被害（白穂）が常発地や山間部で散見された。	5月の気温が低かったが、6月中下旬の高温により第一世代幼虫による被害の発生時期は並であったが、予察灯への誘殺もなく発生はやや少であった。普通期栽培では箱施用剤処理により第一世代幼虫による被害は少なく、また第二世代幼虫による被害もわずかであった。	育苗箱施用剤、本田剤の散布で対応。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻	斑点米カメムシ類	平年： 並 早期 並 普通期 並 前年： 並 早期 並 普通期 並	6月の畦畔雑草の発生密度は少なかったが、早期栽培圃場での発生密度は並～やや多であった。また7～8月にかけて、畦畔雑草の発生密度は平年並であったが、早期栽培圃場および普通期栽培圃場での発生は、掬取り虫数および発生地点率ともに並～やや少であった。9月以降も畦畔雑草、本田ともに発生虫数や発生地点率ともに並～やや少であり、密度の増加は認められなかった。発生は、早期・普通期栽培ともアカスジカスミカメが多く、次いでクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシであった。なお、県下でイネカメムシの確認事例が増えてきた。	耕作放棄地の増加及び畦畔の雑草が増加傾向。5月の気温がやや低かったことで、畦畔での密度はやや低かったが、6月中下旬の高温と8月以降の高温により発生が助長された。	畦畔の除草、水田内の雑草除去。本田剤の定期防除（出穂期と出穂10-15日後の2回）散布で対応。
	ヒメトビウンカ	平年： 並 早期 並 普通期 並 前年： 並 早期 並 普通期 並	4-5月の畦畔雑草での発生はやや少なく、6月～7月にかけて早期栽培圃場での発生は並であった。普通期栽培では、7～8月にかけての発生密度は平年並であった。予察灯での誘殺数も少なかったが、圃場での発生は平年並であった。	5月の気温がやや低かったことにより発生に抑制的であった。6月中下旬の高温により発生密度はやや増加した。普通期栽培では箱施用剤が長期残効性の薬剤に変更となり、抑制効果が高かった。	育苗箱施用剤、本田剤の散布で対応。
	フタオビコヤガ	平年： 少 早期 少 普通期 少 前年： やや少 早期 やや少 普通期 やや少	早期栽培は第二世代幼虫による被害が6月下旬頃から認められたが、発生は少であった。普通期栽培は第三世代幼虫による被害が7月中旬頃から認められたが、被害程度はやや低く、少発生であった。	本虫に効果のある育苗箱施剤の使用により発生密度は近年低くなっている。	育苗箱施用剤、本田剤の散布で対応。
	イチモンジセセリ	平年： 少 早期 少 普通期 やや少 前年： やや少 早期 やや少 普通期 やや少	発生時期は、第一世代（6月下旬）でやや遅く、第2世代（7月下旬）では平年並であった。早期栽培では第一世代幼虫による被害は少なかった。普通期栽培では第一世代、第二世代幼虫による被害はやや少であった。	5月の気温が低く推移したことから、第1世代成虫の発生がやや遅くなったが、第二世代幼虫の発生はやや早く、7月下旬に被害が認められた。普通期栽培では本虫に効果のある育苗箱剤により発生は少なく抑えられた。	育苗箱施用剤、本田剤の散布で対応。
	スクミリンゴガイ	平年： 並 早期 並 普通期 並 前年： やや少 早期 やや少 普通期 やや少	早期栽培では、田植え後の圃場で産卵が早い時期（5月上旬）から認められた。前年の発生圃場での発生が中心であり、密度の高い圃場では被害が認められたが、被害程度はやや少であった。普通期栽培では、昨年の発生圃場を中心に移植直後から発生がみられ、密度の高い圃場では食害被害がみられたが、被害の発生圃場は少ない傾向であった。	定期的な土壌の耕うんを実施しているが、密度抑制効果が期待できる冬期の低温ではなかった。また、用水路での繁殖や管理不十分の水田での増殖等により地域の発生密度の低下はみられない。6月中旬以降に降雨が少なく、浅水傾向となった。	移植後の薬剤散布。水口への侵入防止の網の設置。捕獲
麦	赤かび病	平年： 並 前年： 並	裸麦では5月上旬頃から発生が散見され、5月上中旬の主要産地の広域調査では並の発生であった。また、小麦でも5月上旬までは発生は見られなかったが、収穫前（5月中下旬以降）に一部でやや増加した。	裸麦では出穂期が3月中～下旬と早い傾向となり、主要な感染期となった3月下旬～4月上中旬にかけて天候に恵まれ降雨も少なかった。また、3月15日から実施している子のう胞子の飛散量も少なかった。しかし、小麦では5月中下旬の天候不順（高温多湿条件）により発生が増加した。いずれも開花期の適期防除は実施できたが、その後の防除は未実施の圃場が多かった。	開花期～乳熟期を中心に概ね1～2回の薬剤散布が行われた。
	うどんこ病	平年： 並 前年： 並	4月中旬から散見されたが、上位葉まで発生した圃場は少なかった。	4月の高温と4月以降に降水量が少なく乾燥傾向が続きやや助長された。肥効の良い圃場で一部発病があった。	開花期～乳熟期を中心とした赤かび病との同時防除。本病を目的として防除をする事例はほとんどない。
	裸黒穂病	平年： やや多 前年： やや多	発病穂率の高い圃場はみられなかったが、広範囲で広く発生がみられた。	種子消毒の未実施。発病穂の除去未実施。	種子消毒の実施率が低い傾向であり、各地域研修会で、発病穂の除去や種子消毒の効果が高いことなどの喚起。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
大豆	ハスモンヨトウ	平年：やや少 前年：やや少	7月下旬頃から食害葉が散見されたが、被害葉の増加はなかった。9月中旬以降被害葉の増加が一部圃場で認められた。	県下7か所の性フェロモントラップ調査における誘殺数は、9月上旬まで平年並で推移し、9月中旬に平年の3～4倍程度の誘殺の一時的な増加があった。	8月～9月にかけて被害に応じて薬剤を散布。
	アブラムシ類	平年：やや少 前年：少	開花期以降から発生が認められたが、9月以降の発生はやや少であった。	8月下旬以降の黄色粘着シートでの誘殺数は少なく経過した。9月以降が高温傾向で推移したものの、2回の台風等の天候不順により発生はやや抑制された。	他の病害虫と同時防除の実施。
	吸実性カメムシ類	平年：多 前年：やや多	莢伸長期にかけて発生した。主要加害種はミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシであった。	8～9月の高温により助長された。	9月に1～2回薬剤散布。
かんきつ	そうか病	平年：並 前年：やや少	常発園における越冬病斑調査では、発病葉率・発病度ともに平年より低かった。発芽が平年よりもやや遅くなったが、発病は平年並となった。新葉では5月から、果実では6月から発病がみられた。一部地域で発生の多い園地がみられた。	発芽期～開花期にかけて降水量が少なく経過し発病に抑制的であったが、4月下旬の連続降雨により新葉感染はやや増加した。7月中旬の多雨により葉の発病と果実での発病を助長した。	発芽初期と開花期～落葉期には、灰色かび病との同時防除で対応。
	黒点病	平年：少 前年：少	6月から発病が認められたものの、発病程度は低く推移した。また、8月下旬の降雨以降、後期の発病は増加し、一部で発生の多い園地が見られたが、発生程度は低かった。	6月の降水量が平年より少なかつたため、初期の発生量が少なかった。その後も、降水量が少なく、適期防除が行われ、発病が少なかった。9月上中旬に降雨日が多く、発病に助長的であった。	落葉期から秋季にかけて降水量に応じた定期防除で対応。
	かいよう病	平年：やや多 前年：やや多	2月に行った越冬病斑調査では、発病度及び発生圃場率ともに多であり、5月の新梢における発病度、発病率ともに多であった。6～7月はやや少なく推移したが、8月以降は一部で多発生の園地がみられた。	越冬病斑量は多であり、4月下旬の多雨で発病が助長された。5月以降は降水量が少なく、発生は増加傾向にはならなかったが、9月の台風による暴風雨の影響で発病が助長された。	感受性の高い品種を中心に、発芽前と落葉直後の定期防除で対応。多発園では、開花前と6～9月に防除を実施。耕種的防除として、夏秋梢処理と防風垣整備も実施。
	ヤノネカイガラムシ	平年：並 前年：やや少	第1世代の初発日は平年並、第2世代の初発日は平年並からやや早であった。発生量は5月、6月は平年と比較してやや高く推移したが、7月以降は平年並に推移した。一部園地では多発圃場も認められている。	第1世代の発生時期に影響する4月までの気温が平年より高く、発生時期は平年より早かった。マシン油乳剤による冬季防除の省略、スプリングラー防除園での散布むら、適期防除が実施されていないなど防除方法に問題のある園地がある。	冬季のマシン油乳剤散布と第1世代及び第2世代幼虫期の薬剤散布で対応。
	ミカンハダニ	平年：やや少 前年：並	越冬虫数は平年並、4月の発生量は平年並に推移した。5月において寄生葉率はやや多となったが、6月以降の発生量は平年並～やや少となった。7月には寄生葉率は、1葉あたり雌成虫数で12.90%（平年17.13%）と最も高くなった。一部では、発生程度甚の圃場（寄生葉率81%以上）の圃場も認められた。	4月の高温により、発芽期の密度が高まった。また、9月の降雨により発生は抑制された。また、多くの園地でミヤコカブリダニ等の土着天敵が確認されており、それらが密度を抑制したと考えられる。一部園地の多発要因として、他害虫防除を目的とした薬剤散布による、リサーチエンスが考えられた。	冬季のマシン油乳剤散布と秋季を中心とした薬剤防除。
	ミカンサビダニ	平年：並 前年：並	8月から発生が認められ、1樹あたり被害果数は平年並であった。	6月以降の高温少雨傾向により発生に助長的であったが、近年本虫の発生が多かった地域ではミカンサビダニに効果の高い薬剤を散布している。9月以降は降雨が続き発生が抑制された。	5～8月の定期的な薬剤防除で対応。
	アブラムシ類	平年：やや多 前年：やや多	新梢への寄生が多くみられ、その後も発生は継続した。夏季にやや発生は抑えられたが、9月以降に発生の多い園地がみられた。	4月の高温と少雨により発生が助長され、さらに8月の高温乾燥により秋季の発生が助長されたと考えられる。	発生圃地では、他害虫との同時防除で対応。
	ゴマダラカミキリ	平年：並 前年：並	6月には県内各地で成虫を確認した。一部で発生が多い園地がみられた。	管理不良園や放任園周辺で発生が多かった。成虫の生存期間が長いことから、薬剤防除による効果が不十分な場合がある。	6～7月に本成虫とカイガラムシ類の同時防除で対応。多発園地では、7～8月に株元散布による食入防止対策を実施。
かき	炭そ病	平年：並 前年：やや少	結果母枝の越冬病斑発生圃地率は17.8%（平年15.1%）と平年並であった。7月に果実での発病度はやや多となったが、8月以降は平年並に推移した。	7月中旬の降雨により発病が助長されたが、8月以降は降雨が少なく発病に抑制的であった。	定期的な薬剤防除で対応。徒長枝や発病枝及び果実の処分徹底。
	うどんこ病	平年：並 前年：やや少	6月に発生が確認され、その後生育期間を通して発病葉率、発病度ともに平年並に推移した。	前年の発生がやや多く、越冬密度が高かったと考えられたが、適期防除や7月中旬の降雨により発生が抑制された。	定期的な薬剤防除で対応。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
かき	角斑落葉病	平年：やや多 前年：やや多	7月以降、平年よりやや多であった。	7月中旬の降雨により発病が助長された。	定期的な薬剤防除で対応。
	アザミウマ類	平年：並 前年：並	チャノキイロアザミウマの被害は、一部園地で発生が認められたが、多発することなく推移し平年よりやや少の発生であった。	7月中旬の降雨、秋期の降雨により発生が抑制された。	定期的な薬剤防除で対応。
	カイガラムシ類	平年：やや少 前年：やや少	フジコナカイガラムシは7月から発生がみられ、第一世代の発生量はやや少、8月以降の第二世代の発生量は少となった。	7月中旬の降雨により発生が抑制された。	休眠期に粗皮削りを実施。4月の越冬世代が新梢へ移動直後、及び第1、2世代の幼虫発生時期に防除を実施。
	カキノヘタムシガ	平年：やや少 前年：やや少	一部の園で発生が認められたが、全体的には発生はやや少であった。	定期防除により発生が抑えられた。	休眠期に粗皮削りを実施。葉芽を加害している時期の防除を実施。
	ハマキムシ類	平年：やや少 前年：やや少	やや少の発生であった。	定期防除防除により、発生が抑えられた。	開花から1か月間の防除が重要である。開花後の薬剤防除で対応。
キウイフルーツ	かいよう病	平年：－ 前年：やや少	4月から一部の園で樹液の漏出が認められた。定点調査では漏出箇所数は昨年より多くなった。葉の発生は昨年より少なかったが、新梢での枯死被害がみられた。	4月下旬の降雨により新葉感染が多くなったが、その後は開花期にかけて降雨が少なく、葉の発病が抑制された。	定期的な薬剤防除で対応。園地見回りによる早期発見と発病部位の早期除去を実施。
果樹共通	果樹カメムシ類	平年：多 前年：やや多	越冬密度及び越冬成虫確認地点率は平年並であったが、フェロモントラップでの誘殺数が急増したことから5月31日付で注意報を発出した。その後も8月中旬まで予察灯・フェロモントラップでの誘殺数が非常に多く推移し、ナシやキウイフルーツ、カキなどで被害が発生した。8月中旬以降は発生量は減少し、9月はやや少～少発生であった。	越冬量は並であった。本年度のヒノキ球果の着球量が少なかったことから、新世代である8月中旬以降の密度は減少したと考えられた。	飛来が認められた園地では、薬剤防除で対応。
冬春トマト	疫病	平年：－ 前年：－	発生は確認されなかった。	例年、促成栽培及び半促成栽培における発生は、散発的に発生する程度である。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。発病葉の摘葉等、耕種的防除の実施。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	3月から発生が確認された。3月の発病度は0.07（平年0.08）で並の発生であったが、4月には一部圃場で発生が増加し、発病度0.64（平年0.09）で多の発生となった。5月には減少し、発病度0.05（平年0.06）の並の発生となった。	2月は気温は平年より低く、降水量は少なく、発生に抑制的であった。4月は気温が平年より高く、中旬以降は曇りや雨の日が多く、施設内の湿度が高まり発生に助長的であった。5月は気温は平年より低く、降水量は少なく、発生に抑制的であった。	ベンズイミダゾール系薬剤は県内で耐性菌が確認されており、使用を避ける。発病前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。発病葉の摘葉等、耕種的防除の実施。
	葉かび病	平年：少 前年：少	11月に一部圃場で発生が確認された。11月の発病株率は0.4%（平年0.04%）で多の発生となったが、12～3月は発病は停滞し、並の発生となった。4月には一部圃場で発生が確認されたが、5月には減少し、やや少の発生となった。	10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく推移したが、11月は曇りや雨の日が多く、降水量は平年より多く、発生に助長的であった。12～2月は気温は平年より低く、降水量は少なく経過し、発生は停滞した。4月は気温は平年より高く、降水量は並～多く、発生に助長的であった。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。抵抗性品種の利用。ハウス換気による温度・湿度管理。発病葉の摘葉等、耕種的防除の実施。
	タバココナジラミ	平年：やや少 前年：少	10～1月、4月に発生が確認された。10月の寄生株率は1.40%（平年4.77%）で並の発生、11月は増加傾向で推移し、寄生株率3.40%（平年7.14%）で並の発生となったが、12月以降は、やや少～並で推移した。	10月は晴れの日が多く、気温は平年より高く、降水量は少なく推移し、発生に助長的であったが、11月は気温は平年並、降水量は多かった。12～2月は気温は平年より低く経過し、発生は停滞した。また、黄化葉巻病の媒介虫対策として薬剤による防除圧が高いことから、発生は抑制されたと考えられる。	定植時の粒剤処理。発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。防虫ネット（0.4～1mm目）の設置による物理的防除対策の実施。
	オンシツコナジラミ	平年：やや多 前年：やや多	2月、5月に一部圃場で発生が確認された。2月の寄生株率は0.80%（平年0.02%）で多の発生、5月の寄生株率は1.40%（平年1.31%）でやや多の発生となったが、実害を生じる発生密度ではなかった。	10月は晴れの日が多く、気温は平年より高く、降水量は少なく推移し、発生に助長的であったが、黄化葉巻病の媒介虫タバココナジラミに対する薬剤による防除圧が高いことから、発生は抑制されたと考えられる。また、タバココナジラミに比べ薬剤感受性が相対的に高いことから、本虫の発生は抑制されたと考えられる。	定植時の粒剤処理。発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。防虫ネット（0.4～1mm目）の設置による物理的防除対策の実施。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春トマト	アブラムシ類	平年：並 前年：並	発生は確認されなかった。	定植時粒剤処理の防除効果が高く、タバココナジラミに対する防除圧も高くなっていることから、本虫発生に抑制的に働いていると考えられる。また、防虫ネット（1mm目以下）の設置による侵入抑制効果も大きい。	定植時の粒剤処理。生育中の薬剤散布。防虫ネット（0.4～1mm目）の設置による物理的防除対策の実施。
夏秋トマト	疫病	平年：並 前年：少	発生は認められなかった。	期間を通じて降水量は平年よりかなり少なく経過したため、発生に抑制的であった。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。発病葉の摘葉等、耕種的防除も併せて行う。
	灰色かび病	平年：少 前年：少	6月中旬に初発を確認し、期間をとおして発生が継続した。発病度は8月までは0.00～0.11（平年0.06～0.39）と平年よりも低く推移したが、9月に高くなり0.25（平年0.19）であった。	期間をとおして高温少雨であったため発生に抑制的であった。9月の降水量が平年より多く発生を助長した。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。排水対策、発病葉の摘葉、密植しないなど耕種的防除の徹底。
	葉かび病	平年：やや多 前年：やや多	過去10年発病の認められなかった6月に発病が認められた。その後、8月まで発病の増加はなかったが、9月に全株発病した圃場が一部に認められるなどやや他の発生となった。	Cf-9遺伝子を持った品種の作付けが増えており、全体的には発生が抑えられている。一部の圃場では、薬剤防除の遅れにより本病が多発した。	抵抗性品種の導入。発病後の防除では効果が上がりにくいいため、発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除を実施。抵抗性品種を犯すレース出現の回避のため、他病害の防除に際し、本病にも効果のある剤を選択。
	かいよう病	平年：少 前年：少	発生は認められなかった。	土壌消毒や作業による伝染回避等毎年徹底した対策を継続しており、伝染源の減少により発生は少なくなっている。	資材消毒・土壌消毒の実施。高湿度時の摘葉・誘引等の作業回避。発病が疑われる株の早期除去。連作の回避。
	タバココナジラミ （全タイプ）	平年：並 前年：-	7月に1圃場で発生が確認された。寄生株率は0.5%（平年0.0%）であった。	主産地は、中山間地の冬期積雪地帯で、越冬施設もほとんどないため、主産地での地域内密度は低い。	定植時の粒剤処理、ほ場周辺の除草の徹底、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。ハウス開口部を防虫ネット等で被覆。
	オンシツコナジラミ	平年：多 前年：やや多	8月から9月の作付け後期に発生が確認された。寄生株率は8月が最も高く9.40%（平年0.65%）であった。	定植後の気温は概ね高く、降水量は少なく経過したことから発生に助長的であった。	定植時の粒剤処理、ほ場周辺の除草の徹底、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。ハウス開口部を防虫ネット等で被覆。
	アブラムシ類	平年：やや多 前年：多	7月から8月に一部圃場で発生が確認された。	一部圃場では防除が遅れたと考えられる。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。主産地である久万地域では、ネオニコチノイド系感受性低下個体が確認されているため、他系統を中心にした防除。
冬春ナス	うどんこ病	平年：少 前年：少	5月に発生が確認された。発病度は、5月1.05（平年1.76）少であった。	定植後、気温が平年より低い期間が多く、施設を締め切る時間が長かったと推定され施設内湿度が高く、発病に抑制的であった。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。
	灰色かび病	平年：やや多 前年：やや多	4月から発生が認められた。発病果率は、4月0.40%（平年0.10%）多、5月0.60%（平年0.18%）多で経過した。	本県の主要な作型である半促成においては、定植後、着果はじめとなる3月以降、3月中下旬、4月下旬に平年よりも降雨量がかなり多い期間があり、発病が助長されたと考えられる。	発病前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。排水対策等、耕種的防除も併せて行う。
	アザミウマ類	平年やや少 前年：少	ミナミキイロアザミウマを調査対象とした。4月から発生が認められた。1葉あたりの寄生虫数は4月0.002（平年0.12）並、5月0.04（平年0.44）やや少と経過した。	育苗期から作付け初期にかけての気温が低く、苗からの本虫の持ち込みが減少したことで発生が抑えられたと考えられる。	定植時の粒剤処理。発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。薬剤抵抗性を獲得しやすいため、総合的防除を徹底する。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春ナス	アブラムシ類	平年：並 前年：並	4月から発生が認められ、1葉あたりの寄生虫数は4月0.01（平年0.01）、5月0.24（平年0.08）のような経過となった。	本虫への効果が高い薬剤が多く、発生に抑制的であった。	定植時の粒剤処理。生育中の薬剤散布の実施。施設内およびほ場周辺の除草の徹底。
	ハダニ類	平年：やや多 前年：やや少	4月から発生が認められ、寄生葉率は4月1.40%（平年2.86%）少、5月18.80%（平年8.83%）多と作付け後期にかけて発生量が増加した。	気温が、3月中旬から4月下旬にかけて、平年よりかなり高い期間が多く、発生が助長された。ナミハダニが発生の中心であり効果のある薬剤に限られる。	施設内の除草の徹底、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。
夏秋ナス	うどんこ病	平年：並 前年：やや少	6月から発生が認められ、期間を通して発生した。発病度は6月1.00（平年0.79）やや多、7月2.36（平年1.84）並、8月0.54（平年1.13）やや少、9月3.53（平年4.09）並で経過した。	7月以降、主要産地である平野部の平均気温は27℃を超え発病に抑制的であった。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。
	灰色かび病	平年：やや少 前年：-	発生は認められなかった。		発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。排水対策等、耕種的防除も併せて行う。
	アザミウマ類	平年：並 前年：やや多	ミナミキイロアザミウマを調査対象とした。6月から発生が認められた。1葉あたりの寄生虫数は6月0.80（平年0.03）多、7月0.08（平年0.04）多、8月0.01（平年0.45）少で経過し、9月に発生は見られなかった。作付け初期に多くの発生が見られた。	期間を通じて高温、少雨で経過し、本虫の発生に助長的であった。	定植時の粒剤処理。発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。薬剤抵抗性を獲得しやすいため、総合的防除を徹底する。
	アブラムシ類	平年：並 前年：多	発生密度は小さいものの期間を通して発生が認められた。1葉あたり寄生虫数は、6月0.04（平年0.04）並、7月0.03（平年0.01）多、8月0.02（平年0.06）並、9月0.02（平年0.05）やや少で経過した。	6～7月の高温・少雨は発生に助長的であったものの、定植時の粒剤処理や定期防除によって発生量は平年並に抑えられた。	定植時の粒剤処理、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。
	ハダニ類	平年：多 前年：多	期間を通して発生が認められた。寄生葉率は、6月5.33%（平年3.77%）並、7月23.64%（平年5.44%）多、8月27.71%（平年9.41%）多、9月2.63%（平年10.05%）少で経過した。	作付け期間を通して、気温は平年より高く、少雨であったことから発生が助長された。	発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。
冬春きゅうり	べと病	平年：やや多 前年：並	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月の発病葉率は2.77%（平年6.01%）で並の発生であったが、その後増加し、12月には発病葉率33.0%（平年12.85%）でやや多の発生となった。半促成栽培では、4月から発生が確認された。4月の発病葉率は14.40%（平年2.00%）でやや多の発生であったが、5月は発病葉率18.20%（平年9.55%）で並の発生となった。促成栽培では、12月から発生が認められた。発病葉率は、12月33.3%（平年2.47%）、1月10.33%（平年3.95%）、2月15.67%（平年3.17%）、3月26.67%（平年7.87%）、4月49.33%（平年14.80%）、5月61.67%（平年16.02%）と平年より多く推移した。	抑制栽培では、10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく推移したが、11月は曇りや雨の日が多く、降水量は平年より多く、発生に助長的であった。半促成栽培では、4月は気温が平年より高く、下旬は曇りや雨の日が多く、施設内の湿度が高まり発生に助長的であった。5月は気温は平年より低く、降水量は少なく、発生に抑制的であった。促成栽培では作付け期間全体を通して気温が平年より高く、施設を締め切ったまま暖房機が動かない時間が多くなったと推定され発生が助長された。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。促成栽培では暖房機（送風運転）や循環扇を用いた強制通風による葉面結露の解消。通路マルチによる施設内湿度の抑制。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	発生は確認されなかった。		発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。
	褐斑病	平年：やや少 前年：やや少	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月はやや少の発生、11月は発病葉率20.63%（平年28.25%）で並の発生となった。半促成栽培では、4月から発生が確認された。5月の発病株率は0.60%（平年5.38%）で並の発生となった。促成栽培では、発生は認められなかった。	抑制栽培では、10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく推移した。11月は曇りや雨の日が多く、降水量は平年より多く、発生に助長的であった。半促成栽培では、4月は気温が平年より高く、下旬は曇りや雨の日が多く、発生に助長的であったが、5月は気温は平年より低く、降水量は少なく、発生に抑制的であった。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。抵抗性品種の利用。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春きゅうり	うどんこ病	平年：やや少 前年：多	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月の発病葉率は9.69%（平年16.16%）で並の発生、11月は12.38%（平年20.67%）で並の発生となった。 半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では11月、1月、2月に少発生したものの、全体的には発生が抑えられた。	抑制栽培では、10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、発生に助長的であったが、11月は曇りや雨の日が多く、降水量は平年より多く、発生に抑制的であった。 半促成栽培では、4月は気温が平年より高く、下旬は曇りや雨の日が多く、5月は気温が平年より低く、発生に抑制的であった。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。密植や過繁茂を避ける等、本病の発生しにくい栽培環境づくりの実施。抵抗性品種の導入。
	アブラムシ類	平年：多 前年：多	抑制栽培では、発生は確認されなかった。 半促成栽培では、4月に一部圃場で発生が確認された。4月の寄生虫数/葉は0.02頭（平年0.00頭）で多の発生となったが、5月は発生は確認されなかった。 促成栽培で2月から発生が認められた。	半促成栽培では、3～4月の気温が平年より高く推移し、発生に助長的であった。また、定植時の粒剤処理の効果、防虫ネット（1mm目以下）の設置による侵入抑制効果も大きい。	定植時の粒剤処理。生育期間中の薬剤散布。防虫ネット（0.4～1mm目）、紫外線除去フィルムの利用。圃場周辺（施設内外）の除草。
	ミナミキイロアザミウマ	平年：並 前年：並	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月の寄生虫数/葉は0.04頭（平年0.23頭）で並、11月は0.07頭（平年1.40頭）でやや少、12月は0.29頭（平年0.28頭）で並の発生となった。 半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では、4月から発生が認められ、1葉あたりの寄生虫数は4月0.11（平年：0.02）、5月1.78（平年：0.13）と推移した。	抑制栽培では、10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、発生に助長的であった。 半促成栽培では、抑制栽培終了後の12月から2月までの気温が平年より低く推移し、発生に抑制的であった。 各作型とも発生は薬剤防除や物理的防除により一定レベルに抑制されている。 促成栽培では4月、5月の気温が平年に比べて高く、発生が助長された。	定植時の粒剤処理。系統の異なる薬剤によるローテーション防除。防虫ネット（0.4～1mm目）、紫外線除去フィルムの利用。一部で天敵製剤スワルスキーカブリダニを導入。圃場周辺（施設内外）の除草。栽培終了時の施設蒸し込み処理の実施。
	タバココナジラミ	平年：やや多 前年：やや多	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月の寄生葉率は18.38%（平年9.28%）でやや多、11月は11.38%（平年8.44%）でやや多の発生となった。 半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では10、11月に発生が確認され、それぞれ並、少の発生となり、その後発生は見られなかった。	抑制栽培では、10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、発生に助長的であった。 半促成栽培では、抑制栽培終了後の12月から2月までの気温が平年より低く推移し、発生に抑制的であった。 各作型とも発生は薬剤防除や物理的防除により一定レベルに抑制されている。 促成栽培では気温が平年より高い期間が多く、本虫の発生を助長したが定期防除により発生は抑圧された。	定植時の粒剤処理。発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。防虫ネット（0.4～1mm目）、紫外線除去フィルムの利用。
	オンシツコナジラミ	平年：並 前年：並	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月の寄生葉率は0.15%（平年0.11%）でやや多、11月は0.25%（平年1.01%）で並の発生となった。 半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では、発生は確認されなかった。	抑制栽培では、10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、発生に助長的であった。 半促成栽培では、抑制栽培終了後の12月から2月までの気温が平年より低く推移し、発生に抑制的であった。 各作型とも発生は薬剤防除や物理的防除により一定レベルに抑制されている。	定植時の粒剤処理。発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。防虫ネット（0.4～1mm目）、紫外線除去フィルムの利用。
夏秋きゅうり	べと病	平年：やや少 前年：少	6月から発生が確認された。6月の発病葉率は0.20%（平年1.47%）で並の発生であったが、7月は23.40%（平年16.53%）でやや多、9月は17.50%（平年24.52%）で並の発生となった。	6月は梅雨入りが遅く、降水量は少なく、発生に抑制的であったが、7月は梅雨明けは早かったものの曇りや雨の日が多く、発生に助長的であった。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。肥切れさせない適切な肥培管理。排水対策。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	発生は確認されなかった。		発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。
	褐斑病	平年：並 前年：多	7月から発生が確認された。7月の発病葉率は9.60%（平年3.33%）でやや多、8月は2.00%（平年9.70%）で並、9月は27.00%（平年28.65%）で並の発生となった。	6月は梅雨入りが遅く、降水量は少なく、発生に抑制的であったが、7月は梅雨明けは早かったものの曇りや雨の日が多く、発生に助長的であった。8月は曇りや雨の日が多かったが、気温は高く、降水量は少なかった。9月は曇りや雨の日が多く、降水量は平年より多く、発生に助長的であった。 近年、抵抗性品種の利用が増えており、発生が少ない傾向がある。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。抵抗性品種の利用。適切な肥培管理の実施。
	うどんこ病	平年：少 前年：並	6～8月は発生は確認されなかった。9月に一部圃場で発生が確認されたが、発病葉率は2.00%と低かった。	抵抗性品種が主体であることから、発生が少ない傾向である。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。抵抗性品種の利用。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
夏秋きゅうり	アブラムシ類	平年：多 前年：多	6月から発生が確認された。6月の寄生虫数/葉は0.01頭（平年0.03頭）で並の発生、7月は減少傾向で推移し、8月は圃場により差があるが、19.34頭（平年0.71頭）で多の発生となった。	6月は梅雨入りが遅く、気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、7月は梅雨明けは早かったものの曇りや雨の日が多く、発生に抑制的であった。8月は曇りや雨の日が多かったが、気温は高く、降水量は少なくやや助長的であった。	定植時の粒剤処理。生育期間中の薬剤散布。
	ミナミキイロアザミウマ	平年：多 前年：多	6月に発生が確認された。6月の寄生虫数/葉は1.37頭（平年0.02頭）で多の発生であったが、7月は減少傾向で推移し、8月は0.21頭（平年0.21頭）でやや多の発生となった。	6月は梅雨入りが遅く、気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、7月は梅雨明けは早かったものの曇りや雨の日が多く、発生に抑制的であった。8月は曇りや雨の日が多かったが、気温は高く、降水量は少なく、やや助長的であった。	定植時の粒剤処理。系統の異なる薬剤によるローテーション防除。
	タバココナジラミ	平年：やや多 前年：多	6月に発生が確認された。6月の寄生葉率は0.20%（平年0.03%）でやや多、7月は0.80%（平年0.11%）でやや多、8月は0.25%（平年1.09%）で並の発生となったが、全般的に発生密度は低く推移した。	6月は梅雨入りが遅く、気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、7月は梅雨明けは早かったものの曇りや雨の日が多く、発生に抑制的であった。8月は曇りや雨の日が多かったが、気温は高く、降水量は少なく、やや助長的であった。	定植時の粒剤処理。生育期間中の薬剤散布。
	オンシツコナジラミ	平年：やや多 前年：やや多	8月に発生が確認された。8月の寄生葉率は2.75%（平年0.64%）で多の発生であったが、9月は減少した。全般的に発生密度は低く推移した。	6月は梅雨入りが遅く、気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、7月は梅雨明けは早かったものの曇りや雨の日が多く、発生に抑制的であった。8月は曇りや雨の日が多かったが、気温は高く、降水量は少なく、やや助長的であった。	定植時の粒剤処理。生育期間中の薬剤散布。
春キャベツ	菌核病	平年：やや少 前年：少	1月から3月まで発生が認められた。1月は発生程度「中」の圃場が認められ、発病株率は4.5%（平年0.03%）とであったが、その後は発生程度「中」以上の発生圃場は認められず、4月の発生は認められなかった。	12月中旬の気温は0.4-1.1度と平年より高く、降水量は平年比172%に達する地点があるなど多かったことから、一部生育の進んだ圃場での発病が助長されたと推定される。以降は、降水量は、かなり少ないから少ない期間が多く発病に抑制的であったと推定される。	生育期の薬剤散布。
	黒腐病	平年：並 前年：並	極わずか認められた。	-	生育期の薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：やや多 前年：並	2月から発生が認められ、2月の寄生株率は1.6%で平年の8倍（平年0.2%）、4月の寄生株率は2.5%（平年2.12%）、発生程度「少」を超える圃場はなく、実害を生じるほどの発生はなかった。	1月以降の気温はかなり低いから低い期間が多かったものの、降水量は、かなり少ないから少ない期間が多かったため発生をやや助長したと推定される。	定植時の粒剤処理、生育期の薬剤散布。
タマネギ	白色疫病	平年：並 前年：やや多	1月に発生が認められ、その発生圃場率は30.7%となった。それ以外での発生は確認されなかった。	1月の平均気温は平年と比較して低く発生を助長した。	例年発生の恐れのある早どり栽培を中心に生育期薬剤散布。
	べと病	平年：やや多 前年：並	2月から発生が認められ、3月上中旬の普通期栽培での発生圃場率は14.9%（平年：9.1%）となり、平年より多く推移した。	主産地における平均気温が2月下旬から5℃を上回っており、本病の発生を助長したと考えられる。	生育期の薬剤散布。圃場の排水の徹底。発病地では連作を避ける。
サトイモ	アブラムシ類	平年：並 前年：やや多	6月から発生が認められた。1株あたりの虫数は、6月1.63（平年1.30）並、7月1.22（平年3.55）並、8月4.72（平年6.76）並、9月7.43（平年6.90）並で経過した。	主産地では6月～8月の高温乾燥により本虫の発生に助長的であったが7月の降水量の増加に伴って発生が抑えられた。	定植時の粒剤処理、生育期の薬剤散布
	ハダニ類	平年：多 前年：多	期間を通して多く発生した。1株あたり寄生虫数は、6月1.23（平年0.35）多、7月17.03（平年18.12）並、8月22.93（平年2.78）多、9月4.64（平年0.60）多で経過した。	主産地では6月～8月の高温乾燥により本虫の発生が助長された。9月に入り、降水量が増加したため、8月よりも密度は減少した。	ほ場周辺の除草の徹底、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。
	ハスモンヨトウ	平年：やや少 前年：少	6月から発生が認められ、食害面積率は8月3.91%（平年1.39%）まで増加したが、9月には1.64%（平年6.04%）と減少した。	主産地では6月～8月の高温乾燥により本虫の発生が助長された。9月に入り、降水量が増加したため発生に抑制的であったと考えられる。	8月中旬を中心とした薬剤防除で対応。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イチゴ	うどんこ病	平年：やや多 前年：多	期間をとおして発病が認められた。12月から2月までは概ね平年並で経過したが、3月以降は、果実、葉とも多からやや多で経過し、5月の発病葉率は2.96%（平年0.66%）、発病果率3.29%（平年0.82%）となった。	気温は、3月はかなり高く、4月は高く推移したことから、発病が助長されたと推定される。	育苗後期～10月末までの予防散布及び発病初期からの系統が異なる薬剤のローテーション防除。
	炭疽病	平年：並 前年：やや少	育苗期終盤の8月下旬から9月上旬に発病が急増したものの、本圃での発病株率は、10月、0.25%（平年0.28%）で、その後の増加は認められなかった。	育苗期間である2021年8月、9月は台風があったことから、発病が増したが、その後は天候の回復と発病株除去が徹底され本圃での発病は育苗期と比較し抑制されたと推定される。	育苗期に系統が異なる薬剤によるローテーション散布。雨よけ底面給水育苗及び感染リスクの低い親苗の利用。
	灰色かび病	平年：やや少 前年：並	12月から5月まで発生した。発生量は4月まで概ね少で経過したが、5月に多となり、発病果率は1.86%（平年0.46%）となった。	4月中旬までは、降水量は平年より少ない、かなり少ない。日照時間は多い、かなり多いの期間が多く、発病に抑制的であった。 4月下旬に、降水量は平年より、かなり多く、日照時間は、かなり少なくなり、発病に助長的となった。	発生初期からの本病薬剤の散布。発病果実や葉身の除去。
	アザミウマ類	平年：やや多 前年：並	期間をとおして発生が認められた。寄生花率は、概ね平年並で経過したが、2月1.35%（平年0.74%）、5月24.1%（19.0%）はやや多となった。主要種はヒラズハナアザミウマ。	4月の気温は概ね高く経過したため、5月の寄生花率増加につながったと推定される。	発生初期からの薬剤の散布。
イチゴ	アブラムシ類	平年：やや多 前年：多	期間をとおして発生が認められた。寄生株率は定植直後の10月が3.94%（平年1.66%）と最も高く、2月に0.53%（平年0.28%）と最も低くなった。3月に増加しやや多となったものの、4月1.04%（平年1.08%）、5月1.48%（平年1.67%）と平年並に減少した。	気温は、10月は平年より高く経過し、発生を助長したものの、1月、2月は平年より低く経過したことや防除によって発生が抑制された。3月には、気温が平年よりかなり高くなったことから発生が助長され、以降は、防除によって発生は抑制されたと推定される。	発生初期からの薬剤の散布。
	ハダニ類	平年：やや多 前年：やや少	期間をとおして発生が認められた。寄生株率は定植直後の10月に19.62%（平年7.61%）と最も高く、11月、1月、3月、4月にやや多から多となった。その他の月は平年並であった。	3月、4月は、気温が平年より高く経過したことから発生が助長され、以降は、防除によって発生は抑制されたと推定される。また、薬剤感受性の低下により有効薬剤が少ないことも発生を助長している。	比較的効果の期待できる剤を選択使用。気門封鎖剤の積極利用。天敵の利用。カブリダニの利用は徐々に増加している。
野菜共通	オオタバコガ	平年：並 前年：並	県内5か所の性フェロモントラップ調査における誘殺数は、東中予2か所で平年より多く、南予の1か所は平年より少なく経過した。	夏季は高温・少雨であったが、南予地域はまとまった降雨があった期間があり、地域間差を生じたと推定される。	生育期薬剤散布、被害果の除去、幼虫の捕殺。防虫ネットの被覆。結球野菜では、育苗期後半～定植時のジアミド系薬剤を主体とした薬剤処理。
	シロイチモジヨトウ	平年：並 前年：並	県内5か所の性フェロモントラップ調査における誘殺数は、東中予3か所で平年より多く、南予の2か所は平年より少なく経過した。	夏季は高温・少雨であったが、南予地域はまとまった降雨があった期間があり、地域間差を生じたと推定される。	生育期薬剤散布。施設栽培では防虫ネットによる侵入防止を図る。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：やや少	県下7か所の性フェロモントラップ調査における誘殺数は、9月3半旬までは概ね平年並で経過したが、4半旬に各地点とも平年の2.2～4.0倍となった。	9月18～19日かけて台風14号が通過し、飛来に影響があった可能性がある。	生育期薬剤散布。施設栽培では防虫ネットによる侵入防止を図る。葉菜類では育苗期の薬剤灌注処理。
	ヨトウガ	平年：やや少 前年：やや少	県下1か所の性フェロモントラップ調査における誘殺数は概ね平年よりやや少なく経過した。	例年発生のピークがある4月に平年より降雨量が多く、その後の発生が抑制された可能性がある。	生育期薬剤散布。施設栽培では防虫ネットによる侵入防止を図る。
	コナガ	平年：並 前年：多	県内2か所の性フェロモントラップ調査における誘殺数は、概ね平年並で経過した。 県内6か所の予察灯における誘殺数は、例年どおり5月第4半旬～6月第5半旬に多くの地点でピークが認められ、時期は平年と前後したものの量的には概ね平年並で経過した。	梅雨入りが昨年5月であったが、例年通りの6月となったため、昨年よりも発生量は多くなり、ほぼ平年並の発生であったものと推定される。	播種・定植時に粒剤施用。生育期薬剤散布。ジアミド系薬剤への感受性低下個体群が広く確認されているため他系統薬剤による防除。

2 病害虫程度別面積及び防除面積（県全体）

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計	実	延
早期水稻	2,904	苗立枯病	0	0	0	5	5	2,800	2,800
		苗いもち	0	0	0	5	5	2,800	4,200
		葉いもち	0	0	50	550	600	2,800	2,800
		穂いもち	0	0	60	440	500	2,800	5,600
		紋枯病	0	5	50	2,545	2,600	2,800	4,200
		白葉枯病	0	0	0	0	-	0	0
		ばか苗病	0	0	0	10	10	2,800	2,800
		もみ枯細菌病	0	0	0	80	80	1,200	1,200
		ごま葉枯病	0	0	60	270	330	2,000	2,000
		縞葉枯病	0	0	0	10	10	0	0
		萎縮病	0	0	0	0	-	0	0
		稲こうじ病	0	0	0	1	1	0	0
		ニカメイガ	0	0	0	35	35	2,800	2,800
		ニカメイガI	0	0	0	35	35	2,800	2,800
		ニカメイガII	0	0	0	0	-	0	0
		セジロウンカ	0	0	0	1,200	1,200	2,800	5,600
		トビイロウンカ	0	0	0	35	35	2,800	5,600
		ヒメトビウンカ	0	0	0	1,850	1,850	2,800	5,600
		ツマグロヨコバイ	0	0	0	350	350	2,800	5,600
		斑点米カメムシ類	0	0	50	2,150	2,200	2,800	5,600
		アカスジカスミカメ	0	0	50	1,700	1,750		
		クモヘリカメムシ	0	0	20	850	870		
		トゲシラホシカメムシ	0	0	0	100	100		
		ホソハリカメムシ	0	0	35	1,180	1,215		
		ミナミアオカメムシ	0	0	5	250	255		
		イチモンジセセリ	0	0	0	120	120	2,800	5,600
		フタオビコヤガ	0	0	0	35	35	2,800	5,600
		コブノメイガ	0	0	0	850	850	2,800	5,600
		イネミズゾウムシ	0	0	0	1,800	1,800	2,800	2,800
		スクミリンゴガイ	0	0	0	200	200	150	150
普通期水稻	10,498	苗立枯病	0	0	0	25	25	9,500	9,500
		苗いもち	0	0	0	120	120	9,500	9,500
		葉いもち	0	0	300	7,200	7,500	9,500	23,750
		穂いもち	0	0	50	4,350	4,400	9,500	9,500
		紋枯病	0	50	1,250	8,200	9,500	9,500	14,250
		白葉枯病	0	0	0	0	-	0	0
		ばか苗病	0	0	0	70	70	9,500	9,500
		もみ枯細菌病	0	0	0	2,100	2,100	4,500	4,500
		ごま葉枯病	0	0	120	2,500	2,620	3,000	3,000
		縞葉枯病	0	0	0	80	80	0	0
		萎縮病	0	0	0	0	-	0	0
		稲こうじ病	0	0	20	1,500	1,520	6,000	6,000
		ニカメイガ	0	0	0	250	250	9,500	9,500
		ニカメイガI	0	0	0	50	50	9,500	9,500
		ニカメイガII	0	0	0	220	220	4,000	4,000
		サンカメイガ					-		
		セジロウンカ	0	0	0	3,400	3,400	9,500	19,000
		トビイロウンカ	0	0	10	1,200	1,210	9,500	19,000
		ヒメトビウンカ	0	0	0	4,900	4,900	9,500	9,500
		ツマグロヨコバイ	0	0	0	2,250	2,250	9,500	9,500
		斑点米カメムシ類	0	0	200	6,000	6,200	9,500	19,000
		アカスジカスミカメ	0	0	180	5,200	5,380		
		クモヘリカメムシ	0	0	100	2,500	2,600		
		トゲシラホシカメムシ	0	0	0	500	500		
		ホソハリカメムシ	0	0	120	3,000	3,120		

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計	実	延
普通期水稻	10,498	ミナミアオカメムシ	0	0	10	800	810		
		イチモンジセセリ	0	0	0	500	500	9,500	9,500
		フタオビコヤガ	0	0	0	150	150	9,500	9,500
		コブノメイガ	0	0	0	3,500	3,500	9,500	19,000
		イネミズゾウムシ	0	0	0	1,300	1,300	2,500	2,500
		スクミリンゴガイ	0	10	1,400	4,350	5,760	5,600	5,600
麦	2,070	うどんこ病	0	0	0	165	165	1,500	1,500
		赤かび病	0	0	0	190	190	1,500	2,500
		黒穂病類	0	0	0	740	740	700	700
大豆	338	アブラムシ類	0	0	0	30	30	300	300
		ハスモンヨトウ	0	0	10	200	210	350	700
		吸実性カメムシ類	0	5	30	80	115	350	700
かんきつ	11,250	そうか病	0	10	150	363	523	3,324	6,638
		黒点病	0	0	1,550	8,500	10,050	8,563	34,764
		かいよう病	0	120	250	1,883	2,253	4,987	9,984
		灰色かび病	0	450	2,500	3,550	6,500	6,778	6,778
		ヤノネカイガラムシ	0	10	176	580	766	7,296	14,485
		アカマルカイガラムシ	0	0	0	228	228		
		フジコナカイガラムシ	0	171	171	998	1,340	6,778	6,778
		ミカンハダニ	0	190	1,700	7,850	9,740	6,883	12,986
		ミカンサビダニ	0	0	0	145	145	6,991	13,982
		カメムシ類	10	65	154	1,620	1,849	5,863	12,354
		チャノキイロアザミウマ	0	468	1,326	4,125	5,919	7,653	13,658
		ナマルカイガラムシ(サホーゼカイガラムシ)	0	0	184	85	269	6,778	6,778
		ツノロウムシ	0	0	0	176	176	4,265	4,265
		ルビーロウムシ	0	0	0	87	87	4,265	4,265
		ミカンハモグリガ	0	965	1,865	7,652	10,482	6,778	6,778
		ゴマダラカミキリ	0	0	0	1,365	1,365	6,778	6,778
		アブラムシ類	0	550	1,590	4,700	6,840	6,778	6,778
かき	567	炭そ病	0	45	130	185	360	425	1,675
		うどんこ病	0	0	115	360	475	425	1,675
		円星落葉病	0	0	22	55	77	425	1,675
		角斑落葉病	0	25	190	300	515	425	1,675
		カキノヘタムシガ(カキミガ)	0	0	15	75	90	356	823
		フジコナカイガラムシ	0	10	150	220	380	425	1,675
		カメムシ類	0	50	80	190	320	365	725
		ハマキムシ類	0	0	0	115	115	312	625
		イラガ	0	0	0	20	20	356	356
		チャノキイロアザミウマ	0	12	20	180	212	389	1,189
		カキクダアザミウマ	0	0	0	10	10	389	786
キウイフルーツ	344	かいよう病	0	5	30	41	76	245	1,000
夏秋トマト	112	疫病	0	0	0	0	-	112	224
		灰色かび病	0	0	0	112	112	112	448
		葉かび病	0	0	5	107	112	112	224
		かいよう病	0	0	0	0	-	112	112
		オンシツコナジラミ	0	0	0	112	112	112	224
		タバココナジラミ	0	0	0	28	28	112	224
		アブラムシ類	0	0	22	6	28	112	112

農作物名	作付面積 (ha)	病虫害名	程度別発生面積(ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計	実	延
冬春トマト	34	疫病	0	0	0	0	-	7	7
		灰色かび病	0	0	0	10	10	34	170
		葉かび病	0	0	0	7	7	34	102
		オンシツコナジラミ	0	0	0	7	7	34	136
		タバココナジラミ	0	0	0	14	14	34	136
		アブラムシ類	0	0	0	0	-	34	34
夏秋ナス	137	うどんこ病	0	0	0	103	103	137	548
		灰色かび病	0	0	0	0	-	137	411
		アザミウマ類	0	84	53	0	137	137	411
		アブラムシ類	0	0	0	103	103	137	274
		ハダニ類	39	25	20	53	137	137	548
冬春ナス	10	うどんこ病	0	0	0	6	6	10	30
		灰色かび病	0	0	0	4	4	10	30
		アザミウマ類	0	0	2	2	4	10	30
		アブラムシ類	0	0	0	6	6	10	20
		ハダニ類	2	0	2	0	4	10	30
夏秋キュウリ	194	べと病	0	0	38	78	116	175	525
		うどんこ病	0	0	0	20	20	97	194
		灰色かび病	0	0	0	0	-	97	194
		褐斑病	0	0	39	39	78	175	700
		ミナミキイロアザミウマ	0	0	0	116	116	175	700
		アブラムシ類	0	16	32	49	97	175	525
		オンシツコナジラミ	0	0	0	146	146	175	350
		タバココナジラミ	0	0	0	78	78	175	350
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	-	175	350
冬春キュウリ	34	べと病	8	8	18	0	34	34	136
		うどんこ病	0	3	5	10	18	34	136
		灰色かび病	0	0	0	0	-	34	68
		褐斑病	2	3	10	5	20	34	170
		ミナミキイロアザミウマ	0	0	0	34	34	34	170
		アブラムシ類	0	0	0	9	9	34	102
		オンシツコナジラミ	0	0	0	5	5	34	102
		タバココナジラミ	0	0	6	19	25	34	136
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	-	34	68
春キャベツ	129	黒腐病	0	0	0	0	-	120	120
		菌核病	0	0	32	0	32	120	272
		アブラムシ類	0	0	0	65	65	120	240
		コナガ	0	0	0	97	97	120	360
タマネギ	322	白色疫病	0	3	9	12	322	644	322
		べと病	0	3	38	41	322	966	1,932
サトイモ	428	アブラムシ類	0	0	10	418	428	428	856
		ハダニ類	0	10	50	368	428	428	1,284
		ハスモンヨトウ	0	0	5	352	357	428	856
イチゴ	76	灰色かび病	3	0	2	17	22	76	405
		うどんこ病	5	1	3	16	25	76	405
		炭そ病	0	0	1	6	7	76	622
		アブラムシ類	0	1	3	17	21	76	160
		アザミウマ類	35	5	12	4	57	76	294
		ハダニ類	2	6	10	31	49	76	378

V 調査観察成績

1) 稲 病害虫調査

項目		5月	6月	7月	8月	9月
イネミズゾウムシ	調査圃場数	12	9	0	0	0
	発生圃場率	41.7	22.2	—	—	—
	平均被害度	3.7	0.2	—	—	—
	25株成虫数	0.1	0	—	—	—
いもち病 (葉)	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	8.3	6.3	16.7	40	31.6
	平均発病度	0.0	0.0	0.4	0.9	0.4
	平均進行型病斑発生度	0	0	0	0	0
	置苗圃場率	2	1	0	0	0
	置苗発病率	1	1	0	0	0
いもち病 (穂)	調査圃場数	—	—	5	17	18
	発生圃場率	—	—	0	29.4	33.3
	平均発病穂率	—	—	0	0.3	0.1
白葉枯病	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均発病度	0	0	0	0	0
	平均発病株率	0	0	0	0	0
ごま葉枯病 (葉)	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	3.3	10	26.3
	平均発病度	0	0	0.2	0.9	0.7
ごま葉枯病 (穂)	調査圃場数	—	—	5	17	18
	発生圃場率	—	—	0	5.9	0
	平均発病度	—	—	0	1.5	0
紋枯病	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	16.7	43.3	94.7
	平均発病度	0	0	0.1	1.0	5.1
	平均発病株率	0	0	0.3	3.4	13.9
イネクロカメムシ	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	6.3	3.3	3.3	0
	平均25株虫数	0	0.0	0.0	0.2	0
コブノメイガ (見取) (掬取)	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	3.3	26.7	47.4
	平均被害葉率	0	0	0.0	0.0	0.0
	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	—	0	0	0	5.3
	平均成虫数	—	0	0	0	0.1
イネツトムシ (イチモンジセセリ)	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	18.8	0	0	0
	平均25株ツト数	0	0.1	0	0	0
	平均25株幼虫数	0	0.1	0	0	0
イネヨトウ	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
アワヨトウ	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均25株虫数	0	0	0	0	0
ニカメイガ	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
サンカメイガ	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
縞葉枯病	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	3.3	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0

項目	5月	6月	7月	8月	9月	
萎縮病	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
ばか苗病	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
イネキモグリバエ (葉)	調査圃場数	12	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
イネキモグリバエ (穂)	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	-	0	0	0
	平均被害株率	-	-	0	0	0
スクミリンゴガイ	調査圃場数	12	7	30	30	19
	発生圃場率	16.7	12.5	16.7	3.3	0
	平均貝数/m ²	0.1	0.1	0.1	0.0	0
	平均塊卵/100株	0	0.0	0.0	0.0	0.0
稲こうじ病	調査圃場数	3	0	5	17	18
	発生圃場率	-	-	0	11.8	38.9
	平均発病穂率	-	-	0	0.5	5.1
靱枯細菌病	調査圃場数	3	0	5	17	18
	発生圃場率	-	-	0	5.9	22.2
	平均発病穂率	-	-	0	0.0	0.0
ツマグロヨコバイ	調査圃場数	9	16	30	30	19
	発生圃場率	0	6.3	13.3	10	15.8
	平均1株虫数	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(成虫数)	0	0	0	0	0.0
	(幼虫数)	0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヒメトビウンカ	調査圃場数	9	16	30	30	19
	発生圃場率	11.1	6.3	36.7	53.3	68.4
	平均1株虫数	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3
	(成虫数)	0.0	0	0.0	0.1	0.1
	(幼虫数)	0	0.1	0.1	0.3	0.2
セジロウンカ	調査圃場数	9	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	3.3	46.7	36.8
	平均1株虫数	0	0	0.0	0.1	0.2
	(長翅成虫数)	0	0	0	0.0	0.1
	(短翅成虫数)	0	0	0	0.0	0.0
(幼虫数)	0	0	0.0	0.1	0.2	
トビイロウンカ	調査圃場数	9	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	10	31.6
	平均1株虫数	0	0	0	0.0	2.1
	(長翅成虫数)	0	0	0	0.0	0.3
	(短翅成虫数)	0	0	0	0.0	0.0
	(幼虫数)	0	0	0	0.0	1.7
	短翅率	-	-	-	80	8.6
フタオビコヤガ (イネアオムシ) (摺取)	調査圃場数	9	16	30	30	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均1株幼虫数	0	0	0	0	0
	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	6.3	3.3	0	0
	(成虫数)	-	0	0	0	0
	(幼虫数)	-	0.1	0.0	0	0

項目	5月	6月	7月	8月	9月	
本田内（捕虫網掬い取り調査）						
クモヘリカメムシ	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	0	6.7	10.0	10.5
	平均虫数	-	0	0.1	0.6	0.1
ホソハリカメムシ	調査圃場数	.	16	30	30	19
	発生圃場率	-	6.3	10	13.3	5.3
	平均虫数	-	0.1	0.3	0.3	0.1
ミナミアオカメムシ	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	0	0	0	0
	平均虫数	-	0	0	0	0
シラホシカメムシ	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	0	0	0	5.3
	平均虫数	-	0	0	0	0.1
その他カメムシ類	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	6.3	13.3	6.7	10.5
	平均虫数	-	0.1	0.3	0.3	0.2
アカスジカスミカメ	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	6.3	3.3	10	10.5
	平均虫数	-	0.4	0.0	0.2	0.1
その他カスミカメ類	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	0	6.7	6.7	0
	平均虫数	-	0	0.3	0.1	0
斑点米カメムシ類計	調査圃場数	0	16	30	30	19
	発生圃場率	-	12.5	26.7	30.0	31.6
	平均虫数	-	0.5	0.9	1.4	0.5
畦畔（捕虫網すくい取り調査）						
クモヘリカメムシ	調査地点数	11	12	23	22	12
	発生地点率	0	0	4.3	0	25.0
	平均虫数	0	0	0.4	0	0.8
ホソハリカメムシ	調査地点数	11	12	23	22	12
	発生地点率	0	8.3	34.8	4.5	50
	平均虫数	0	0.2	1.4	0.0	1.4
ミナミアオカメムシ	調査地点数	11	12	23	22	12
	発生地点率	0	0	0	0	0
	平均虫数	0	0	0	0	0
シラホシカメムシ	調査地点数	11	12	23	22	12
	発生地点率	0	0	8.7	4.5	33.3
	平均虫数	0	0	0.1	0.1	0.6
その他カメムシ類	調査地点数	11	12	23	22	12
	発生地点率	0	0	13.0	9.1	8.3
	平均虫数	0	0	0.3	0.1	0.1
アカスジカスミカメ	調査地点数	11	12	23	22	12
	発生地点率	9.1	8.3	26.1	9.1	50
	平均虫数	0.1	0.1	3.1	0.2	5.7
その他カスミカメ類	調査地点数	11	12	23	22	12
	発生地点率	0	8.3	30.4	13.6	41.7
	平均虫数	0	0.2	4.5	0.3	6.1
斑点米カメムシ類計	調査地点数	11	12	23	22	12
	発生地点率	9.1	16.7	52.2	31.8	75
	平均虫数	0.1	0.4	9.7	0.8	14.7

①5月調査結果

地区	東予地域												中予地域								南予地域													
	四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町			
市町	土居町津根	土居町藤原	土居町蕪崎	神戸	水見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉1(圭吾)	朝倉2(近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	野田	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡			
地点	1	4	4	3	1	4	3	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4			
調査月日	5/23	-	-	-	5/23	-	5/23	-	-	-	5/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/24	5/24	5/24	5/11	5/11	5/13	5/13	5/13	-	-	-			
◆見取調査																																		
イネミズゾウムシ	被害度	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.8	1	2	0	0	23.3	0	0	-	-	-	
葉いもち	発病度	0	-	-	-	0.3	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
白葉枯病	発病株率	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
ごま葉枯病(葉)	発病度	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
紋枯病	発病度	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
イネクロカメムシ	25株虫数	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
コブノメイガ	被害葉率	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
イネツトムシ	25株ツト数	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
イネヨトウ	被害株率	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
アワヨトウ	25株虫数	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
ニカメイガ	被害株率	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
サンカメイガ	被害株率	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
縞葉枯病	被害株率	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
ほか苗病	被害株率	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
スクミリンゴガイ	m ² 貝数	0.5	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
◆(穂)見取調査																																		
ごま葉枯病(穂)	発病度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
稲こうじ病	被害株率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穂いもち	発病穂率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
籾枯細菌病	発病穂率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
◆払落調査																																		
ツマグロヨコバイ	1株虫数	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヒメトビウンカ	1株虫数	0	-	-	-	0.1	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
セジロウンカ	1株虫数	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
トビイロウンカ	1株虫数	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フタオビコヤガ	1株虫数	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
◆掬取調査																																		
コブノメイガ	20回成虫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フタオビコヤガ	20回成虫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フタオビコヤガ	20回幼虫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ホソハリカメムシ	20回虫数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
シラホシカメムシ	20回虫数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アカスジカスミカメ	20回虫数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
◆(畦畔等)掬取調査																																		
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
ホソハリカメムシ	20回虫数	-	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
シラホシカメムシ	20回虫数	-	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
アカスジカスミカメ	20回虫数	-	-	-	-	0	-	0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	

②6月調査結果

地区	東予地域												中予地域									南予地域										
	四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町	
市町	土居町津根	土居町藤原	土居町蕪崎	神戸	水見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉1(圭吾)	朝倉2(近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	野田	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡	
地点	1	4	4	3	1	4	3	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4	
調査月日	6/20	6/20	6/20	-	6/8	-	6/8	-	-	-	6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/22	6/22	6/22	6/13	6/13	6/13	6/13	6/14	6/15	-	6/14	
◆見取調査																																
イネミズゾウムシ	被害度	0	0	1	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
葉いもち	発病度	0	0	0	-	0.8	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白葉枯病	発病株率	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ごま葉枯病(葉)	発病度	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紋枯病	発病度	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イネクロカメムシ	25株虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コブノメイガ	被害葉率	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イネツトムシ	25株ツト数	0	0	0	-	0.3	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0.5	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イネヨトウ	被害株率	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アワヨトウ	25株虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニカメイガ	被害株率	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サンカメイガ	被害株率	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
縞葉枯病	被害株率	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ほか苗病	被害株率	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スクミリンゴガイ	m貝数	0	0	0	-	0	-	0.5	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
◆(穂)見取調査																																
ごま葉枯病(穂)	発病度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稲こうじ病	被害株率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穂いもち	発病穂率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
籾枯細菌病	発病穂率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
◆払落調査																																
ツマグロヨコバイ	1株虫数	0.2	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒメトビウンカ	1株虫数	0.9	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セジロウンカ	1株虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トビイロウンカ	1株虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フタオビコヤガ	1株虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
◆掬取調査																																
コブノメイガ	20回成虫	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フタオビコヤガ	20回成虫	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フタオビコヤガ	20回幼虫	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クモヘリカメムシ	20回虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホソハリカメムシ	20回虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ミナミアオカメムシ	20回虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シラホシカメムシ	20回虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アカスジカスミカメ	20回虫数	0	0	0	-	0	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
◆(畦畔等)掬取調査																																
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	0	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホソハリカメムシ	20回虫数	-	0	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	0	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シラホシカメムシ	20回虫数	-	0	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アカスジカスミカメ	20回虫数	-	0	-	-	-	-	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③7月調査結果

地区	東予地域												中予地域									南予地域										
	四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町	
市町	土居町津根	土居町藤原	土居町燕崎	神戸	水見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉1(圭吾)	朝倉2(近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	野田	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡	
地点	1	4	4	3	1	4	3	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4	
調査月日	7/12	7/12	7/12	7/8	7/8	7/13	7/8	-	7/12	7/12	7/11	7/11	7/13	7/13	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/11	7/11	7/11	7/11	7/11	7/11	7/11	7/13	7/13	7/12	7/12	
◆見取調査																																
イネミズゾウムシ	被害度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
葉いもち	発病度	0	0	0	0	0.5	0	0.3	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白葉枯病	発病株率	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ごま葉枯病(葉)	発病度	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.5	0	0	0	0	0	
紋枯病	発病度	0.5	0	0	0	0	0	0.5	-	0	0	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0.3	0	0	0	
イネクロカメムシ	25株虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コブノメイガ	被害葉率	0	0	0.0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イネツトムシ	25株ツトムシ	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イネヨトウ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アワヨトウ	25株虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ニカメイガ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
サンカメイガ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
縞葉枯病	被害株率	0	0	0	0	0	0	1	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ほか苗病	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
スクミリンゴガイ	m貝数	0	0	0	0	0	0	0.5	-	0	0	0.5	0	0	0	0	1.5	0	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
◆(穂)見取調査																																
ごま葉枯病(穂)	発病度	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	0	-	-	
稲こうじ病	被害株率	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	0	-	-	
穂いもち	発病穂率	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	0	-	-	
初枯細菌病	発病穂率	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	0	-	-	
◆払落調査																																
ツマグロヨコバイ	1株虫数	0	0	0	0.1	0	0	0.1	-	0	0	0	0	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヒメトビウンカ	1株虫数	0.4	0.7	0.1	0.3	0.3	0	0	-	0	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.9	0.1	0	0.9	0	0.4	0	
セジロウンカ	1株虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	
トビイロウンカ	1株虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
フタオビコヤガ	1株虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
◆掬取調査																																
コブノメイガ	20回成虫	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
フタオビコヤガ	20回成虫	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
フタオビコヤガ	20回幼虫	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クモヘリカメムシ	20回虫数	1	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
ホソハリカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	5	0	0	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
シラホシカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アカスジカスミカメ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
◆(畦畔等)掬取調査																																
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	-	-	9	0	-	0	-	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
ホソハリカメムシ	20回虫数	-	-	-	5	0	-	1	-	0	0	0	-	5	1	0	0	0	0	-	1	4	0	14	0	0	0	0	1	0	-	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	-	-	0	0	-	0	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
シラホシカメムシ	20回虫数	-	-	-	0	0	-	0	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	-	
アカスジカスミカメ	20回虫数	-	-	-	6	0	-	0	-	0	0	0	-	43	11	0	0	3	5	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

④8月調査結果

地区	東予地域												中予地域									南予地域										
	四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町	
市町	土居町津根	土居町藤原	土居町蕪崎	神戸	水見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉1(圭吾)	朝倉2(近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	野田	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡	
地点	1	4	4	3	1	4	3	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4	
調査月日	8/5	8/10	8/10	8/16	8/4	8/16	8/16	-	8/19	8/19	8/4	8/10	8/16	8/16	8/16	8/9	8/22	8/22	8/9	8/16	8/16	8/16	8/16	8/12	8/12	8/12	8/15	8/15	8/15	8/12	8/12	
◆見取調査																																
イネミズゾウムシ	被害度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
葉いもち	発病度	0	0	0.3	0	0.8	0	2.5	-	1.3	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	1.8	0	0.5	0	0	5.3	0	0	1	10.75	0.3		
白葉枯病	発病株率	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ごま葉枯病(葉)	発病度	0	0	2.3	0	0.5	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	
紋枯病	発病度	1	0	0	0	0.3	0	0	-	0	0	0	0	3.8	2	0	0.8	1.5	4	5.5	1.5	0	0	0.8	7	0.8	0	0	0.3	0	0	
イネクロカメムシ	25株虫数	0	0	0	0	0	0	-	0	0	4.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コブノメイガ	被害葉率	0	0	0	0	0	0	-	0.1	0	0	0	0	0.1	0	0	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.1	0.1	
イネツトムシ	25株ツトムシ	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イネヨトウ	被害株率	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アワヨトウ	25株虫数	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ニカメイガ	被害株率	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
サンカメイガ	被害株率	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
縞葉枯病	被害株率	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ほか苗病	被害株率	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
スクミリンゴガイ	m貝数	0	0	0	0	0.5	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
◆(穂)見取調査																																
ごま葉枯病(穂)	発病度	0	-	-	0	0	-	0	-	-	0	-	0	-	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	-	-	-	
稲こうじ病	被害株率	0	-	-	0	1	-	0	-	-	0	-	0	-	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	-	-	-	
穂いもち	発病穂率	0	-	-	0	0.9	-	0	-	-	0	-	0	-	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0.2	4.1	0.1	0.1	-	-	-	
籾枯細菌病	発病穂率	0	-	-	0	0	-	0	-	-	0	-	0.1	-	-	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
◆払落調査																																
ツマグロヨコバイ	1株虫数	0	0	0	0	0	0	0.2	-	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヒメトビウンカ	1株虫数	2.6	1	0	0.4	0.9	0.2	0.3	-	0.6	0.2	0.4	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	0.2	0.1	0	1.3	0.6	1.1	
セジロウンカ	1株虫数	0.4	0.4	0	0.3	0.6	0	0.3	-	0.3	0	0	0.1	0	0	0.4	0	0	0.3	0.1	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0.2	0.1	0	
トビイロウンカ	1株虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0	0	
フタオビコヤガ	1株虫数	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
◆掬取調査																																
コブノメイガ	20回成虫	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
フタオビコヤガ	20回成虫	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
フタオビコヤガ	20回幼虫	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クモヘリカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	10	-	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	
ホソハリカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
シラホシカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アカスジカスミカメ	20回虫数	0	2	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
◆(畦畔等)掬取調査																																
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ホソハリカメムシ	20回虫数	-	0	-	1	-	0	0	-	0	0	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
シラホシカメムシ	20回虫数	-	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
アカスジカスミカメ	20回虫数	-	0	-	3	-	0	0	-	0	0	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	

⑤9月調査結果

地区	東予地域												中予地域									南予地域										
	四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町
市町	土居町津根	土居町藤原	土居町燕崎	神戸	氷見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉1(圭吾)	朝倉2(近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	野田	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡	
地点																																
調査月日	1: 早期、2: 早植、3: 短期、4: 普通	4	4	3	1	4	3	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4	
調査月日	-	9/14	9/14	9/13	-	9/13	-	9/13	9/13	9/13	-	9/13	9/12	9/15	9/15	9/9	9/9	9/9	9/9	9/9	9/12	-	-	-	-	-	-	-	-	9/13	9/14	9/13
◆見取調査																																
イネミスズウムシ	被害度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
葉いもち	発病度	-	0	3	0	-	0	-	0	0	-	0	0.3	0	0.3	0	0	0.5	0	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	2	0
白葉枯病	発病株率	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	
ごま葉枯病(葉)	発病度	-	2.3	3.5	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0.3	0	0	6	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	
紋枯病	発病度	-	2.8	7.3	4.5	-	0	-	0.5	0.5	0.5	-	1	1	21.8	4	0.3	0.5	4	4.5	39.3	-	-	-	-	-	-	-	0.5	4	0.8	
イネクロカメムシ	25株虫数	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
コブノメイガ	被害葉率	-	0.0	0	0	-	0.0	-	0.0	0.1	0.0	-	0.0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0.2	0.0		
イネツトムシ	25株ツト数	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
イネヨトウ	被害株率	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
アワヨトウ	25株虫数	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
ニカメイガ	被害株率	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
サンカメイガ	被害株率	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
縞葉枯病	被害株率	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
ばか苗病	被害株率	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
スクミリンゴガイ	m ² 貝数	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
◆(穂)見取調査																																
ごま葉枯病(穂)	発病度	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
稲こうじ病	被害株率	-	0	32	0	-	1	-	4	0	2	-	6	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	21	0	26		
穂いもち	発病穂率	-	0	0.1	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0.1	0.2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	1.8	0.2	0.1		
籾枯細菌病	発病穂率	-	0	0	0	-	0.1	-	0.1	0.3	0.4	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
◆払落調査																																
ツマグロヨコバイ	1株虫数	-	0	0	0	-	0.1	-	0.2	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0.2	0		
ヒメトビウンカ	1株虫数	-	0.3	0	0.4	-	0.3	-	0	0.2	0	-	0	0.6	0.2	0	0.3	0.7	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	0.8	1.2	0.3		
セジロウンカ	1株虫数	-	0	0	1.3	-	0.8	-	1	0.6	0	-	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0.2	-	-	-	-	-	-	0	0.7	0		
トビイロウンカ	1株虫数	-	0	0	0.3	-	0	-	0.2	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	-	-	-	-	-	-	38.3	0.4	0.9		
フタオビコヤガ	1株虫数	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
◆掬取調査																																
コブノメイガ	20回成虫	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
フタオビコヤガ	20回成虫	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
フタオビコヤガ	20回幼虫	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	1	1		
ホソハリカメムシ	20回虫数	-	0	0	1	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
シラホシカメムシ	20回虫数	-	0	0	0	-	0	-	0	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
アカスジカスミカメ	20回虫数	-	0	0	1	-	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
◆(畦畔等)掬取調査																																
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	0	0	7	-	-	-	-	0	-	-	0	-	0	-	0	0	2	-	0	-	-	-	-	-	-	0	1	-		
ホソハリカメムシ	20回虫数	-	1	0	4	-	-	-	-	2	-	-	5	-	4	-	0	0	0	-	1	-	-	-	-	-	-	0	0	-		
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	0	0	0	-	-	-	-	0	-	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	0	0	-		
シラホシカメムシ	20回虫数	-	0	1	1	-	-	-	-	0	-	-	3	-	0	-	0	0	0	-	2	-	-	-	-	-	-	0	0	-		
アカスジカスミカメ	20回虫数	-	0	0	31	-	-	-	-	13	-	-	18	-	3	-	0	0	2	-	0	-	-	-	-	-	-	0	1	-		

2) 広域調査

① いもち病 (7月：100株見取り調査)

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
西条地区 (旧周桑)	7月14日	34	6	17.6
今治地区	7月14日	31	1	3.2
東予計		65	7	10.8
久万高原町	7月15日	48	12	25
松山地区	7月22日	68	10	14.7
中予計		116	22	19.0
三間・鬼北・宇和島	6月29日	12	5	41.7
西予地区	7月27日	28	26	92.9
たいき管内	7月29日	18	15	83.3
南予計		58	46	79.3
県全体		239	75	31.4

【参考】過去10年間の調査結果 (7月)

調査年度	調査地区数	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
H24	4	221	82	37.1
H25	4	219	26	11.9
H26	4	233	35	15.0
H27	5	302	69	22.8
H28	4	136	37	27.2
H29	6	269	14	5.2
H30	7	334	49	14.7
R1	7	358	32	8.9
R2	8	382	96	25.1
R3	12	391	129	33.0
平均		284.5	56.9	20.1

① いもち病（8月：100株見取り調査）

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
四国中央市	8月5日	40	7	17.5
今治地区	8月4日	41	14	34.1
今治地区	8月18日	34	8	23.5
東予計		115	29	25.2
久万高原町	8月19日	88	23	26.1
松山地区	8月24日	60	19	31.7
伊予・松前地区	8月2日	46	12	26.1
東温地区	8月2日	48	9	18.8
伊予・松前地区	8月30日	51	19	37.3
東温地区	8月30日	54	13	24.1
中予計		347	95	27.4
三間鬼北津島	8月24日	11	6	54.5
西予地区	8月31日	20	13	65
南予計		31	19	61.3
県全体		493	143	29.0

【参考】過去10年間の調査結果（8月）

調査年度	調査地区数	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
H24	4	221	82	37.1
H25	4	219	26	11.9
H26	4	233	35	15.0
H27	5	302	69	22.8
H28	4	136	37	27.2
H29	6	269	14	5.2
H30	7	334	49	14.7
R1	7	358	32	8.9
R2	8	382	96	25.1
R3	12	391	129	33.0
平均		284.5	56.9	20.1

② セジロウンカ (7月：10株払落し調査)

早期・普通期

地区	調査 月日	調査 圃場数	発生 圃場数	発生圃 場率 (%)	平均虫数 (頭/10 株)	成幼虫密度別 圃場割合 (%)			成虫密度別 圃場割合 (%)	
						1～9頭	10～49頭	50頭～	1～9頭	10頭～
西条地区 (旧周桑)	7月14日	34	1	2.9	0.1	2.9	0	0	2.9	0
今治地区	7月14日	31	7	22.6	0.3	22.6	0	0	16.1	0
東予計		65	8	12.3	0.2	12.3	0	0	9.2	0
久万高原町	7月15日	48	11	22.9	0.6	22.9	0	0	8.3	0
松山地区	7月22日	68	19	27.9	0.4	27.9	0	0	20.6	0
中予計		116	30	25.9	0.5	25.9	0	0	15.5	0
西予	7月27日	28	18	64.3	3.6	46.4	17.9	0	28.6	0
大洲内子	7月29日	18	7	38.9	0.9	33.3	5.6	0	22.2	0
南予計		46	25	54.3	2.5	41.3	13.0	0	26.1	0
県全体		227	63	27.8	0.8	25.1	2.6	0	15.9	0

【参考】過去10年の調査結果

調査年度	調査 地区数	調査 圃場数	発生 圃場数	発生圃 場率 (%)	平均虫数 (頭/10 株)	成幼虫密度別 圃場割合 (%)			成虫密度別 圃場割合 (%)	
						1～9頭	10～49頭	50頭～	1～9頭	10頭～
H24	4	225	204	90.7	42.2	23.7	38.6	28.5	43.6	22.5
H25	5	288	221	76.7	3.8	65.5	10.5	0	37.7	0.3
H26	4	233	152	65.2	4.0	56.2	10.8	0.7	35.9	0.6
H27	5	303	240	79.2	7.4	56.4	23.1	1.2	38.6	3.4
H28	4	256	220	85.9	8.7	64.3	19.4	2.4	54.3	8.2
H29	6	269	171	63.6	3.1	58.5	4.5	0	42.3	0
H30	7	344	134	39.0	1.4	36.4	2.4	0	17.5	0
R1	7	355	167	47.0	2.5	41.8	10.0	0.5	26.2	0.9
R2	8	382	258	67.5	10.7	47.1	19.7	4.6	43.1	1.3
R3	12	396	133	33.6	1.3	31.5	2.7	0	16.9	0.2
平年		305.1	190.0	64.8	8.5	48.1	14.2	3.8	35.6	3.7

③-1 トビイロウンカ（10株払落し調査）

（1） トビイロウンカの7月～9月の発生状況（各地区農業技術者絡協議会等で調査）

【7月】

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	平均虫数 (頭/10株)	成幼虫密度別圃場割合 (%)					成虫密度別圃場割合 (%)					短翅雌成虫発生圃場割合 (%)	
						1～9頭	10～49頭	50～199頭	200～499頭	500頭～	1頭	2～4頭	5～9頭	10～29頭	30頭～	圃場数	発生圃場率 (%)
西条(周桑)	7月14日	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今治地区	7月14日	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東予計		65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久万高原町	7月15日	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松山地区	7月22日	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中予計		116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西予地区	7月27日	27	1	3.7	0.04	3.7	0	0	0	0	3.7	0	0	0	0	1	3.7
大洲内子	7月29日	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南予計		43	1	2.3	0.02	2.3	0	0	0	0	2.3	0	0	0	0	1	2.3
県全体		224	1	0.4	0.01	0.4	0	0	0	0	0.4	0	0	0	0	1	0.4

【8月】

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	平均虫数 (頭/10株)	成幼虫密度別圃場割合 (%)					成虫密度別圃場割合 (%)					短翅雌成虫発生圃場割合 (%)	
						1～9頭	10～49頭	50～199頭	200～499頭	500頭～	1頭	2～4頭	5～9頭	10～29頭	30頭～	圃場数	発生圃場率 (%)
西条(周桑)	8月26日	147	2	1.4	0.03	1.4	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0
四国中央市	8月5日	40	1	2.5	0.03	2.5	0	0	0	0	2.5	0	0	0	0	0	0
今治地区	8月4日	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今治地区	8月18日	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東予計		262	3	1.1	0.02	1.1	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0
久万高原町	8月19日	88	10	11.4	0.39	10.2	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松山	8月24日	60	1	1.7	0.1	1.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予・松前	8月2日	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東温	8月2日	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予・松前	8月30日	51	1	2.0	4.12	0	0	0	2.0	0	0	0	0	2.0	0	1	2.0
東温	8月30日	54	2	3.7	0.04	3.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中予計		347	14	4.0	0.7	3.5	0.3	0	0.3	0	0	0	0	0.3	0	1	0.3
宇和島鬼北	8月24日	11	2	18.2	0.27	18.2	0	0	0	0	9.1	9.1	0	0	0	2	18.2
たいき	8月23日	21	3	14.3	0.14	14.3	0	0	0	0	14.3	0	0	0	0	0	0
西予	8月31日	20	7	35	0.8	35.0	0	0	0	0	15	5	0	0	0	3	15
南予計		52	12	23.1	0.42	23.1	0	0	0	0	13.5	3.8	0	0	0	5	9.6
県全体		661	29	4.4	0.42	4.1	0.2	0	0.2	0	1.4	0.3	0	0.2	0	6	0.9

【9月】

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	平均虫数 (頭/10株)	成幼虫密度別圃場割合 (%)					成虫密度別圃場割合 (%)					短翅雌成虫発生圃場割合 (%)	
						1～9頭	10～49頭	50～199頭	200～499頭	500頭～	1頭	2～4頭	5～9頭	10～29頭	30頭～	圃場数	発生圃場率 (%)
うま	9月2日	37	13	35.1	1.2	32.4	2.7	0	0	0	10.8	0	0	0	0	3	8.1
西条・新居浜	9月6日	39	18	46.2	3.8	41.0	2.6	2.6	0	0	10.3	2.6	0	0	0	4	10.3
今治地区	9月1日	33	3	9.1	0.1	9.1	0	0	0	0	9.1	0	0	0	0	2	6.1
東予計		109	34	31.2	1.8	28.4	1.8	0.9	0	0	10.1	0.9	0	0	0	9	8.3
松山地区	9月8日	54	8	14.8	0.3	14.8	0	0	0	0	5.6	0	0	0	0	1	1.9
伊予・松前地区	9月9日	41	7	17.1	1.1	12.2	4.9	0	0	0	2.4	4.9	0	0	0	1	2.4
東温地区	9月9日	44	7	15.9	0.2	15.9	0	0	0	0	9.1	0	0	0	0	3	6.8
中予計		139	22	15.8	0.5	15.8	1.4	0	0	0	5.8	1.4	0	0	0	5	3.6
県全体		248	56	22.6	1.1	21.4	1.6	0	0	0	7.7	1.2	0	0	0	14	5.6

④ コブノメイガ (7月:100株見取り調査)

早期・普通期

【令和4年】

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
西条地区 (旧周桑)	7月14日	34	0	0
今治地区	7月14日	31	0	0
東予計		65	0	0
久万高原町	7月15日	48	0	0
松山地区	7月22日	68	4	5.9
中予計		116	4	3.4
西予	7月27日	28	2	7.1
大洲内子	7月29日	18	2	11.1
南予計		46	4	8.7
県全体		227	8	3.5

【参考】過去10年間の発生状況

調査年度	調査地区数	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
H24	4	213	21	9.9
H25	4	219	112	51.1
H26	4	233	15	6.4
H27	5	302	135	44.7
H28	4	256	91	35.5
H29	6	257	12	4.5
H30	7	344	36	10.8
R1	7	358	85	23.7
R2	8	382	231	60.5
R3	12	391	17	4.3
平年		295.5	75.5	25.5

⑤ 斑点米カメムシ類の発生状況（6月下旬～7月上中旬掬取調査）

【令和4年】 早期水稻

地域名 調査日	区 分	本 田			畦 畔		
		調査 圃場数	発生 圃場数	発生圃場率 (%)	調査 地点数	発生 地点数	発生地点率 (%)
周 桑 R4. 7. 14	ホソハリカメシ	79	4	5.1	41	11	26.8
	クモヘリカメシ		2	2.5		5	12.2
	アカスジカスミカメ		7	8.9		11	26.8
	シラホシカメシ		2	2.5		4	9.8
	ミナミアオカメシ		5	6.3		1	2.4
	イネカメムシ		0	0		0	0
	斑点米カメシ類合計			13		16.5	
今 治 R4. 7. 14	ホソハリカメシ	48	3	6.3	21	6	28.6
	クモヘリカメシ		2	4.2		0	0
	アカスジカスミカメ		3	6.3		12	57.1
	シラホシカメシ		0	0		1	4.8
	ミナミアオカメシ		1	2.1		1	4.8
	イネカメムシ		0	0		1	4.8
	斑点米カメシ類合計			5		10.4	
久万高原 町 R4. 7. 15	ホソハリカメシ	55	2	3.6	34	5	14.7
	クモヘリカメシ		1	1.8		1	2.9
	アカスジカスミカメ		0	0		2	5.9
	シラホシカメシ		1	1.8		1	2.9
	ミナミアオカメシ		0	0		0	0
	イネカメムシ		0	0		0	0
	斑点米カメシ類合計			4		7.3	
宇和島他 R4. 6. 29	ホソハリカメシ	12	7	58.3	12	4	33.3
	クモヘリカメシ		2	16.7		2	16.7
	アカスジカスミカメ		0	0		1	8.3
	シラホシカメシ		0	0		0	0
	ミナミアオカメシ		0	0		0	0
	イネカメムシ		1	8.3		0	0
	斑点米カメシ類合計			8		66.7	
全 県	種 類	調査 圃場数	発生 圃場数	発生圃場率 (%)	調査 点数	発生 地点数	発生地点率 (%)
	ホソハリカメシ	194	16	8.2	108	26	24.1
	クモヘリカメシ		7	3.6		8	7.4
	アカスジカスミカメ		10	5.2		26	24.1
	シラホシカメシ		3	1.5		6	5.6
	ミナミアオカメシ		6	3.1		2	1.9
	イネカメムシ		1	0.5		1	0.9
	斑点米カメシ類合計			30		15.5	

(東中予)

種 類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	調査点数	発生地点数	発生地点率 (%)
ホソハリカムシ	182	9	4.9	96	22	22.9
クモヘリカムシ		5	2.7		6	6.3
アカスジカスミカ		10	5.5		25	26.0
シラホシカムシ		3	1.6		6	6.3
ミナミアオカムシ		6	3.3		2	2.1
イネカメムシ		0	0		1	1.0
斑点米カムシ類合計			22		12.1	

(南予)

種 類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	調査点数	発生地点数	発生地点率 (%)
ホソハリカムシ	12	7	58.3	12	4	33.3
クモヘリカムシ		2	16.7		2	16.7
アカスジカスミカ		0	0		1	8.3
シラホシカムシ		0	0		0	0
ミナミアオカムシ		0	0		0	0
イネカメムシ		1	8.3		0	0
斑点米カムシ類合計			8		66.7	

⑤ 斑点米カメムシ類の発生状況（7月末～9月上旬すくい取調査）

【令和4年】 普通期水稻

地域名 調査日	区 分	本 田			畦 畔		
		調査 圃場数	発生 圃場数	発生圃場率 (%)	調査 地点数	発生 地点数	発生地点率 (%)
四国 中央 R4. 9. 2	ホソハリカメムシ	37	5	13.5	3	3	100
	クモヘリカメムシ		12	32.4		0	0
	アカスジカスミカメ		4	10.8		0	0
	シラホシカメムシ		3	8.1		3	100
	ミナミアオカメムシ		6	16.2		0	0
	イネカメムシ		2	5.4		1	33.3
	斑点米カメムシ類合計			19		51.4	
新居 浜・西 条 R4. 9. 6	ホソハリカメムシ	47	6	12.8	1	0	0
	クモヘリカメムシ		12	25.5		0	0
	アカスジカスミカメ		6	12.8		0	0
	シラホシカメムシ		3	6.4		1	100
	ミナミアオカメムシ		8	17.0		0	0
	イネカメムシ		0	0		0	0
	斑点米カメムシ類合計			17		36.2	
周 桑 R4. 8. 26	ホソハリカメムシ	136	28	20.6	43	16	37.2
	クモヘリカメムシ		23	16.9		9	20.9
	アカスジカスミカメ		16	11.8		8	18.6
	シラホシカメムシ		0	0		2	4.7
	ミナミアオカメムシ		11	8.1		3	7.0
	イネカメムシ		1	0.7		0	0
	斑点米カメムシ類合計			59		43.4	
今 治 R4. 9. 1	ホソハリカメムシ	33	3	9.1	7	2	28.6
	クモヘリカメムシ		9	27.3		2	28.6
	アカスジカスミカメ		7	21.2		1	14.3
	シラホシカメムシ		1	3.0		2	28.6
	ミナミアオカメムシ		4	12.1		1	14.3
	イネカメムシ		0	0		0	0
	斑点米カメムシ類合計			16		48.5	
東 温 ① R4. 8. 30	ホソハリカメムシ	54	10	18.5	15	6	40
	クモヘリカメムシ		14	25.9		0	0
	アカスジカスミカメ		3	5.6		1	6.7
	シラホシカメムシ		4	7.4		3	20
	ミナミアオカメムシ		4	7.4		0	0
	イネカメムシ		11	20.4		1	6.7
	斑点米カメムシ類合計			22		40.7	
東 温 ② R4. 9. 9	ホソハリカメムシ	44	4	9.1	6	3	50
	クモヘリカメムシ		6	13.6		2	33.3
	アカスジカスミカメ		2	4.5		2	33.3
	シラホシカメムシ		2	4.5		1	16.7
	ミナミアオカメムシ		6	13.6		0	0
	イネカメムシ		4	9.1		0	0
	斑点米カメムシ類合計			20		45.5	
松 山 ① R4. 8. 24	ホソハリカメムシ	62	5	8.1	27	14	51.9
	クモヘリカメムシ		6	9.7		3	11.1
	アカスジカスミカメ		4	6.5		4	14.8
	シラホシカメムシ		0	0		8	29.6
	ミナミアオカメムシ		3	4.8		0	0
	イネカメムシ		1	1.6		0	0
	斑点米カメムシ類合計			14		22.6	

地域名 調査日	区 分	本 田			畦 畔		
		調査 圃場数	発生 圃場数	発生圃場率 (%)	調査 地点数	発生 地点数	発生地点率 (%)
松 山 ② R4. 9. 8	ホソハリカマシ	52	3	5.8	30	14	46.7
	クモヘリカマシ		5	9.6		3	10
	アカスジカスミカ		3	5.8		9	30
	シラホシカマシ		0	0		3	10
	ミナミアオカマシ		2	3.8		0	0
	イネカメムシ		2	3.8		2	6.7
	斑点米カマシ類合計			15		28.8	
伊予松 前① R4. 8. 30	ホソハリカマシ	52	7	13.5	13	7	53.8
	クモヘリカマシ		10	19.2		1	7.7
	アカスジカスミカ		4	7.7		2	15.4
	シラホシカマシ		3	5.8		4	30.8
	ミナミアオカマシ		4	7.7		0	0
	イネカメムシ		2	3.8		0	0
	斑点米カマシ類合計			18		34.6	
伊予松 前② R4. 9. 9	ホソハリカマシ	41	3	7.3	18	6	33.3
	クモヘリカマシ		5	12.2		4	22.2
	アカスジカスミカ		3	7.3		2	11.1
	シラホシカマシ		5	12.2		5	27.8
	ミナミアオカマシ		2	4.9		0	0
	イネカメムシ		0	0		0	0
	斑点米カマシ類合計			16		39.0	
宇和島 他 R4. 8. 24	ホソハリカマシ	11	5	45.5	11	9	81.8
	クモヘリカマシ		5	45.5		2	18.2
	アカスジカスミカ		0	0		1	9.1
	シラホシカマシ		1	9.1		0	0
	ミナミアオカマシ		3	27.3		1	9.1
	イネカメムシ		8	72.7		2	18.2
	斑点米カマシ類合計			8		72.7	
大洲喜 多 R4. 7. 29	ホソハリカマシ	18	5	27.8	8	6	75
	クモヘリカマシ		0	0		1	13
	アカスジカスミカ		0	0		1	13
	シラホシカマシ		0	0		0	0
	ミナミアオカマシ		0	0		0	0
	イネカメムシ		0	0		0	0
	斑点米カマシ類合計			7		38.9	
西予市 R4. 7. 27	ホソハリカマシ	28	8	28.6	23	14	60.9
	クモヘリカマシ		3	10.7		0	0
	アカスジカスミカ		6	21.4		4	17
	シラホシカマシ		4	14.3		2	9
	ミナミアオカマシ		1	3.6		0	0
	イネカメムシ		0	0		0	0
	斑点米カマシ類合計			16		57.1	
全 県	種 類	調査 圃場数	発生 圃場数	発生圃場率 (%)	調査 点数 (雑草)	発生 地点数	発生地点率 (%)
	ホソハリカマシ	615	92	15.0	205	100	48.8
	クモヘリカマシ		110	17.9		27	13.2
	アカスジカスミカ		58	9.4		35	17.1
	シラホシカマシ		26	4.2		34	16.6
	ミナミアオカマシ		54	8.8		5	2.4
	イネカメムシ		31	5.0		6	2.9
	斑点米カマシ類合計			247		40.2	

(東中予)

種 類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	調査点数 (雑草)	発生圃場数	発生圃場率 (%)
ホソハリカマシ	558	74	13.3	163	71	43.6
クモヘリカマシ		102	18.3		24	14.7
アカスジカスミカメ		52	9.3		29	17.8
シラホシカマシ		21	3.8		32	19.6
ミナミアオカマシ		50	9.0		4	2.5
イネカメムシ		23	4.1		4	2.5
斑点米カマシ類合計		216	38.7		100	61.3

(南予)

種 類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	調査点数 (雑草)	発生圃場数	発生圃場率 (%)
ホソハリカマシ	57	18	31.6	42	29	69.0
クモヘリカマシ		8	14.0		3	7.1
アカスジカスミカメ		6	10.5		6	14.3
シラホシカマシ		5	8.8		2	4.8
ミナミアオカマシ		4	7.0		1	2.4
イネカメムシ		8	14.0		2	4.8
斑点米カマシ類合計		31	54.4		31	73.8

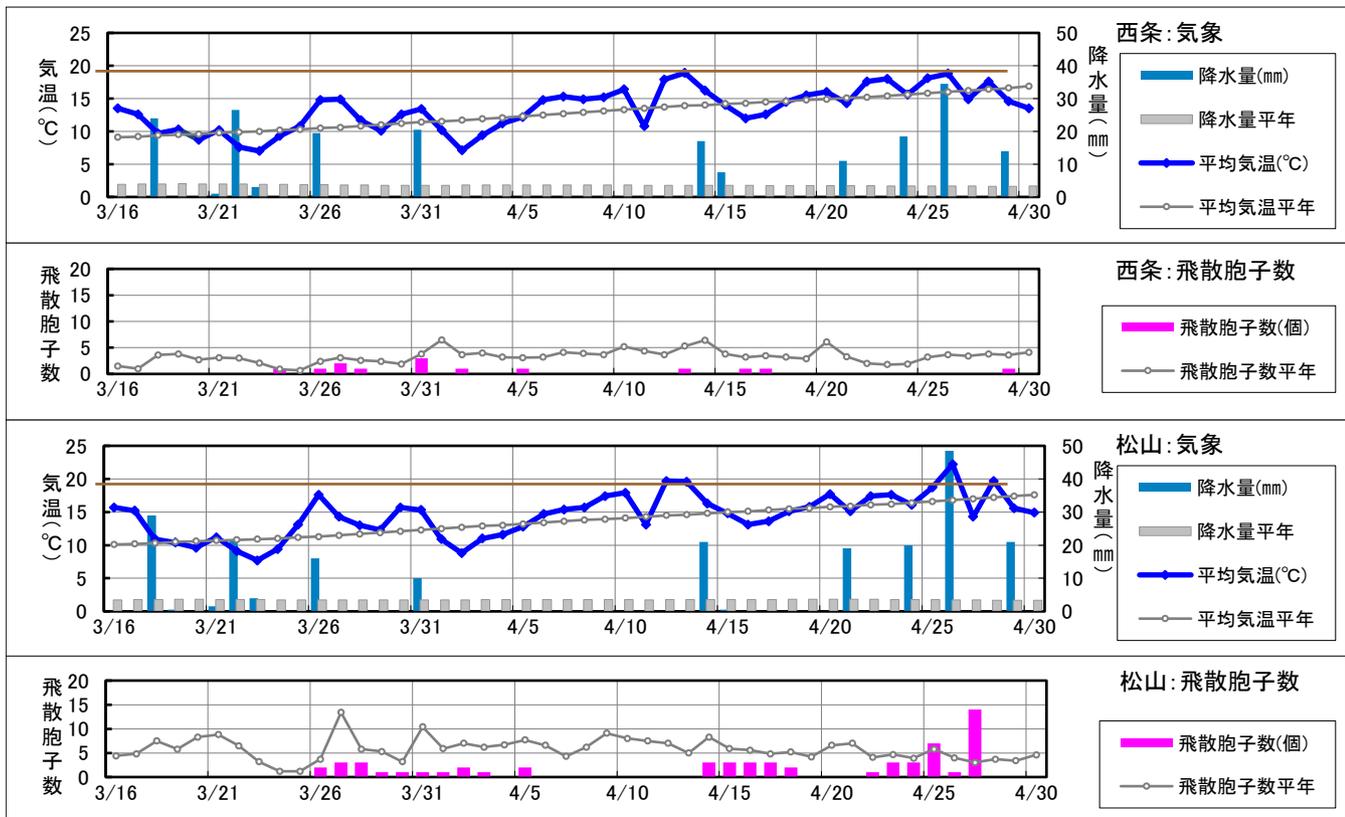
2 表

(1) 麦赤かび病

子のう胞子飛散量調査

調査地点: 西条市丹原町池田/松山市上難波、気象: アメダス西条/アメダス松山

概要: <3月16日から調査開始>
 平年と比較して気温、降水量がともに高く、発生に助長的であったが、飛散胞子数は少なく推移した。



2022年	西条市丹原町					松山市上難波					2022年	西条市丹原町					松山市上難波				
	気象		飛散胞子			気象		飛散胞子				気象		飛散胞子			気象		飛散胞子		
	平均気温(°C)	降水量(mm)	飛散胞子数	半旬計	平年半旬計	平均気温(°C)	降水量(mm)	飛散胞子数	半旬計	平年半旬計		平均気温(°C)	降水量(mm)	飛散胞子数	半旬計	平年半旬計	平均気温(°C)	降水量(mm)	飛散胞子数	半旬計	平年半旬計
3/16	13.5	0	0			15.7	0	0			4/11	10.8	0	0			13.1	0	0		
3/17	12.6	0	0			15.2	0	0			4/12	17.9	0	0			19.7	0	0		
3/18	9.7	24	0			10.9	29	0			4/13	18.9	0	1			19.6	0	0		
3/19	10.3	0	0			10.4	0.5	0			4/14	16.2	17	0			16.3	21	3		
3/20	8.7	0	0	0	12.6	9.6	0	0	0	30.8	4/15	14.0	7.5	0	1	23.6	14.8	0.5	3	6	33.7
3/21	10.2	1	0			11.2	1.5	0			4/16	12.0	0	1			13.1	0	3		
3/22	7.6	26.5	0			9.1	21.5	0			4/17	12.6	0	1			13.6	0	3		
3/23	7.0	3	0			7.7	4	0			4/18	14.5	0	0			15.1	0	2		
3/24	9.3	0	1			9.4	0	0			4/19	15.5	0	0			15.8	0	0		
3/25	10.8	0	0	1	9.8	13.1	0	0	0	20.9	4/20	16.0	0	0	2	18.9	17.7	0	0	8	26.4
3/26	14.8	19.5	1			17.6	16	2			4/21	14.3	11	0			15.1	19	0		
3/27	14.9	0	2			14.3	0	3			4/22	17.6	0	0			17.4	0	1		
3/28	11.7	0	1			13.0	0	3			4/23	18.0	0	0			17.6	0	3		
3/29	10.1	0	0			12.3	0	1			4/24	15.6	18.5	0			16.1	20	3		
3/30	12.6	0	0			15.7	0	1			4/25	18.1	0	0	0	12.2	18.7	0	7	14	25.5
3/31	13.4	20.5	3	7	16.2	15.3	10	1	11	41.8	4/26	18.8	34.5	0			22.2	48.5	1		
4/1	10.2	0	0			10.9	0	1			4/27	14.9	0	0			14.3	0	14		
4/2	7.1	0	1			8.8	0	2			4/28	17.6	0	0			19.7	0	0		
4/3	9.4	0	0			11.0	0	1			4/29	14.6	14	1			15.6	21	0		
4/4	11.2	0	0			11.6	0	0			4/30	13.5	0	0	1	18.6	14.9	0	0	15	18.7
4/5	12.2	0	1	2	20.5	12.8	0	2	6	33.5	計	-	197.0	14	14	153	-	212.5	60	60	266
4/6	14.8	0	0			14.7	0	0			飛散胞子数調査:										
4/7	15.3	0	0			15.4	0	0			・麦圃場に明日山式胞子採集器を設置し、原則毎朝調査。										
4/8	14.9	0	0			15.7	0	0			・スライドグラスに付着した胞子を、面積18×18mm分カウント、2枚のスライドグラス分を合計し、飛散胞子数とした。										
4/9	15.2	0	0			17.4	0	0			・調査間隔があいた場合は、日数で除し、日別値を求めた。										
4/10	16.4	0	0	0	20.1	17.9	0	0	0	34.2											

(2) 麦広域調査

市町村	調査圃場数	発生圃場数									
		赤かび病 (発病穂率)		裸黒穂病 (発病莖率)			うどんこ病 (発病程度)			アブラムシ類	黒節病
		無	少 (<0, ≥40%)	無	少 (1%以下)	中 (2~5%)	無	少 (1~9%)	中 (10~29%)	発生有	発生有
西条市	126	115	11	54	34	6	90	6	0	51	15
東温市	62	62	0	16	20	0	34	2	0	13	0
伊予市	16	16	0	15	0	0	14	1	0	9	0
松前町	34	34	0	15	19	0	33	1	0	22	1
松山市	40	37	3	11	18	0	27	2	0	5	0
大洲市	9	6	3	2	0	0	2	0	0	0	0
西予市	29	12	17	0	3	5	4	0	0	0	2
計	316	282	34	113	94	11	204	12	0	100	18
発生圃場率 (%)			10.8		97.5			3.8		31.6	5.7

1) 調査方法: 赤かび病・黒穂病類 (1圃場当たり1000穂調査)

うどんこ病・アブラムシ類 (1圃場当たり100葉×4カ所、計400葉調査)

3 大豆

(3) 大豆広域調査

調査地区	調査圃場数	アブラムシ類		吸実性カメムシ類		ハスモンヨトウ										白絹病
		25株(50小葉)当たり虫数		25株当たり成虫数別圃場数		1 a 当たり白変か所数別圃場数					食害度別圃場数					100株当たり発病株数
		発生無	発生有	0	1～	0	1～2	3～5	6～7	8～	0	0～10	11～25	26～50	51～	
西条市	35	35	0	32	3	33	2	0	0	0	12	23	0	0	0	0
西予市	10	9	1	5	5	10	0	0	0	0	9	0	1	0	0	0
計	45	44	1	37	8	43	2	0	0	0	21	23	1	0	0	0

4 かんきつ

調査地点概要は下記のとおり

	調査地点	品種	備考
東予	四国中央市下柏	温州みかん	
	大西町山之内①	温州みかん	
	大西町山之内②	はれひめ	
	菊間町西山	伊予柑	
	大三島町宗方	はれひめ	
	大三島盛	温州みかん	
	大三島野々江	甘平	
中予	松山市菅沢	温州みかん	
	松山市五明	温州みかん	
	松山市上難波	愛媛果試第28号	露地栽培、10月は袋掛けしており果実調査は未実施
	松山市粟井	甘平	
	伊予市上灘	温州みかん	
	伊予市下灘	温州みかん	
	伊予市宮下①	温州みかん	
伊予市宮下②	伊予柑		
	松山市庄	甘平	令和元年度までの石手・ネーブル園地より地点変更 令和2年3月より調査開始
	砥部町大南	温州みかん	
南予	伊方町中之浜	温州みかん	仁田之浜から地点変更 令和2年4月より調査開始
	八幡浜市宮内①	伊予柑	
	八幡浜市宮内②	伊予柑	
	八幡浜市向灘	温州みかん	
	八幡浜市須川	伊予柑	
	八幡浜市舌間	温州みかん	
	八幡浜市川上	温州みかん	
	宇和島市白浦	温州みかん	
	宇和島市立間①	温州みかん	
	宇和島市立間②	温州みかん	
	宇和島市高串	温州みかん	
	宇和島市繁近①	温州みかん	
	宇和島市繁近②	せとか	
	愛南町平山	甘夏	

1) 病害調査 (120葉・果調査)

調査地点	調査時期		
	5月	6月	7月
そうか病発病葉率 (%)			
東予	1.9	0	0
四国中央市下柏	3.3	0	0
大西町山之内①	1.7	0	0
大三島盛	0.8	0	0
中予	0.4	1.4	0.7
松山市菅沢	0	0	0
松山市五明	0	0	0
伊予市上灘	0	1.7	0
伊予市下灘	0	0	0
伊予市宮下①	0	0.8	0
砥部町大南	2.5	5.8	4.2
南予	0	0	0
伊方町中之浜	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0
平均	0.5	0.5	0.2

調査地点	調査時期		
	5月	6月	7月
そうか病発病度			
東予	0.4	0	0
四国中央市下柏	0.7	0	0
大西町山之内①	0.3	0	0
大三島盛	0.2	0	0
中予	0.1	0.6	0.3
松山市菅沢	0	0	0
松山市五明	0	0	0
伊予市上灘	0	0.3	0
伊予市下灘	0	0	0
伊予市宮下①	0	0.2	0
砥部町大南	0.5	3.2	1.5
南予	0	0	0
伊方町中之浜	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0
平均	0.1	0.2	0.1

黒点病発病果率(%) 調査地点	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	1.0	6.9	6.8	9.3
四国中央市下柏	0	1.7	1.7	7.5	20
大西町山之内①	0	0.8	1.7	0.8	3.3
大西町山之内②	0	0	0.8	0	0
菊間町西山	0	0	5	14.2	3.3
大三島盛	0	2.5	8.3	5.8	6.7
大三島町宗方	0	1.7	25.8	10	15.8
大三島野々江	0	0	5	9.2	15.8
中予	0.5	2.5	4.3	6.0	5.5
松山市菅沢	0.8	1.7	9.2	15.8	12.5
松山市五明	0	0	0	0.8	2.5
松山市上難波	3.3	0.8	3.3	0	-
松山市粟井	0.8	4.2	9.2	9.2	7.5
松山市庄	0	0.8	3.3	0	0
伊予市上灘	0	0	1.7	0.8	0.8
伊予市下灘	0	0	4.2	0.8	2.5
伊予市宮下①	0	4.2	2.5	4.2	5.0
伊予市宮下②	0	5.8	1.7	0	0
砥部町大南	0	7.5	8.3	28.3	18.3
南予	0.1	1.0	5	3.3	12.7
伊方町中之浜	0	0	0	0.8	20.8
八幡浜市宮内①	0	4.2	25	0	10.8
八幡浜市宮内②	0	0	0	10.8	0
八幡浜市向灘	0.8	0	0	0	10.8
八幡浜市須川	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	1.7	2.5	6.7
八幡浜市川上	0	0	0	0	7.5
宇和島市白浦	0	0.8	0	0	0.8
宇和島市立間①	0	0	0	3.3	1.7
宇和島市立間②	0	0	0.8	0.8	30.8
宇和島市高串	0	0	19.2	13.3	48.3
宇和島市繁近①	0	0	5	3.3	26.7
宇和島市繁近②	0.8	0	1.7	5	2.5
愛南町平山	0	8.3	16.7	6.7	10.8
平均	0.2	1.5	5.2	5.0	9.8

黒点病果実発病度 調査地点	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0.2	1.4	1.4	2.5
四国中央市下柏	0	0.3	0.3	1.5	8.7
大西町山之内①	0	0.2	0.3	0.2	0.7
大西町山之内②	0	0	0.2	0	0
菊間町西山	0	0	1	2.8	0.7
大三島盛	0	0.5	1.7	1.2	1.3
大三島町宗方	0	0.3	5.2	2	3.2
大三島野々江	0	0	1	1.8	3.2
中予	0.1	0.5	0.9	1.6	2.3
松山市菅沢	0.2	0.3	1.8	3.2	5.8
松山市五明	0	0	0	0.2	1.2
松山市上難波	0.7	0.2	0.7	0	-
松山市粟井	0.2	0.8	1.8	1.8	1.5
松山市庄	0	0.2	0.7	0	0
伊予市上灘	0	0	0.3	0.2	0.1667
伊予市下灘	0	0	0.8	0.2	0.5
伊予市宮下①	0	0.8	0.5	1.5	1.6667
伊予市宮下②	0	1.2	0.3	0	0
砥部町大南	0	1.5	2.3	9	9.6667
南予	0.0	0.5	1.6	0.9	3.0
伊方町中之浜	0	0	0	0.2	4.2
八幡浜市宮内①	0	4.2	10.3	0	5.5
八幡浜市宮内②	0	0	0	4.2	0
八幡浜市向灘	0.2	0	0	0	2.2
八幡浜市須川	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	1	0.5	1.3
八幡浜市川上	0	0	0	0	1.5
宇和島市白浦	0	0.2	0	0	0.2
宇和島市立間①	0	0	0	0.7	0.3
宇和島市立間②	0	0	0.2	0.2	7.5
宇和島市高串	0	0	3.8	2.7	10.3
宇和島市繁近①	0	0	1	0.7	6.7
宇和島市繁近②	0.2	0	0.3	1	0.5
愛南町平山	0	3	6	2.7	2.2
平均	0.0	0.4	1.3	1.2	2.7

かいよう病発病率 (%)	調査時期				
調査地点	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0.7	0.5	1.4	1.8	1.2
四国中央市下栢	0	0.8	0	0	0
大西町山之内①	0	0.8	3.3	1.7	0
大西町山之内②	0	0.8	0	6.7	5
菊間町西山	0	0.8	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0	0
大三島町宗方	0.8	0	2.5	0	0
大三島野々江	4.2	0	4.2	4.2	3.3
中予	1	2.1	1.6	2.4	3.1
松山市菅沢	0	0	0	0	0
松山市五明	1.7	3.3	0	2.5	0
松山市上難波	0	0	0	0	0
松山市粟井	4.2	12.5	13.3	20.0	24.2
松山市庄	1.7	0.8	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0	0
伊予市下灘	2.5	4.2	1.7	1.7	1.7
伊予市宮下①	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0.8	0	5
砥部町大南	0	0	0	0	0
南予	0.2	0	0.1	1.1	0.3
伊方町中之浜	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	1.7	0	0	2.5	3.3
八幡浜市宮内②	0.8	0	0.8	10.8	0.8
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0.8	1.7	0
平均	0.6	0.8	0.9	1.7	1.4

かいよう病発病度 (%)	調査時期				
調査地点	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0.1	0.1	0.4	1.0	0.8
四国中央市下栢	0	0.2	0	0	0
大西町山之内①	0	0.2	0.7	0.3	0
大西町山之内②	0	0.2	0	5.3	4.3
菊間町西山	0	0.2	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0	0
大三島町宗方	0.2	0	1.2	0	0
大三島野々江	0.8	0	0.8	1.5	1.3
中予	0.3	0.9	0.9	1.0	1.8
伊予市下灘	1.2	2.2	0.3	0.3	0.3
伊予市宮下①	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0.2	0	4.3
伊予市上灘	0	0	0	0	0
松山市粟井	1.5	5.2	8.7	6.7	13.5
松山市五明	0.3	1.3	0	2.5	0
松山市庄	0.3	0.2	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	0	0
松山市菅沢	0	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0	0
南予	0.0	0	0.0	0.4	0.1
伊方町中之浜	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0.3	0	0	0.5	0.7
八幡浜市宮内②	0.2	0	0.2	4.2	0.2
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0.2	0.3	0
平均	0.2	0.3	0.4	0.7	0.8

かいよう病発病果率 (%)	調査時期				
調査地点	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	1.3	1.2	0.5
四国中央市下柏	0	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	5	4.2	0
大西町山之内②	0	0	0	0	0.8
菊間町西山	0	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	4.2	4.2	2.5
中予	0	0.2	1.8	2	1.8
松山市菅沢	0	0	0	0	0
松山市五明	0	0	0	2.5	0
松山市上難波	0	0	0	0	-
松山市粟井	0	0	13.3	13.3	14.2
松山市庄	0	0	1.7	4.2	0.8
伊予市上灘	0	0	0	0	0
伊予市下灘	0	1.7	3.3	0	0.8
伊予市宮下①	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0	0
南予	0.1	0.5	0.1	0.6	1.2
伊方町中之浜	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	1.7	0	3.3	10
八幡浜市宮内②	0	0	0.8	5	0.8
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	5.8
八幡浜市舌間	0	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0
愛南町平山	0.8	5	0.8	-	0
平均	0.0	0.3	0.9	1.2	1.2

かいよう病果実発病度	調査時期				
調査地点	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0.5	0.4	0.2
四国中央市下柏	0	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	1	1.5	0
大西町山之内②	0	0	0	0	0.2
菊間町西山	0	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	2.2	1.5	1.2
中予	0	0.1	1.2	1	0.9
松山市菅沢	0	0	0	0	0
松山市五明	0	0	0	1.8	0
松山市上難波	0	0	0	0	-
松山市粟井	0	0	10	6	6.8
松山市庄	0	0	1	2.2	0.2
伊予市上灘	0	0	0	0	0
伊予市下灘	0	1	1.3	0	0.8
伊予市宮下①	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0	0
南予	0.0	0.1	0.0	0.3	0.5
伊方町中之浜	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0.3	0	0.7	5.3
八幡浜市宮内②	0	0	0.2	3.7	0.2
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	1.2
八幡浜市舌間	0	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0
愛南町平山	0.2	1	0.2	-	0
平均	0.0	0.1	0.5	0.6	0.5

灰色かび病花卉発病率 (%)	調査時期
調査地点	5月
東予	0
四国中央市下柏	0
大西町山之内①	0
大西町山之内②	0
菊間町西山	0
大三島盛	0
大三島町宗方	0
大三島野々江	0
中予	0
松山市菅沢	0
松山市五明	0
松山市上難波	0
松山市粟井	0
松山市庄	0
伊予市上灘	0
伊予市下灘	0
伊予市宮下①	0
伊予市宮下②	0
砥部町大南	0
南予	0
伊方町中之浜	0
八幡浜市宮内①	0
八幡浜市宮内②	0
八幡浜市向灘	0
八幡浜市須川	0
八幡浜市舌間	0
八幡浜市川上	0
宇和島市白浦	0
宇和島市立間①	0
宇和島市立間②	0
宇和島市高串	0
宇和島市繁近①	0
宇和島市繁近②	0
愛南町平山	0
平均	0

2) 害虫調査 (120葉・果実調査、アブラムシ類は新梢、ミカンサビダニは3樹全果)

ミカンダニ寄生葉率 (%)	調査時期									
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
調査地点										
東予	0.7	0	1.5	1.5	1.8	15.6	2.0	0	0	0.5
四国中央市下柏	5	0	1.7	0	5	100	4.2	0	0	3.3
大西町山之内①	0	0	0	0.8	0.8	5	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0	0	0	2.5	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0	0	2.5	7.5	0	0	0
大三島盛	0	0	9.2	9.2	6.7	1.7	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0
中予	1.3	0.7	0.6	3.3	5.3	21.4	15.5	0.3	0.3	4.3
松山市菅沢	0	0	0	0	12.5	74.2	31.7	0	0	10
松山市五明	0	0	0	0	0.8	3.3	3.3	0	0	0
松山市上難波	0	0	0.8	0	0	1.7	10	0	0	2.5
松山市粟井	8.3	5	5	31.7	6.7	100	0	0	0	3.3
松山市庄	4.2	1.7	0	0	33.3	28.3	10	0	0	4.2
伊予市上灘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0	0	2.5	0	0	0	4.2
伊予市宮下①	0	0	0	1.7	0	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0	0	3.3	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0	0	0.8	100	3.3	3.3	19.2
南予	2.3	1.3	2.3	4.3	2.7	5.5	3.5	1.5	0.1	0.7
伊方町中之浜	0	0.8	0	0	1.7	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	0	0.8	6.7	0	0	0	0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0	0	1.7	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0.8	5.8	2.5	3.3	0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	14.2	8.3	10.8	54.2	28.3	0	1.7	12.5	0	0.8
八幡浜市川上	5.8	0	0	0	0	7.5	0	0	0	2.5
宇和島市白浦	5	0.8	0.8	0	0	0	40.8	0	0	2.5
宇和島市立間①	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0
宇和島市立間②	0.8	0	3.3	0.8	7.5	0.8	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0	3.3	5	0.8	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	2.5	0	0	0.8	4.2	0	3.3
宇和島市繁近②	5	2.5	14.2	0	0	50	0	3.3	0.8	0
愛南町平山	0	0	0	0	0	5.8	0	0.8	0	0
平均	1.6	0.8	1.6	3.4	3.4	12.9	7.0	0.8	0.1	1.8

ミカンダニ雌成虫数 (頭/葉)	調査時期									
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
調査場所										
東予	0.01	0	0.03	0.02	0.03	1.52	0.05	0	0	0.01
四国中央市下柏	0.05	0	0.02	0	0.11	10.51	0.04	0	0	0.08
大西町山之内①	0	0	0	0.01	0.01	0.05	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0	0	0	0.06	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0	0	0.05	0.25	0	0	0
大三島盛	0	0	0.16	0.15	0.08	0.02	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0.01	0	0	0	0	0	0
中予	0.02	0.01	0.01	0.05	0.13	1.24	0.66	0.00	0.00	0.06
松山市菅沢	0	0	0	0	0.09	2.36	0.92	0	0	0.11
松山市五明	0	0	0	0	0.01	0.03	0.07	0	0	0
松山市上難波	0	0	0.01	0	0	0.03	0.21	0	0	0.03
松山市粟井	0.13	0.08	0.13	0.43	0.07	8.17	0	0	0	0.04
松山市庄	0.08	0.02	0	0	1.08	1.57	0.21	0	0	0.1
伊予市上灘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0	0	0.07	0	0	0	0.04
伊予市宮下①	0	0	0	0.02	0	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0	0	0.14	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0	0	0.01	5.15	0.03	0.03	0.24
南予	0.05	0.02	0.03	0.11	0.06	0.17	0.05	0.02	0.00	0.01
伊方町中之浜	0	0.01	0	0	0.02	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	0	0.02	0.09	0	0	0	0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0	0	0.02	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0.01	0.11	0.03	0.05	0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0.46	0.13	0.16	1.4	0.63	0	0.02	0.16	0	0.01
八幡浜市川上	0.08	0	0	0	0	0.13	0	0	0	0.03
宇和島市白浦	0.08	0.01	0.01	0	0	0	0.54	0	0	0.03
宇和島市立間①	0	0	0	0	0	0.01	0	0	0	0
宇和島市立間②	0.02	0	0.03	0.01	0.2	0.01	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0	0.03	0.08	0.01	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0.03	0	0	0.01	0.05	0	0.05
宇和島市繁近②	0.05	0.03	0.14	0	0	2.03	0	0.06	0.01	0
愛南町平山	0	0	0	0	0	0.09	0	0.01	0	0
平均	0.03	0.01	0.02	0.07	0.07	0.82	0.24	0.01	0.00	0.02

ヤノヒゲの寄生葉率 (%)	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
調査場所					
東予	0	0	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0	0
中予	0	0	0	0	0
松山市菅沢	0	0	0	0	0
松山市五明	0	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	0	0
松山市粟井	0	0	0	0	0
松山市庄	0	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0	0
南予	0.2	0.1	0.4	0.1	0
伊方町中之浜	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	3.0	2.0	6.0	2.0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0	0
平均	0.1	0.1	0.2	0.1	0

ヤノヒゲ寄生果率 (7~10月)	調査時期			
	7月	8月	9月	10月
調査場所				
東予	0	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0
中予	0	0	0	0
松山市菅沢	0	0	0	0
松山市五明	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	-
松山市粟井	0	0	0	0
松山市庄	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0
南予	0	0	0.1	0.4
伊方町中之浜	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	2.0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0.8	2.5
八幡浜市川上	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	1.0
宇和島市高串	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0
平均	0	0	0.0	0.2

調査地点	調査時期			
	7月	8月	9月	10月
予	0.2	1.1	0.1	0.2
四国中央市下柏	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0.8
菊間町西山	1.7	7.5	0.8	0.8
大三島盛	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0
中予	0.6	2.3	0.2	0
松山市菅沢	4.2	16.7	0.8	0
松山市五明	0	5.8	0.8	0
松山市上難波	0	0	0	-
松山市粟井	0	0.8	0	0
松山市庄	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0
伊予市下灘	1.7	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0
南予	0	0	0	0
伊方町中之浜	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0
平均	0.2	1.0	0.1	0.1

調査場所	調査時期			
	7月	8月	9月	10月
予	0	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0
中予	0	0.1	0.2	0
松山市菅沢	0	0.8	0	0
松山市五明	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	1.7	-
松山市粟井	0	0	0	0
松山市庄	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0
南予	0	0.1	0	0
伊方町中之浜	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0.8	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0
平均	0	0.1	0.1	0

調査地点	調査時期			
	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0
中予	0	0	0	0
松山市菅沢	0	0	0	0
松山市五明	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	-
松山市粟井	0	0	0	0
松山市庄	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0
南予	0	0.1	0.1	0.2
伊方町中之浜	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0.3	0	0.7
八幡浜市宮内②	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0.7	1.3	2.0
宇和島市繁近②	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0
平均	0	0.0	0.0	0.1

調査場所	調査時期
	10月
東予	0.1
四国中央市下柏	0.8
大西町山之内①	0
大西町山之内②	0
菊間町西山	0
大三島盛	0
大三島町宗方	0
大三島野々江	0
中予	3.5
松山市菅沢	0.8
松山市五明	5.8
松山市上難波	0
松山市粟井	12.5
松山市庄	0
伊予市上灘	1.7
伊予市下灘	0.8
伊予市宮下①	3.3
伊予市宮下②	0
砥部町大南	6.7
南予	0.3
伊方町中之浜	0
八幡浜市宮内①	1.7
八幡浜市宮内②	0
八幡浜市向灘	0
八幡浜市須川	0.8
八幡浜市舌間	0
八幡浜市川上	0
宇和島市白浦	0
宇和島市立間①	0
宇和島市立間②	0
宇和島市高串	0.8
宇和島市繁近①	0
宇和島市繁近②	0
愛南町平山	0.8
平均	1.2

アブラムシ類寄生新梢率 (%)	調査時期
調査場所	4月
東予	1.9
四国中央市下柏	2
大西町山之内①	2
大西町山之内②	9
菊間町西山	0
大三島盛	0
大三島町宗方	0
大三島野々江	0
中予	2.8
松山市菅沢	0
松山市五明	1
松山市上難波	14
松山市粟井	0
松山市庄	5
伊予市上灘	2
伊予市下灘	1
伊予市宮下①	0
伊予市宮下②	5
砥部町大南	0
南予	0.4
伊方町中之浜	0
八幡浜市宮内①	1
八幡浜市宮内②	0
八幡浜市向灘	0
八幡浜市須川	0
八幡浜市舌間	0
八幡浜市川上	0
宇和島市白浦	0
宇和島市立間①	0
宇和島市立間②	4
宇和島市高串	0
宇和島市繁近①	0
宇和島市繁近②	0
愛南町平山	0
平均	1.5

100新梢調査

「空欄」：新梢が未発生

3) 広域調査 (かんきつかいよう病)

(1) かんきつかいよう病

かんきつかいよう病越冬病斑調査結果 (R4年2月調査)

地域	地区(旧市町村)	調査ほ場数	発生ほ場数	発生ほ場率(%)	平均発病度
東予	今治市	51	41	80.4	13.6
平均・小計		51	41	80.4	13.6
中予	松山市	81	63	77.8	12.9
	砥部町	7	3	42.9	0.8
平均・小計		88	66	75	11.9
南予	八幡浜市	16	13	81.3	14.2
	伊方町	5	3	60	2
	西予市	2	2	100	10.7
	宇和島市	16	12	75	3.75
平均・小計		39	30	76.9	8.2
県合計		178	137	77.0	11.6

注1) 調査品種は伊予柑、調査部位は夏秋梢

注2) 調査基準

調査樹数：10樹/1ほ場当たり

調査基準

- A：約半数以上の葉が発病し、1葉あたりの病斑数が4個以上認められる樹
- B：病斑が樹全体に分布し、10%～50%未満の葉が発病し、1葉あたり病斑数が1～3個
- C：病斑が部分的にかたまって発生しているが、発病葉率が約10%程度
- D：発病葉が散見される程度
- E：発病無し

$$\text{発病度} = \left((A*7 + B*5 + C*3 + D*1) / (\text{調査樹数} * 7) \right) * 100$$

(2) ヤノネカイガラムシ初発日調査

○第1世代と第2世代の初発日：同一地区内のかんきつ園での調査(同一の場所でも区地は同一とは限らない)。

場所	標高(m)	第1世代					第2世代				
		本年	平年	平年比	前年	前年比	本年	平年	平年比	前年	前年比
松山市赤松(標高研)	200	5月12日	5月13日	1日早	5月9日	3日遅	7月23日	7月26日	3日早	7月27日	4日早
松山市粟井①	60	5月9日	-	-	5月9日	4日遅	7月26日	-	-	7月23日	3日遅
松山市粟井②	150	-	-	-	5月6日	-	7月26日	-	-	7月24日	2日遅
八幡浜市合田	100	5月7日	5月7日	同日	5月1日	6日遅	7月20日	7月21日	1日早	7月18日	2日遅
八幡浜市川上	50	5月9日	5月4日	5日遅	5月3日	6日遅	-	-	-	-	-
八幡浜市真網代	130	5月6日	5月6日	同日	1月30日	7日遅	-	-	-	-	-
八幡浜市吉灘	100	5月7日	5月7日	同日	5月1日	6日遅	-	-	-	-	-

平年値はH24～R3の平均値

(3) 秋季広域調査

調査方法：令和4年10月に、各園地120果（6樹×20果）を見取りにより調査

調査園場数

地区	温州みかん	中晩柑	調査園地 合計
東予	11	9	20
中予	2	18	20
南予	19	14	33
県全体	32	41	73

※中晩柑：伊予柑（17）、不知火（6）、せとが（4）、愛媛果樹第28号（4）、甘平（9）、温州みかん（3）

かんきつ病害発生状況

地区	発生園場率（％）			発病度		
	黒点病	かいよう病	※そうか病	黒点病	かいよう病	※そうか病
東予	70.0	40.0	9.1	2.8	2.8	0.0
中予	60.0	30.0	0	1.3	0.4	0
南予	75.8	21.2	0	3.6	0.4	0
県全体	69.9	30.1	3.2	2.7	1.1	0.0

※そうか病は温州みかん園のみ調査

注）発病度＝（（A×5+B）÷（A+B+C））×100

調査基準

【そうか病】 A：病斑が果面の1/4を超えるもの。B：病斑が果面の1/4以下に分布するもの。C：病斑がないもの。

【かいよう病】 A：病斑数が1果当たり4個以上のもの。B：病斑数が1果当たり1～3個のもの。C：病斑がないもの。

【黒点病】 A：病斑が一見して確認されるもの。B：病斑が軟見されるもの。C：病斑がないもの。

かんきつ害虫発生状況

地区	発生園場率（％）								
	かんきつこむぎ	かんきつこむぎ	かんきつこむぎ	かんきつこむぎ	かんきつこむぎ	かんきつこむぎ	かんきつこむぎ	かんきつこむぎ	かんきつこむぎ
東予	25.0	10.0	5.0	10.0	0	0	5.0	0	0
中予	30.0	5.0	5.0	0	0	0	0	0	5.0
南予	16.2	16.2	0	0	0	9.1	3.0	0	3.0
県全体	21.9	11	2.7	2.7	0	1.1	2.7	0	2.7

※かんきつこむぎ、かんきつこむぎ、かんきつこむぎは果実調査時に近隣の枝葉に寄生が確認できた場合も計数した。

5 かき

調査地点概要は下記のとおり

	調査地点	品種	備考
東予	西条市小松町大郷	愛宕	
	西条市丹原町北田野	横野	
	西条市丹原町高松①	愛宕	
	西条市丹原町高松②	横野	
	西条市丹原町高松③	松本早生富有	
南予	宇和島市柿原	次郎	
	宇和島市高串	次郎	
	内子町五十崎	富有	
	内子町五百木	富有	

1) 病害調査 (100葉・果実・新梢調査)

うどんこ病発病葉率 (%)	調査時期					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
調査地点						
東予	0	1.4	2	0	4.6	6.6
小松町大郷	0	1	5	0	12	8
丹原町北田野	0	1	1	0	2	0
丹原町高松①	0	3	0	0	0	2
丹原町高松②	0	1	0	0	4	0
丹原町高松③	0	1	4	0	5	23
南予	0	0	2	6	9	2
宇和島市柿原	0	0	4	8	12	0
宇和島市高串	0	1	1	8	5	7
内子町五十崎	0	0	1	7	12	1
内子町五百木	0	0	0	0	6	0
平均	0	0.9	1.8	2.6	6.4	4.6

うどんこ病発病度	調査時期					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
調査地点						
東予	0	0.1	0.2	0	0.7	1.1
小松町大郷	0	0.1	0.5	0	1.8	2.0
丹原町北田野	0	0.1	0.1	0	0.2	0
丹原町高松①	0	0.3	0	0	0	0.2
丹原町高松②	0	0.1	0	0	0.8	0
丹原町高松③	0	0.1	0.4	0	0.9	3.5
南予	0	0.0	0.2	0.7	1.0	0.3
宇和島市柿原	0	0	0.4	0.8	1.4	0
宇和島市高串	0	0.1	0.1	1.2	0.7	0.9
内子町五十崎	0	0	0.1	0.7	1.2	0.1
内子町五百木	0	0	0	0	0.6	0
平均	0	0.1	0.2	0.3	0.8	0.7

炭そ病発病新梢率 (%)	調査時期		
	5月	6月	7月
調査地点			
東予	0	0	0
小松町大郷	0	0	0
丹原町北田野	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0
丹原町高松②	0	0	0
丹原町高松③	0	0	0
南予	0	0	0
宇和島市柿原	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0
内子町五百木	0	0	0
平均	0	0	0

炭そ病 発病果率 (%)	調査時期					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
調査地点						
東予	0	0	0	0	0	1.8
小松町大郷	0	0	0	0	0	1
丹原町北田野	0	0	0	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0	0	0	0
丹原町高松②	0	0	0	0	0	0
丹原町高松③	0	0	0	0	0	8
南予	0	0	1	1	1	1
宇和島市柿原	0	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	2	2	2	2
内子町五百木	0	0	0	0	0	3
平均	0	0	0.2	0.2	0.2	1.6

円星落葉病発病葉率 (%)	調査時期	
	9月	10月
調査地点		
東予	0	0
小松町大郷	0	0
丹原町北田野	0	0
丹原町高松①	0	0
丹原町高松②	0	0
丹原町高松③	0	0
南予	0	0.3
宇和島市柿原	0	0
宇和島市高串	0	0
内子町五十崎	0	0
内子町五百木	0	1
平均	0	0.1

角斑落葉病発病葉率 (%)	調査時期			
	7月	8月	9月	10月
調査地点				
東予	0.4	0.8	4.8	6.4
小松町大郷	0	0	17	22
丹原町北田野	0	0	2	1
丹原町高松①	0	0	1	2
丹原町高松②	0	0	0	4
丹原町高松③	2	4	4	3
南予	0	0	0	1
宇和島市柿原	0	0	0	3
宇和島市高串	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0	0
内子町五百木	0	0	0	0
平均	0.2	0.4	2.7	3.9

2) 害虫調査

カキノヘタムシガ被害果率(%)		調査時期			
調査地点		7月	8月	9月	10月
東予		0	0	0	0.2
小松町大郷		0	0	0	0
丹原町北田野		0	0	0	0
丹原町高松①		0	0	0	0
丹原町高松②		0	0	0	0
丹原町高松③		0	0	0	1
南予		0	0	0	0
宇和島市柿原		0	0	0	0
宇和島市高串		0	0	0	0
内子町五十崎		0	0	0	0
内子町五百木		0	0	0	0
平均		0	0	0	0.1

フジコナカイガラムシ寄生結果母枝率(%)		調査時期
調査地点		4月
東予		0.4
小松町大郷		0
丹原町北田野		0
丹原町高松①		0
丹原町高松②		1
丹原町高松③		1
南予		0
宇和島市柿原		0
宇和島市高串		0
内子町五十崎		0
内子町五百木		0
平均		0.2

フジコナカイガラムシ寄生果率(%)		調査時期					
調査地点		5月	6月	7月	8月	9月	10月
東予		0	0	0.2	0.2	0	0
小松町大郷		0	0	1	0	0	0
丹原町北田野		0	0	0	0	0	0
丹原町高松①		0	0	0	0	0	0
丹原町高松②		0	0	0	0	0	0
丹原町高松③		0	0	0	1	0	0
南予		0	0	0	0	0	0
宇和島市柿原		0	0	0	0	0	1
宇和島市高串		0	0	0	0	0	0
内子町五十崎		0	0	0	0	0	0
内子町五百木		0	0	0	0	0	0
平均		0	0	0.1	0.1	0	0.1

カキクダアザミウマ被害果率(%)		調査時期	
調査地点		6月	10月
東予		0	0
小松町大郷		0	0
丹原町北田野		0	0
丹原町高松①		0	0
丹原町高松②		0	0
丹原町高松③		0	0
南予		0	0
宇和島市柿原		0	0
宇和島市高串		0	0
内子町五十崎		0	0
内子町五百木		0	0
平均		0	0

カメムシ類被害果率(%) 調査地点	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
東予	-	0	0	2.4	1.0
小松町大郷	-	0	0	0	0
丹原町北田野	-	0	0	0	0
丹原町高松①	-	0	0	0	0
丹原町高松②	-	0	0	1	0
丹原町高松③	-	0	0	11	5
南予	0	0	1	3	10
宇和島市柿原	0	0	0	1	3
宇和島市高串	0	0	1	2	4
内子町五十崎	0	1	4	6	12
内子町五百木	0	0	0	3	20
平均	0	0.1	0.6	2.7	4.9

チャノキイロアザミウマ被害果率(%) 調査地点	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0	0.6
小松町大郷	0	0	0	0	0
丹原町北田野	0	0	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0	0	3
丹原町高松②	0	0	0	0	0
丹原町高松③	0	0	0	0	0
南予	0	0	0	0	0
宇和島市柿原	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0	0	0
内子町五百木	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0.3

ハマキムシ類被害果率(%) 調査地点	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0	0
小松町大郷	0	0	0	0	0
丹原町北田野	0	0	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0	0	0
丹原町高松②	0	0	0	0	0
丹原町高松③	0	0	0	0	0
南予	0	0	0	0	0
宇和島市柿原	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0	0	0
内子町五百木	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0

6 キウイフルーツ

1) かいよう病調査重点調査

樹液漏出数 (5樹全枝及び主幹部調査)

	1月	2月	3月	4月	5月
西条市丹原町石経	0	0	0	2	2
伊予市上唐川①	0	0	0	1	0
砥部町北川毛	0	0	0	6	1

新梢萎凋枯死数 (5樹全新梢調査)

	4月	5月	6月
西条市丹原町石経	0	0	0
伊予市上唐川①	0	2	1
砥部町北川毛	1	0	0

発病葉率 (%) (60葉×5樹 300葉調査)

	4月	5月	6月
西条市丹原町石経	0	6.7	6.3
伊予市上唐川①	0.3	18.7	26.3
砥部町北川毛	1.7	20.3	21.7

葉発病度 (60葉×5樹 300葉調査)

	4月	5月	6月
西条市丹原町石経	0	2.2	2.1
伊予市上唐川①	0.1	10.0	14.2
砥部町北川毛	0.5	9.0	10.6

※発病度： $((4A+3B+2C+D) / (4 \times \text{調査葉数})) \times 100$

A: 1葉あたりの病斑数が31個以上、または葉の50%以上の面積に病斑がある。

B: 病斑数が11～30個、または葉の25～50%未満の面積に病斑がある。

C: 病斑数が4～10個、または葉の25%未満の面積に病斑がある。

D: 病斑数が1～3個

E: 病斑なし

2) かいよう病 巡回調査

発病葉率 (%) (250葉調査)

	4月	5月	6月
西条市丹原町来見	0	0	2.8
西条市丹原町関屋	0	0	0
西条市丹原町北田野	0	0	0
西条市丹原町上市	0	0	2.4
西条市小松町石根	0	2.4	1.6
伊予市下唐川	0	0	0.8
伊予市上唐川②	0	2.8	3.2
伊予市上唐川③	0	0	1.2
砥部町五本松	0	6.4	0.8
長浜1	0	41.6	18.8
長浜2	0	34	30
長浜3	0	46.8	38.8
長浜4 (旧定点)	0	43.6	14.4
長浜5	0	23.6	8
長浜6	0	35.2	7.2

7 野菜

1) 病害虫調査

(1) 夏秋トマト

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。

「-」は未調査。()は調査圃場数。

灰色かび病発病度 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	0	-
久万高原町畑野川(4)	0	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	0	-
久万高原町露峰	-	0	0	0.3
久万高原町有枝	-	0.5	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	0	-	-
平均	0	0.5	0	0.3

アブラムシ類寄生株率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	0	-
久万高原町畑野川(4)	0	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	0	-
久万高原町露峰	-	1	12	0
久万高原町有枝	-	0	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	0	-	-
平均	0	0.3	2.4	0

灰色かび病発病果率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	0	-
久万高原町畑野川(4)	0	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	0	-
久万高原町露峰	-	0	0	1
久万高原町有枝	-	1	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	0	-	-
平均	0	0.3	0	1

カニコナジラミ成虫寄生株率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	0	-
久万高原町畑野川(4)	0	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	0	-
久万高原町露峰	-	0	0	0
久万高原町有枝	-	0	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	2	-	-
平均	0.0	0.5	0.0	0.0

灰色かび病ゴーストスポット発生果率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	9.3	-
久万高原町畑野川(4)	0	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	4	-
久万高原町露峰	-	2	5	45
久万高原町有枝	-	0	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	0	-	-
平均	0	0.5	7.4	45

カニコナジラミ成虫寄生株率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	13.3	-
久万高原町畑野川(4)	0	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	6	-
久万高原町露峰	-	0	1	4
久万高原町有枝	-	0	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	0	-	-
平均	0	0	9.4	4

疫病発病葉率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	0	-
久万高原町畑野川(4)	0	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	0	-
久万高原町露峰	-	0	0	0
久万高原町有枝	-	0	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	0	-	-
平均	0	0	0	0

カコカ類被害果率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	0	-
久万高原町畑野川(4)	0	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	2	-
久万高原町露峰	-	1	0	0
久万高原町有枝	-	0	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	0	-	-
平均	0	0.3	0.4	0

葉かび病発病株率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬(3)	0	-	0	-
久万高原町畑野川(4)	0.8	-	-	-
久万高原町明神(4)	0	-	-	-
久万高原町面河	0	-	0	-
久万高原町露峰	-	0	0	100
久万高原町有枝	-	0	-	-
久万高原町日野浦	-	0	-	-
久万高原町大川	-	0	-	-
平均	0.3	0	0	100

(2) 冬春トマト

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。「-」は未調査。

灰色かび病発病度 調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市大町	0	0	0	0	0.3	0.8	0.3
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	0	0	0	0	0.3	3.8	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0.1	0.6	0.1

灰色かび病発病果率(%) 調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市大町	0	0	0	0	1	3	1
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	0	0	0	0	1	15	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0.3	2.6	0.2

灰色かび病コンスポット発生果率(%) 調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0
松山市小坂	0	0	1	0	0	12	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0.2	0	0	1.7	0

疫病発病葉率(%) 調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0	0

葉かび病発病株率(%) 調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	2	0	0	0	0	3	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0
平均	0.4	0	0	0	0	0.4	0

(2) 冬春トマト (つづき)

アブラムシ類寄生株率(%)	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
調査地点							
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0	0

カコシラミ成虫寄生株率(%)	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
調査地点							
西条市大町	17	0	1	0	0	0	0
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	0	1	0	0	0	0	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	1	0	0	7	0
平均	3.4	0.2	0.4	0	0	1	0

ハシツコシラミ成虫寄生株率(%)	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
調査地点							
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	0	4	0	0	7
平均	0	0	0	0.8	0	0	1.4

カコカ類被害果率(%)	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
調査地点							
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	-
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0
伊予市稲荷	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0
大洲市東大洲②	-	-	-	-	0	0	0
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0	0

(3) 夏秋なす

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。
伊予市上野の6月は2圃場調査の平均

「-」は未調査。

うどんこ病発病度 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	0	2.8	4.8
松山市久枝	2.5	0.6	0	-
松山市久米	1.5	9.8	-	6.5
松山市小野	0	3.0	-	4.1
松山市拓南	0	0.8	-	0
伊予市上野	0	0	0	0.8
宇和島市高串	0	0.8	0	0
北伊予	2.8	3.8	0.5	8.0
平均	1.0	2.4	0.5	3.5

ミキイロアザミマ寄生虫数/葉 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	0	0	0
松山市久枝	1.09	0.08	0	-
松山市久米	1.41	0.10	-	0
松山市小野	1.22	0.24	-	0
松山市拓南	1.33	0	-	0
伊予市上野	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0.08	0
北伊予	1.09	0.07	0	0
平均	0.80	0.08	0	0

灰色かび病発病果率(%) 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	0	0	0
松山市久枝	0	0	0	-
松山市久米	0	0	-	0
松山市小野	0	0	-	0
松山市拓南	0	0	-	0
伊予市上野	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
北伊予	0	0	0	0
平均	0	0	0	0

ハダニ類寄生葉率(%) 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	6	25	9
松山市久枝	6.5	38	48	-
松山市久米	24	36	-	0
松山市小野	5	36	-	0.5
松山市拓南	2	2	-	0
伊予市上野	4	8	72	11
宇和島市高串	1	8	0	0
北伊予	3	26	0.5	0
平均	5.3	23.6	27.7	2.6

アブラムシ類寄生虫数/葉 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	0	0	0
松山市久枝	0	0	0	-
松山市久米	0.10	0	-	0
松山市小野	0.06	0.09	-	0
松山市拓南	0.06	0.10	-	0
伊予市上野	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
北伊予	0.05	0	0.05	0
平均	0.04	0.03	0.02	0

ハスモンヨトウ食害面積率/葉 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	0	0	0
松山市久枝	0	0	0	-
松山市久米	0	0	-	0
松山市小野	0	0	-	0
松山市拓南	0	0	-	0
伊予市上野	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
北伊予	0	0	0	0
平均	0	0	0	0

(4) 冬春なす

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。 「-」は未調査。

うどんこ病発病度 調査地点	調査時期			
	2月	3月	4月	5月
今治市四村	0	0	0	0
今治市中寺	-	0	0	3
大洲市東大洲	0	0	0	0.1
伊予市上三谷	-	0	0	2
平均	0	0	0	1.1

灰色かび病発病果率(%) 調査地点	調査時期			
	2月	3月	4月	5月
今治市四村	0	-	0	1
今治市中寺	-	-	0	2
大洲市東大洲	0	0	1	0
伊予市上三谷	-	-	0	0
平均	0	0	0.4	0.6

アブラムシ類寄生虫数/葉 調査地点	調査時期			
	2月	3月	4月	5月
今治市四村	0	0	0	0
今治市中寺	-	0	0.05	1
大洲市東大洲	0	0	0	0.10
伊予市上三谷	-	0	0	0
平均	0	0	0.01	0.24

シジミヤドリシジミ寄生虫数/葉 調査地点	調査時期			
	2月	3月	4月	5月
今治市四村	0	0	0	0.12
今治市中寺	-	0	0	0
大洲市東大洲	0	0	0	0.03
伊予市上三谷	-	0	0.01	0
平均	0	0	0.00	0.04

ハダニ類寄生葉率(%) 調査地点	調査時期			
	2月	3月	4月	5月
今治市四村	0	0	7	75
今治市中寺	-	0	0	19
大洲市東大洲	0	0	0	0
伊予市上三谷	-	0	0	0
平均	0	0	1.4	18.8

ハダニ類食害面積率/葉 調査地点	調査時期			
	2月	3月	4月	5月
今治市四村	0	0	0.4	20.4
今治市中寺	-	0	0	2.7
大洲市東大洲	0	0	0	0
伊予市上三谷	-	0	0	0
平均	0	0	0.1	4.6

(5) 夏秋きゅうり

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。

「-」は未調査。

8月の中筋(S)は2圃場調査の平均値

うどんこ病発病葉率(%)	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	0	0	-	-
西条市丹原	0	0	0	-
西予市野村町中筋(S)	0	0	0	4
西予市野村町中筋(K)	0	0	0	0.0
平均	0	0	0	2

褐斑病発病葉率(%)	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	0	0	-	-
西条市丹原	0	0	0	-
西予市野村町中筋(K)	0	6	0.0	35
西予市野村町中筋(S)	0	42	4	19
平均	0	9.6	2	27

灰色かび病発病果率(%)	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	0	0	-	-
西条市丹原	0	0	0	-
西予市野村町中筋(K)	0	0	0	0
西予市野村町中筋(S)	0	0	0	0
平均	0	0	0	0

べと病発病葉率(%)	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	1	73	-	-
西条市丹原	0	22	0	-
西予市野村町中筋(K)	0	0	0	35
西予市野村町中筋(S)	0	0	0	0
平均	0.2	23.4	0	17.5

アブラムシ類寄生虫数/葉	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	0	0	-	-
西条市丹原	0.03	0	77	-
西予市野村町中筋(K)	0.0	0	0.0	0.0
西予市野村町中筋(S)	0.0	0	0.2	0.0
平均	0.01	0	19.34	0

ミキイロアザミマ寄生虫数/葉	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	1.76	0	-	-
西条市丹原	2.56	0	0	-
西予市野村町中筋(K)	0.0	0	0.0	0.0
西予市野村町中筋(S)	0.0	0	0.4	0.0
平均	1.37	0	0.21	0

ハシツコナジラミ成虫寄生葉率(%)	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	0	0	-	-
西条市丹原	0	0	0	-
西予市野村町中筋(K)	0	0	3	0.0
西予市野村町中筋(S)	0	0	4	0.0
平均	0	0	2.8	0

カコナジラミ成虫寄生葉率(%)	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	1	0	-	-
西条市丹原	0	2	0	-
西予市野村町中筋(K)	0.0	0.0	0.0	0.0
西予市野村町中筋(S)	0.0	0.0	0.5	0.0
平均	0.2	0.8	0.3	0

ハスモンヨトウ寄生株率(%)	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
調査地点				
西条市実報寺	0	0	-	-
西条市丹原	0	0	0	-
西予市野村町中筋(K)	0	0	0	0
西予市野村町中筋(S)	0	0	0	0
平均	0	0	0	0

(6) 冬春きゅうり (東予)

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。 「-」は未調査。

うどんこ病発病葉率(%)		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	1	0	1	1	0	0	0	
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0	0	
西条市北田野	-	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0.3	0	0.3	0.3	0	0	0	

褐斑病発病葉率(%)		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	0	0	0	0	0	0	0	
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0	0	
西条市北田野	-	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	

灰色かび病発病果率(%)		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	0	0	0	0	0	0	0	
西条市丹原	-	0	0	0	0	0	0	0	
西条市北田野	-	0	0	0	0	0	0	0	
平均	-	0	0	0	0	0	0	0	

べと病発病葉率(%)		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	0	0	7	0	1	89	63	
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	51	57	
西条市北田野	-	0	100	24	47	79	8	65	
平均	0	0	33.3	10.3	15.7	26.7	49.3	61.7	

アブラムシ類寄生虫数/葉		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	0	0	0	0.53	0	0	0	
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0	0	
西条市北田野	-	0	0	0	0	0	0.06	0.06	
平均	0	0	0	0	0.18	0	0.02	0.02	

ミキイロアザミ寄生虫数/葉		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	0	0	0	0	0	0	1.06	
西条市丹原	0	0.01	0	0	0	0	0.33	2.5	
西条市北田野	-	0	0.02	0	0	0	0.01	-	
総計	0	0.00	0.01	0	0	0	0.11	1.78	

ハシツコジラミ成虫寄生葉率(%)		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	0	0	0	0	0	0	0	
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0	0	
西条市北田野	-	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	

カココジラミ成虫寄生葉率(%)		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	0	0	0	0	0	0	0	
西条市丹原	6	4	0	0	0	0	0	0	
西条市北田野	-	0	0	0	0	0	0	0	
平均	6	1.3	0	0	0	0	0	0	

ハシメソトウ寄生株率(%)		調査時期							
調査地点	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市小松	-	0	0	0	0	0	0	0	
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0	0	
西条市北田野	-	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	

(6) 冬春きゅうり (南予)

中筋の10～11月は2圃場、東大洲の10月は9圃場、11月は4圃場、
3～5月の中筋、東大洲は2圃場調査

うどんこ病発病葉率(%)	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
調査地点						
大洲市西大洲	37	71	-	-	-	-
大洲市東大洲	5.1	3	-	0	0	0
野村町中筋	0	3.5	0	0	0	0
野村町阿下	43	9	-	0	0	0
平均	9.7	12.4	0	0	0	0

褐斑病発病葉率(%)	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
調査地点						
大洲市西大洲	4	16	-	-	-	-
大洲市東大洲	0.9	14.8	-	0	0.5	1
野村町中筋	12	40	0	0	0	0
野村町阿下	10	10	-	0	0	1
平均	3.5	20.6	0	0	0.2	0.6

灰色かび病発病果率(%)	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
調査地点						
大洲市西大洲	-	-	-	-	-	-
大洲市東大洲	0	0	-	0	0	0
野村町中筋	0	0	0	-	0	0
野村町阿下	0	0	-	-	0	0
平均	0	0	0	0	0	0

べと病発病葉率(%)	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
調査地点						
大洲市西大洲	8	50	-	-	-	-
大洲市東大洲	2.3	3.3	-	0	36	45.5
野村町中筋	0.5	5.0	33	0	0	0
野村町阿下	6	78	-	0	0	0
平均	2.8	18.9	33	0	14.4	18.2

(6) 冬春きゅうり (南予) つづき

アブラムシ類寄生虫数/葉 調査地点	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
大洲市西大洲	0	0	-	-	-	-
大洲市東大洲	0.00	0	-	0	0.06	0
野村町中筋	0	0	0	0	0	0
野村町阿下	0	0	-	0	0	0
平均	0.00	0	0	0	0.02	0

シキイロアザミ寄生虫数/葉 調査地点	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
大洲市西大洲	0	0	-	-	-	-
大洲市東大洲	0.05	0.14	-	0	0	0
野村町中筋	0	0	0.29	0	0	0
野村町阿下	0	0	-	0	0	0
平均	0.04	0.07	0.29	0	0	0

ハシロアザミ成虫寄生葉率(%) 調査地点	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
大洲市西大洲	0	0	-	-	-	-
大洲市東大洲	0	0	-	0	0	0
野村町中筋	0.5	0.5	0	0	0	0
野村町阿下	1	1	-	0	0	0
平均	0.2	0.3	0	0	0	0

タバコアザミ成虫寄生葉率(%) 調査地点	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
大洲市西大洲	13	3	-	-	-	-
大洲市東大洲	25.1	22	-	0	0	0
野村町中筋	0	0	0	0	0	0
野村町阿下	0	0	-	0	0	0
平均	18.4	11.4	0	0	0	0

(6) 冬春きゅうり (南予) つづき

ハスモンヨリ寄生株率(%) 調査地点	調査時期					
	10月	11月	12月	3月	4月	5月
大洲市西大洲	0	0	-	-	-	-
大洲市東大洲	0	0	-	0	0	0
野村町中筋	0	0	0	0	0	0
野村町阿下	0	0	-	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0

(7) 春キャベツ

病害は100株、虫害は50株、虫数は10株調査。
難波は3圃場調査の平均値

「-」は未調査。

黒腐病発病度 調査地点	調査時期			
	1月	2月	3月	4月
松山市難波	0	0	0	0
宇和島市三間町元宗	0	0	0	-
宇和島市三間町中野中	-	0	0	0
平均	0	0	0	0

黒腐病発病株率(%) 調査地点	調査時期			
	1月	2月	3月	4月
松山市難波	0	0	0	0
宇和島市三間町元宗	0	0	0	-
宇和島市三間町中野中	-	0	0	0
平均	0	0	0	0

菌核病発病株率(%) 調査地点	調査時期			
	1月	2月	3月	4月
松山市難波	6	0.3	0.7	0
宇和島市三間町元宗	0	0	0	-
宇和島市三間町中野中	-	0	0	0
平均	4.5	0.2	0.4	0

コナジラギ幼虫・蛹数/10株 調査地点	調査時期			
	1月	2月	3月	4月
松山市難波	0	0	0	1
宇和島市三間町元宗	0	0	0	-
宇和島市三間町中野中	-	0	0	1
平均	0	0	0	1

アブラムシ類寄生株率 調査地点	調査時期			
	1月	2月	3月	4月
松山市難波	0	0.7	0	1.7
宇和島市三間町元宗	0	0	0	-
宇和島市三間町中野中	-	0	0	24
平均	0	0.4	0	7.3

モンシロチョウ幼虫数/10株 調査地点	調査時期			
	1月	2月	3月	4月
松山市難波	0	0	0	0
宇和島市三間町元宗	0	0	0	-
宇和島市三間町中野中	-	0	0	0
平均	0	0	0	0

(8) 秋さといも

1株1葉で病害は100株、虫害は20株調査。「-」は未調査。

疫病発病株率(%) 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
土居町中村	0	0	0	0
土居町藤原	0	0	1	1
土居町蕪崎	0	0	0	5
西条市丹原町	0	0	0	0
今治市朝倉	0	0	0	0
西予市宇和町郷内	0	0	0	0
平均	0	0	0.2	1

アブラムシ類寄生虫数/株 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
土居町中村	0.4	0.55	9.65	14.05
土居町藤原	1.4	6.1	6.25	3.35
土居町蕪崎	2.05	0.65	6.95	6.05
西条市丹原町	4	0	3.6	7.7
今治市朝倉	1.05	0	1.05	5.1
西予市宇和町郷内	0.9	0	0.8	8.35
平均	1.63	1.22	4.72	7.43

ハダニ類寄生頭数/株 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
土居町中村	0.2	15	2.6	6.45
土居町藤原	0.05	26.3	0.05	0.4
土居町蕪崎	2.4	5.4	1.6	9.55
西条市丹原町	4.75	11.5	3.6	9.6
今治市朝倉	0	43.75	4.2	1.85
西予市宇和町郷内	0	0.25	125.55	0
平均	1.23	17.03	22.93	4.64

ハスモンヨトウ食害面積率(%) 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
土居町中村	0.1	1	1.3	0
土居町藤原	0	0	7.5	2.0
土居町蕪崎	0	0	1.3	0.4
西条市丹原町	0	0	4.7	5.4
今治市朝倉	0	0	8.8	2.1
西予市宇和町郷内	0	3	0	0
平均	0.0	0.7	3.9	1.6

(9) たまねぎ

病害・虫害・虫数は50株調査。「-」は未調査。

白色疫病発病株率(%) 調査地点	調査時期				
	1月	2月	3月	4月	5月
今治市菊間	0	0	0	0	0
松山市河野	0	0	0	0	0
松山市難波	0	0	0	0	0
西予市宇和町郷内	0	0	0	0	-
西予市宇和町大江	0	0	0	0	-
宇和島市三間町元宗	0	0	0	-	-
平均	0	0	0	0	0

べと病発病株率(%) 調査地点	調査時期				
	1月	2月	3月	4月	5月
今治市菊間	0	0	4	10	32
松山市河野	0	0	0	0	0
松山市難波	0	0	0	0	0
西予市宇和町郷内	0	0	4	3	-
西予市宇和町大江	0	0	0	0	-
宇和島市三間町元宗	0	2	2	-	-
平均	0	0.3	1.7	2.6	10.7

ネギアザミマ虫数/株 調査地点	調査時期				
	1月	2月	3月	4月	5月
今治市菊間	0	0	0.12	1.62	4.48
松山市河野	0	0	0	0.76	3
松山市難波	0	0	0.04	2.04	0.58
西予市宇和町郷内	0	0	0.18	0.66	-
西予市宇和町大江	0	0	0.2	2.06	-
宇和島市三間町元宗	0.04	0.4	0.2	-	-
平均	0.01	0.07	0.12	1.43	2.69

(10) 冬春いちご

調査地点	調査品種	調査地点数							
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
新居浜市	あまおとめ	1	1	1	1	1	1	1	1
西条市	あまおとめ	5	5	5	1	1	1	1	2
	紅ほっぺ	2	1	-	-	-	-	-	2
	紅い雫	6	6	5	1	1	1	1	4
今治市	さちのか	1	1	1	1	1	1	1	1
松山市	紅ほっぺ	1	10	14	8	14	1	1	1
	紅い雫	1	1	1	1	1	1	1	1
東温市	紅ほっぺ	-	5	6	5	5	-	-	-
松前町	あまおとめ	-	-	2	1	2	-	-	-
	紅ほっぺ	-	-	2	1	1	-	-	-
大洲市	紅ほっぺ	8	15	20	8	18	16	16	4
内子町	紅ほっぺ	3	9	10	5	-	7	8	1
西予市	あまおとめ	10	10	10	10	5	5	7	7
	紅ほっぺ	2	2	3	2	1	-	1	-
	紅い雫	7	7	7	7	5	5	6	2
	こいみのり	3	3	3	3	2	2	2	2
宇和島市	あまおとめ	4	3	3	4	4	2	2	-
	紅ほっぺ	-	-	-	-	1	-	-	-
	紅い雫	-	1	-	1	2	-	-	-
	こいみのり	1	1	-	1	1	1	-	-
	レッドパール	-	-	-	-	1	-	-	-
	章姫	-	-	-	1	-	-	-	-
鬼北町	あまおとめ	2	2	2	2	2	2	2	-
	紅ほっぺ	2	2	2	2	2	2	2	-
	紅い雫	2	2	2	2	2	2	2	-
	こいみのり	1	1	1	1	1	1	1	-
	レッドパール	1	1	1	1	1	-	1	-
計		63	89	101	70	75	51	56	28

100株・100葉・100果実調査。「-」は未調査。調査は2021～2022年

うどんこ病発病率(%) 調査時期									うどんこ病発病率(%) 調査時期										
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
新居浜市									新居浜市										
	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	0		あまおとめ	-	-	0	0	0	0	0	0
西条市		0.1	0	0	0	0	0	0	4.1	西条市		-	0	0	0	0	0	0	7.5
	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	6		あまおとめ	-	0	0	0	0	0	0	0
	紅い雫	0.2	0	0	0	0	0	0	5.3		紅い雫	-	0	0	0	0	0	0	15
	紅ほっぺ	0	0	-	-	-	-	-	0		紅ほっぺ	-	0	-	-	-	-	-	0
今治市									今治市										
	さちのか	1	0	0	0	0	0	0	0		さちのか	-	0	0	0	0	0	0	0
松山市		0	0.1	0.3	0	0	0	0	0	松山市		-	0	0.6	0.1	0	0	0	0
	紅い雫	0	1	3	0	0	0	0	0		紅い雫	-	-	5	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	0	0	0.1	0	0	0	0	0		紅ほっぺ	-	0	0.2	0.1	0	0	0	0
東温市									東温市										
	紅ほっぺ	-	0	7.7	0	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	-	5	0	0	-	-	-
松前町		-	-	0	0	0	-	-	-	松前町		-	-	0	0	0	-	-	-
	あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-		あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-
	紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	-	-
大洲市									大洲市										
	紅ほっぺ	0	0	0	0	0	0	0.6	1		紅ほっぺ	-	0	0	0	0	0	1.9	0
内子町									内子町										
	紅ほっぺ	0	0	0	0	-	0	1	4		紅ほっぺ	-	0	0	0	-	0.6	0.1	0
西予市		3.5	1.9	1.0	0.3	0	0.1	1.3	3.8	西予市		0.3	1.2	0.9	0.3	0.4	0.7	0.6	2.9
	あまおとめ	3.9	3.1	1.7	0.4	0	0.2	1.6	4.9		あまおとめ	0.3	2.0	0.9	0.3	0.2	1.4	0.3	0
	こいみのり	12.3	3.3	1.7	0.7	0	0	0	4		こいみのり	-	0	1.7	1.3	1.5	0.5	0.5	16.0
	紅い雫	0	0	0	0	0	0	1.5	0		紅い雫	-	0	0.8	0	0.2	0	1.0	0
	紅ほっぺ	0	0	0	0	0	-	1	-		紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	0	-
宇和島市									宇和島市										
	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	-		あまおとめ	-	-	0	0	0	0	0	-
	こいみのり	0	0	-	0	0	0	-	-		こいみのり	-	-	-	0	0	0	-	-
	レッドパール	-	-	-	-	0	-	-	-		レッドパール	-	-	-	-	0	-	-	-
	紅い雫	-	0	-	0	0	-	-	-		紅い雫	-	-	-	0	0	-	-	-
	紅ほっぺ	-	-	-	-	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	-	-	-	16	-	-	-
	章姫	-	-	-	0	-	-	-	-		章姫	-	-	-	0	-	-	-	-
鬼北町		9.5	2	0	0	0	0	2	-	鬼北町		-	0	0.8	0.3	0	0.6	0.9	-
	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	-		あまおとめ	-	0	0	0	0	0	0	-
	こいみのり	0	0	0	0	0	0	0	-		こいみのり	-	-	0	0	0	0	0	-
	レッドパール	24	0	0	0	0	-	0	-		レッドパール	-	-	0	0	0	-	0	-
	紅い雫	0	0	0	0	0	0	8	-		紅い雫	-	-	0.5	1.0	0	1.5	3.5	-
	紅ほっぺ	26	8	0	0	0	0	-		紅ほっぺ	-	-	2.5	0	0	0.5	0	-	
平均		2.4	0.7	0.7	0.1	0	0.0	1.0	3.0	平均		0.3	0.4	0.6	0.1	0.3	0.3	0.9	3.3

(10) 冬春いちご (つづき)

炭疽病発病株率(%) 調査時期									灰色かび病発病果率(%) 調査時期										
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
新居浜市									新居浜市										
	あまおとめ	4	1	0	0	0	0	0	0		あまおとめ	-	-	0	2	0	2	0	2
西条市		0.5	0	0	0	0	0	0	0	西条市		-	0	0	1.5	4.5	0.5	0	4.9
	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	0		あまおとめ	-	0	0	0	0	1	0	0
	紅い雫	1	0	0	0	0	0	0	0		紅い雫	-	0	0	3.0	9.0	0	0	1.0
	紅ほっぺ	0	0	-	-	-	-	-	0		紅ほっぺ	-	0	-	-	-	-	-	17.5
今治市									今治市										
	さちのか	0	0	0	0	0	0	0	0		さちのか	-	0	0	0	0	0	0	0
松山市		0	0	0	0	0	0	0	0	松山市		-	0	0	0.1	0	2.5	0.5	3.5
	紅い雫	0	0	0	0	0	0	0	0		紅い雫	-	-	0	1	0	5.0	1	5
	紅ほっぺ	0	0	0	0	0	0	0	0		紅ほっぺ	-	0	0	0	0	0	0	2
東温市									東温市										
	紅ほっぺ	-	0	0	0	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	-	-
松前町		-	-	0	0	0	-	-	-	松前町		-	-	0	0	0	-	-	-
	あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-		あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-
	紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	-	-
大洲市									大洲市										
	紅ほっぺ	0	0.3	0	0	0	0	0	0		紅ほっぺ	-	0	0.1	0	0.9	0.6	0.4	0
内子町									内子町										
	紅ほっぺ	0	0.3	0	0	-	0	0	0		紅ほっぺ	-	0	0	0	-	0.6	0.5	0
西予市		0.2	0	0	0	0	0	0	0	西予市		0	0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.2	0.4
	あまおとめ	0.2	0	0	0	0	0	0	0		あまおとめ	0	0	0.1	0	0.2	0	0	0
	こいみのり	0	0	0	0	0	0	0	0		こいみのり	-	0	0	1.0	1.0	0.5	0	2.0
	紅い雫	0.3	0	0	0	0	0	0	0		紅い雫	-	0	0	0	0.2	0	0.5	0
	紅ほっぺ	0	0	0	0	0	-	0	-		紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	0	-
宇和島市									宇和島市										
	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	-		あまおとめ	-	-	0	0	0	0	0	-
	こいみのり	0	0	-	0	0	0	-	-		こいみのり	-	-	-	1.0	0	0	-	-
	レッドパール	-	-	-	-	0	-	-	-		レッドパール	-	-	-	-	0	-	-	-
	紅い雫	-	0	-	0	0	-	-	-		紅い雫	-	-	-	0	0	-	-	-
	紅ほっぺ	-	-	-	-	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	-	-	-	0	-	-	-
	章姫	-	-	-	0	-	-	-	-		章姫	-	-	-	0	-	-	-	-
鬼北町		0.3	0	0	0	0	0	0	-	鬼北町		-	0	0	0	0	0	0.4	-
	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	-		あまおとめ	-	0	0	0	0	0	0	-
	こいみのり	0	0	0	0	0	0	0	-		こいみのり	-	-	0	0	0	0	0	-
	レッドパール	1.0	0	0	0	0	-	0	-		レッドパール	-	-	0	0	0	-	0	-
	紅い雫	0	0	0	0	0	0	0	-		紅い雫	-	-	0	0	0	0	1.5	-
	紅ほっぺ	0.5	0	0	0	0	0	0	-		紅ほっぺ	-	-	0	0	0	0	0	-
平均		0.3	0.1	0	0	0	0	0	0	平均		0	0	0.0	0.1	0.4	0.5	0.3	1.9

(10) 冬春いちご (つづき)

アザミヤ類寄生花率(%) 調査時期		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
新居浜市									
あまおとめ		0	0	0	0	0	7.0	0	0
西条市		0.2	0.3	0	0	0	10.0	3.0	52.1
あまおとめ		0	0	0	0	0	20.0	5.0	57.5
紅い雫		0.5	0.7	0	0	0	0	1.0	50.5
紅ほっぺ		0	0	-	-	-	-	-	50.00
今治市									
さちのか		0	0	0	0	0	2	18	5
松山市		0	0.1	0.2	0	0	0.5	6.5	9
紅い雫		0	0	3	0	0	1	1	0
紅ほっぺ		-	0.1	0	0	0	0	12	18
東温市									
紅ほっぺ		-	0	0	0	0	-	-	-
松前町		-	-	0	0	0	-	-	-
あまおとめ		-	-	0	0	0	-	-	-
紅ほっぺ		-	-	0	0	0	-	-	-
大洲市									
紅ほっぺ		-	0.1	0	0	0	0.1	0.6	2
内子町									
紅ほっぺ		-	0	0	0	-	0.3	3.5	6
西予市		0.6	0.1	0.1	0.5	1.5	1.8	15.9	20.1
あまおとめ		0.3	0.1	0	0.1	0.4	2.4	18.9	16.1
こいみのり		-	0	0	0	0	2.5	22.5	8
紅い雫		3	0	0.3	1.3	3.6	1	11.7	46
紅ほっぺ		-	0	0	0	0	-	7	-
宇和島市									
あまおとめ		-	0	0	0	0	0.5	11	-
こいみのり		-	0	-	0	2	3	-	-
レッドパール		-	-	-	-	0	-	-	-
紅い雫		-	0	-	0	0	-	-	-
紅ほっぺ		-	-	-	-	1	-	-	-
章姫		-	-	-	0	-	-	-	-
鬼北町		0	0	1.6	0.5	9.8	1.9	0.3	-
あまおとめ		0	0	0	1.5	13.5	0	0.5	-
こいみのり		-	-	0	0	0	0	0	-
レッドパール		-	0	0	0	1	-	0	-
紅い雫		0	0	2	0	8	2.5	0.5	-
紅ほっぺ		-	0	4.5	0.5	17	4	0	-
平均		0.3	0.1	0.2	0.2	1.3	1.4	6.3	24.1

アブラムシ類寄生株率(%) 調査時期		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
新居浜市									
あまおとめ		18	12	0	0	0	0	0	2
西条市		6.2	5.3	4.2	0	0	0	0.5	1.3
あまおとめ		2	3.2	2.8	0	0	0	0	0
紅い雫		11.3	4.8	5.6	0	0	0	1	3
紅ほっぺ		1	18	-	-	-	-	-	0
今治市									
さちのか		0	0	0	0	0	0	1	1
松山市		0.5	5.2	3.1	0.4	1.2	0	0.5	0
紅い雫		1	0	0	0	0	0	1	0
紅ほっぺ		0	5.7	3.4	0.5	1.3	0	0	0
東温市									
紅ほっぺ		-	0	0.7	1.6	3	-	-	-
松前町		-	-	1	0	0	-	-	-
あまおとめ		-	-	0	0	0	-	-	-
紅ほっぺ		-	-	2	0	0	-	-	-
大洲市									
紅ほっぺ		0.1	2.4	1.0	0.1	0.3	0.4	2.3	0
内子町									
紅ほっぺ		0	0	1.8	0	-	0	0	0
西予市		3.1	5.2	0.7	0.3	0.2	3.9	0.9	2.5
あまおとめ		0	0.3	0.1	0.2	0	0.6	0.1	3.7
こいみのり		7	4.3	0	0	0	0	0	0
紅い雫		6.7	13.9	2.1	0.6	0.2	8.8	2.3	1
紅ほっぺ		0	0.5	0	0	1	-	0	-
宇和島市									
あまおとめ		0	0	1	21.5	0	30	2	-
こいみのり		0	4	-	0	0	3	-	-
レッドパール		-	-	-	-	0	-	-	-
紅い雫		-	0	-	0	0	-	-	-
紅ほっぺ		-	-	-	-	0	-	-	-
章姫		-	-	-	0	-	-	-	-
鬼北町		10	0	0	0	0	0	0	-
あまおとめ		2	0	0	0	0	0	0	-
こいみのり		0	0	0	0	0	0	0	-
レッドパール		64	0	0	0	0	-	0	-
紅い雫		4	0	0	0	0	0	0	-
紅ほっぺ		2	0	0	0	0	0	0	-
平均		3.9	3.2	1.5	1.5	0.5	2.3	1.0	1.5

(10) 冬春いちご (つづき)

ハダニ類寄生株率(%) 調査時期										ハスモンヨリ被害株率(%) 調査時期									
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
新居浜市										新居浜市									
	あまおとめ	0	0	0	12	5	45	12	0		あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	0
西条市		37.5	41.6	32.3	40	4	43	31.5	0.3	西条市		11.4	0.2	0.2	0	0	0	0	0
	あまおとめ	31	28.8	33.6	76	8	86	63	0		あまおとめ	3.2	0.4	0.4	0	0	0	0	0
	紅い雫	41	55.5	31	4	0	0	0	0.5		紅い雫	16.7	0	0	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	43	22	-	-	-	-	-	0		紅ほっぺ	16	0	-	-	-	-	-	0
今治市										今治市									
	さちのか	85	100	13	44	0	0	0	0		さちのか	0	0	0	0	0	0	0	0
松山市		4.5	6.1	3.9	1.6	3.1	0	0.5	1.5	松山市		2	2.5	0.2	0	0	0	0	0
	紅い雫	9	35	38	6	0	0	1	0		紅い雫	4	2	0	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	0	3.2	1.5	1	3.4	0	0	3		紅ほっぺ	0	2.5	0.2	0	0	0	0	0
東温市										東温市									
	紅ほっぺ	-	15.6	0	19.6	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	0	0	0	0	-	-	-
松前町		-	-	0	0	0	-	-	-	松前町		-	-	0	0	0	-	-	-
	あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-		あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-
	紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	-	0	0	0	-	-	-
大洲市										大洲市									
	紅ほっぺ	14.6	3	3	10	8.8	15.9	16.3	9		紅ほっぺ	0.1	0.9	0.4	0	0	0	0	0
内子町										内子町									
	紅ほっぺ	0	0.4	1.5	0.8	-	1.9	28.6	0		紅ほっぺ	0.7	0.4	0.1	0.0	-	0.0	0.0	0.0
西予市		15.1	18.5	12.7	19.0	13.3	16.8	7.9	8.8	西予市		1.3	0.8	0.2	0	0	0	0	0
	あまおとめ	25.2	30.5	13.9	20.6	17	13.4	9.9	13.7		あまおとめ	0	0	0.1	0	0	0	0	0
	こいみのり	21	32	23	33.3	31.5	18	1.5	0		こいみのり	2	1.7	0	0	0	0	0	0
	紅い雫	2.6	0.9	11.7	15.3	5	19.8	9	0.5		紅い雫	2	0.9	0.3	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	0	0	0.7	2	0	-	0	-		紅ほっぺ	4.5	3.5	0.3	0	0	-	0	-
宇和島市		0	2	0	15.7	0.4	4	0	-	宇和島市		3.4	3.8	0	0	0	0	0	-
	あまおとめ	0	1.3	0	9.8	0	2	0	-		あまおとめ	4	6	0	0	0	0	0	-
	こいみのり	0	0	-	3	4	8	-	-		こいみのり	1	1	-	0	0	0	-	-
	レッドパール	-	-	-	-	0	-	-	-		レッドパール	-	-	-	-	0	-	-	-
	紅い雫	-	6	-	0	0	-	-	-		紅い雫	-	0	-	0	0	-	-	-
	紅ほっぺ	-	-	-	-	0	-	-	-		紅ほっぺ	-	-	-	-	0	-	-	-
	章姫	-	-	-	68.0	-	-	-	-		章姫	-	-	-	0	-	-	-	-
鬼北町		25.6	24.5	25.5	28.8	16	10.6	7.5	-	鬼北町		1.4	0.5	0	0	0	0	0	-
	あまおとめ	60	19	42	51	16.5	18	10	-		あまおとめ	4	0.5	0	0	0	0	0	-
	こいみのり	0	0	0	5	4	20	4	-		こいみのり	0	1	0	0	0	0	0	-
	レッドパール	32	92	92	9	0	-	0	-		レッドパール	0	0	0	0	0	-	0	-
	紅い雫	24.5	2.5	2	9	35	4	4	-		紅い雫	0.5	0.5	0	0	0	0	0	-
	紅ほっぺ	2	30.5	12	48	10.5	5	14	-		紅ほっぺ	1	0.5	0	0	0	0	0	-
平均		19.6	15.8	9.6	15.6	7.0	13.5	13.4	4.9	平均		3.4	1.0	0.2	0	0	0	0	0

2) 広域調査

(1) いちご育苗床調査

調査地点	調査品種	調査地点数		
		6月	7月	8月
西条市	あまおとめ	9	-	5
	紅い雫	3	-	2
松山市	紅ほっぺ	-	-	4
東温市	紅ほっぺ	-	9	-
松前町	あまおとめ	-	6	3
	紅ほっぺ	-	3	2
内子町	紅ほっぺ	8	5	-
大洲市	紅ほっぺ	15	10	-
西予市	あまおとめ	6	4	8
	紅ほっぺ	1	1	1
	紅い雫	5	5	5
	こいみのり	3	3	3
宇和島市	あまおとめ	-	5	-
	こいみのり	-	1	-
	レッドパール	-	2	-
鬼北町	あまおとめ	2	2	-
	紅ほっぺ	1	2	-
	紅い雫	2	2	-
	レッドパール	1	1	-
計		56	61	33

1株1葉の50株調査。「-」未調査。調査年2022年

うどんこ病発病葉率 (%)	調査地点 品種	調査時期		
		6月	7月	8月
西条市		4.7		0
	あまおとめ	2.9		0
	紅い雫	10		0
松山市	紅ほっぺ			0
東温市	紅ほっぺ		0	
松前町			0	0
	あまおとめ		0	0
	紅ほっぺ		0	0
内子町	紅ほっぺ	0.3	0	
大洲市	紅ほっぺ	0	0	
西予市		3.6	0	0.2
	あまおとめ	3	0	0
	こいみのり	6	0	0
	紅い雫	3.6	0	0.8
	紅ほっぺ	0	0	0
宇和島市			0	
	あまおとめ		0	
	こいみのり		0	
	レッドパール		0	
鬼北町		11	5.7	
	あまおとめ	0	0	
	レッドパール	16	8	
	紅い雫	6	4	
	紅ほっぺ	38	12	
平均		3.2	0.7	0.1

萎黄病発病株率 (%)	調査地点 品種	調査時期		
		6月	7月	8月
西条市		0		0.1
	あまおとめ	0		0.2
	紅い雫	0		0
松山市	紅ほっぺ			0
東温市	紅ほっぺ		0	
松前町			0	0
	あまおとめ		0	0
	紅ほっぺ		0	0
内子町	紅ほっぺ	0	0	
大洲市	紅ほっぺ	0	0	
西予市		0	0	0.4
	あまおとめ	0	0	0.5
	こいみのり	0	0	0.7
	紅い雫	0	0	0
	紅ほっぺ	0	0	0
宇和島市			1	
	あまおとめ		1.4	
	こいみのり		0	
	レッドパール		0.5	
鬼北町		0	0	
	あまおとめ	0	0	
	レッドパール	0	0	
	紅い雫	0	0	
	紅ほっぺ	0	0	
平均		0	0.1	0.2

疫病発病株率 (%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
西条市		0		0
	あまおとめ	0		0
	紅い雫	0		0
松山市				
	紅ほっぺ			0
東温市				
	紅ほっぺ		0	
松前町			0	0
	あまおとめ		0	0
	紅ほっぺ		0	0
内子町				
	紅ほっぺ	0	0	
大洲市				
	紅ほっぺ	0	0	
西予市		0	0	0
	あまおとめ	0	0	0
	こいみのり	0	0	0
	紅い雫	0	0	0
	紅ほっぺ	0	0	0
宇和島市			0	
	あまおとめ		0	
	こいみのり		0	
	レッドパール		0	
鬼北町		0	0	
	あまおとめ	0	0	
	レッドパール	0	0	
	紅い雫	0	0	
	紅ほっぺ	0	0	
平均		0	0	0

アブラムシ類寄生株率 (%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
西条市		0.8		6.1
	あまおとめ	1.1		0
	紅い雫	0		21.5
松山市				
	紅ほっぺ			0
東温市				
	紅ほっぺ		4.6	
松前町			2.2	1.2
	あまおとめ		0.7	2
	紅ほっぺ		5.3	0
内子町				
	紅ほっぺ	0.5	0	
大洲市				
	紅ほっぺ	5.3	0	
西予市		16.7	17.2	7.4
	あまおとめ	4.7	21.5	11.5
	こいみのり	24	3.7	11.3
	紅い雫	26.8	11.2	0
	紅ほっぺ	16	70	0
宇和島市			11.5	
	あまおとめ		17.6	
	こいみのり		0	
	レッドパール		2	
鬼北町		7	1.9	
	あまおとめ	4	2	
	レッドパール	0	1	
	紅い雫	16	4	
	紅ほっぺ	2	0	
平均		6.9	6.4	5.3

ハダニ類寄生株率 (%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
西条市		7.3		0.6
	あまおとめ	0.2		0.8
	紅い雫	28.7		0
松山市				
	紅ほっぺ			0.8
東温市				
	紅ほっぺ		5.8	
松前町			2.9	0
	あまおとめ		4	0
	紅ほっぺ		0.7	0
内子町				
	紅ほっぺ	10	0	
大洲市				
	紅ほっぺ	1.7	0.1	
西予市		18.1	7.2	11.5
	あまおとめ	20.3	3.8	11.8
	こいみのり	28	13.3	0
	紅い雫	13.2	7.6	20.4
	紅ほっぺ	0	0	0
宇和島市			0	
	あまおとめ		0	
	こいみのり		0	
	レッドパール		0	
鬼北町		0	0.6	
	あまおとめ	0	0	
	レッドパール	0	0	
	紅い雫	0	0	
	紅ほっぺ	0	2	
平均		8.3	2.9	6.2

ハスモンヨトウ寄生株率 (%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
西条市		0		0
	あまおとめ	0		0
	紅い雫	0		0
松山市				
	紅ほっぺ			0
東温市				
	紅ほっぺ		0	
松前町			0	0
	あまおとめ		0	0
	紅ほっぺ		0	0
内子町				
	紅ほっぺ	0	0	
大洲市				
	紅ほっぺ	0	0	
西予市		0	0	0
	あまおとめ	0	0	0
	こいみのり	0	0	0
	紅い雫	0	0	0
	紅ほっぺ	0	0	0
宇和島市			0	
	あまおとめ		0	
	こいみのり		0	
	レッドパール		0	
鬼北町		0	0	
	あまおとめ	0	0	
	レッドパール	0	0	
	紅い雫	0	0	
	紅ほっぺ	0	0	
平均		0	0	0

(2) たまねぎ広域調査

白色疫病調査地点数

調査地域	作型	調査地点	調査地点数			
			1月	2月	3月	
東予	普通	今治市菊間町佐方	—	2	—	
		今治市大西町	—	8	12	
		西条市吉田	—	—	13	
		西条市橘	—	—	4	
		西条市神戸	—	—	29	
		西条市禎瑞	—	12	—	
		西条市氷見	—	—	1	
		計		31	62	136
中予	早どり	松山市河野	3	—	—	
		松山市北条辻	1	—	—	
		松前町下吾川	1	—	—	
		松前町北黒田	2	—	—	
		松前町北川原	4	—	—	
	普通	松山市河野	—	—	31	
		松山市難波	—	18	23	
		松山市北条辻	—	—	1	
		計		31	62	136
		南予	早どり	宇和島市三間町元宗	1	—
宇和島市三間町中野中	1			2	2	
普通	宇和島市三間町元宗		2	3	3	
	宇和島市三間町中野中		2	2	2	
	西予市宇和町加茂		4	6	6	
	西予市宇和町岩木		2	2	2	
	西予市宇和町郷内		1	1	1	
	西予市宇和町瀬戸		2	2	2	
	西予市宇和町大江		2	2	2	
	大洲市五郎		1	—	—	
	大洲市東大洲		2	2	2	
	計			31	62	136

1株200株調査。「—」未調査。

白色疫病発病株率 (%)		調査時期				
調査地点	作型	1月	2月	3月		
東予	普通	今治市菊間町佐方	—	0	0	
		今治市大西町	—	0	0	
		西条市吉田	—	—	0	
		西条市橘	—	—	0	
		西条市神戸	—	—	0	
		西条市禎瑞	—	0	—	
		西条市氷見	—	—	0	
		計		1.6	0	0
中予	早どり	松山市河野	5.3	—	—	
		松山市北条辻	0	—	—	
		松前町下吾川	0	—	—	
		松前町北黒田	0	—	—	
		松前町北川原	0.5	—	—	
	普通	松山市河野	—	0	0	
		松山市難波	—	0	0	
		松山市北条辻	—	—	0	
		計		1.6	0	0
		南予	早どり	宇和島市三間町元宗	0	—
宇和島市三間町中野中	0			0	0	
普通	宇和島市三間町元宗		0	0	0	
	宇和島市三間町中野中		0	0	0	
	西予市宇和町加茂		0	0	0	
	西予市宇和町岩木		0	0	0	
	西予市宇和町郷内		0	0	0	
	西予市宇和町瀬戸		0	0	0	
	西予市宇和町大江		0	0	0	
	大洲市五郎		0	—	—	
	大洲市東大洲		0	0	0	
	計			0.6	0	0

べと病調査地点数

調査地域	作型	調査地点	調査地点数			
			2月	3月		
東予	普通	西条市吉田	—	13		
		西条市橘	—	4		
		西条市神戸	—	29		
		西条市禎瑞	12	—		
		西条市氷見	—	2		
		今治市大西町	8	12		
		今治市菊間町佐方	2	—		
		計		62	137	
		中予	普通	松山市河野	—	31
				松山市難波	18	23
松山市北条辻	—			1		
南予	早どり	宇和島市三間町中野中	2	2		
		普通	大洲市東大洲	2	2	
	普通	宇和島市三間町中野中	2	2		
		宇和島市三間町元宗	3	3		
		西予市宇和町瀬戸	2	2		
		西予市宇和町大江	2	2		
		西予市宇和町加茂	6	6		
		西予市宇和町郷内	1	1		
		西予市宇和町岩木	2	2		
		計		62	137	

べと病発病株率 (%)		調査時期				
調査地点	作型	2月	3月			
東予	普通	西条市吉田	—	0		
		西条市橘	—	0		
		西条市神戸	—	0.9		
		西条市禎瑞	0	—		
		西条市氷見	—	2.8		
		今治市大西町	0	0.3		
		今治市菊間町佐方	0	—		
		計		0	0.6	
		中予	普通	松山市河野	—	1.1
				松山市難波	0	0.0
松山市北条辻	—			0		
計		0	0.5			
南予	早どり	宇和島市三間町中野中	0	0		
		普通	大洲市東大洲	0	0	
	普通	宇和島市三間町中野中	0	1		
		宇和島市三間町元宗	1	2.7		
		西予市宇和町瀬戸	0	0		
		西予市宇和町大江	0	0		
		西予市宇和町加茂	0	0		
		西予市宇和町郷内	0	3.3		
		西予市宇和町岩木	0	0		
		計		0.0	0.6	

8. トラップ等による害虫の発消長調査

1) 予察灯（ライトトラップ）による害虫の発消長調査（水稻海外飛来性、果樹カメムシ類は別途集計）

①調査場所：西条市西泉 令和4年（捕獲成虫数/半月） 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半月	ツマカ ^ロ ヨコハ ^イ	イサ ^マ ヨコハ ^イ	ヒメトビ ^ウ カ	ニカ ^メ カ	サンカ ^メ カ	フタホ ^ト コヤ ^カ	イネヨト ^ウ カ	アヲノ ^メ カ	アオクサ ^カ メムシ	ミナミ ^ア オカメムシ	イモ ^シ カメムシ	クモヘ ^リ カメムシ	ホソ ^ハ リカメムシ	アサ ^シ カスミカメ	イネ ^ミ ズゾ ^ウ ムシ	コナ ^カ	ヒメフ ^タ テ ^ン ヨコハ ^イ	ト ^ウ カ ^ネ イ ^ブ イ	アオ ^ト ウ ^カ ネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	
	3	1	0	0	0	0	0	1	4	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	2	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0
6月	1	2	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0
	2	3	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0
	3	11	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	4	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0
	5	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	6	8
7月	1	2	8	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	4	1	0	5	2
	2	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	6	4
	3	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	15	0	0	0	1	4
	4	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	6	0
	5	19	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	6	2
	6	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3	2
8月	1	244	79	0	0	0	0	0	0	1	0	6	1	3	0	0	0	0	8	0
	2	82	39	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	4	0	0	0	0	1	1
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	38	8	5	0	0	0	0	3	0	23	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	5	34	22	2	0	0	4	0	4	0	2	0	2	0	0	0	0	0	5	2
	6	32	68	9	0	0	4	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9月	1	6	16	19	0	0	1	0	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	2	6	15	8	0	0	0	0	2	0	8	0	0	0	1	0	3	0	0	0
	3	8	39	4	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	4	0	6	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	5	4	3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		533	464	49	0	0	13	1	22	0	70	1	16	1	62	4	49	0	62	28
初飛来日		5/15	5/21	7/1			6/11	5/13	5/2		5/11	7/28	7/26	8/4	5/30	7/4	4/7		6/3	6/26
連続飛来日		6/25	5/24	8/29			8/28		8/23		8/15		8/1		6/18		4/10		6/26	6/28

連続飛来日：3日連続飛来の初日 -：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

②調査場所：松山市上難波 令和4年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマク ^ロ ヨコハ ^イ	イナ ^マ ヨコハ ^イ	ヒメトビ ^ウ カ	ニカ ^メ カ	サンカ ^メ カ	フタホ ^ト コヤ ^カ	イトヨ ^ト ウ	アヲノ ^メ カ	アオク ^サ カ ムシ	ミナミ ^ア カ ムシ	イモ ^ン ジ カ ム シ	クモ ^ハ カ ムシ	ホソ ^ハ カ ムシ	アカ ^シ カ ムシ	イネ ^ス ゾ ウ ム シ	コナ ^カ	ヒメフ ^テ ン ヨ コ ハ イ	ト ^ウ カ ネ イ ブ イ	アト ^ウ カ ネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	19	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	15	0	0	0
	6	0	2	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0
6月	1	9	2	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	1	0	24	0	2	0
	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	33	0	6	0
	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	28	0	2	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	13	0	25	0
	5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1	0	2	0
7月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	0	0	0	3	1
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	5	0
	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	0	1	0	0	0
	4	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1	2	0	18	0	0	0	14	1
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	14	0
	6	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	4	0	0	0	17	0
8月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3	1	2	0	0	0	23	0
	2	1	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	3	1	0	0	0	0	9	0
	3	6	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3	0	0	0	0	0	7	0
	4	2	0	0	0	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	11	1
	5	0	0	0	0	0	0	0	1	3	10	0	3	2	1	0	0	0	8	1
	6	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	0	1	0	0	0	0	0	3	2
9月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	1	1	1	0	0	0	3	0
	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	0	2	0	0	0	0	0	1	0
	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
総数		30	5	2	0	0	0	0	20	18	129	1	19	5	56	0	238	0	158	6
初飛来日		6/1	5/26	6/24					5/26	7/20	4/23	7/20	7/20	8/1	5/22		4/7		6/2	7/3
連続飛来日		8/11							5/29	8/24	7/28				6/25		4/7		6/15	

連続飛来日：3日連続飛来の初日 -：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

③調査場所：松前町大間 令和4年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマク ^ロ ヨコハ ^イ	イフス ^マ ヨコハ ^イ	ヒメトビ ^ウ ンカ	ニカメイ ^ガ	サンカメイ ^ガ	フタホ ^ビ コヤ ^ガ	イトヨトウ	アヲノメイ ^ガ	アオクサ ^カ メムシ	ミナミアオ ^カ メムシ	イモシ ^ジ カメムシ	クモハラ ^カ メムシ	ホソハラ ^カ メムシ	アカシ ^ジ カスミカメ	イネミス ^ジ ゾウムシ	コナ ^ガ	ヒメフタ ^テ ンヨコハ ^イ	ト ^ウ カ ^ネ イ ^ブ イ	アオト ^ウ カ ^ネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0
6月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	11	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0
	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	3	0
	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	0	3	0
7月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0	4	1
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	3	0
	3	2	2	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	5	0	0	0	3	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	5	12	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	8	0	0	0	5	1
	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	8	0	1	0	2	0
8月	1	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	1	0	8	0
	2	6	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	0
	3	8	0	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	12	0	1	0	1	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	6	0	5	0	1	0	3	0	0	0	0	2
	5	0	0	1	0	0	0	0	5	0	5	0	1	0	3	0	1	0	0	1
	6	4	0	0	0	0	0	0	12	0	6	0	0	0	6	0	1	0	2	3
9月	1	7	0	0	0	0	0	0	6	1	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	2	4	0	0	0	0	0	0	9	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	9	0	7	0	1	0	5	0	0	0	0	0
	4	11	0	3	0	0	0	0	2	0	11	0	0	0	2	0	0	0	1	0
	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
10月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		93	12	8	0	0	1	0	52	1	73	0	3	1	101	0	65	0	40	8
初飛来日		5/22	5/20	8/13			7/14		8/10	9/3	4/23		8/20	7/25	5/30		4/8		6/5	7/3
連続飛来日		7/23							8/18		7/11				7/23		4/16		6/28	8/28

連続飛来日：3日連続飛来の初日 ー：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

④調査場所：久万高原町入野 令和4年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマク ^ロ ヨコハ ^イ	イサ ^マ ヨコハ ^イ	ヒメトビ ^ウ ウカ	ニカメイ ^ガ	サンカメイ ^ガ	フタホ ^ビ コヤ ^ガ	イトヨトウ	アヲノメイ ^ガ	アオクサ ^カ メムシ	ミナミアオ ^カ カメムシ	イモシ ^カ カメムシ	クモハラ ^カ メムシ	ホソハラ ^カ メムシ	アサシ ^カ カスミカメ	イネミス ^ゾ ウムシ	コナ ^ガ	ヒメフタ ^テ ンヨコハ ^イ	ト ^ウ カ ^ネ イ ^ブ イ	アオト ^ウ カ ^ネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	6	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3	0
7月	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	2	0
	2	3	1	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	5	2	0	2	0
	3	2	0	0	0	0	25	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	1	0
	4	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	0	2	0
	5	0	2	0	0	0	34	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	7	0
	6	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	0
8月	1	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	12	0
	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
	3	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0
	4	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	8	0
	5	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5	0
	6	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0
9月	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	4	0	0	0	2	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		8	5	1	0	0	116	0	12	4	4	0	3	2	14	20	20	0	64	0
初飛来日		7/1	6/30	8/20			6/20		4/28	8/13	7/11		6/27	6/16	6/21	6/27	4/14		6/26	
連続飛来日							7/9								9/2				7/20	

連続飛来日：3日連続飛来の初日 -：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

⑤調査場所：西予市宇和町山田 令和4年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマク ^ロ ヨコハ ^イ	イスマ ^マ ヨコハ ^イ	ヒトビ ^ウ ウカ	ニカメ ^イ カ	サンカメ ^イ カ	フタホ ^ヒ コヤ ^カ	イトヨ ^ウ カ	アワノ ^メ カ	アオクサ ^カ メムシ	ミナミア ^オ カメシ	イモシ ^ン ジ ^カ ムシ	クモハ ^リ カ メシ	ホソハ ^リ カ メシ	アサシ ^ン カスミ ^カ メ	イネシ ^ン ゾ ^ウ ムシ	コナ ^カ	ヒメフ ^タ テ ンヨコハ ^イ	ト ^ウ カ ^ネ イ ブイ	アオト ^ウ カ ^ネ
4月	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	2	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	6	0
	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0
	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	8	0
	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	37	0
7月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	14	0	0	0	28	0
	2	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	13	0	0	0	93	0
	3	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	29	0	0	0	30	0
	4	15	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	15	0	0	0	56	0
	5	42	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	56	0	0	0	60	0
	6	35	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	1	0	31	0	0	0	15	0
8月	1	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	14	0	0	0	33	0
	2	63	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	37	0	0	0	39	0
	3	145	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	84	0	0	0	25	0
	4	88	0	10	0	0	2	0	2	1	1	1	8	0	142	0	0	0	39	0
	5	38	0	3	1	0	4	0	0	10	1	1	4	2	51	0	0	0	30	2
	6	34	1	2	0	0	5	0	0	4	5	0	9	0	94	0	0	0	17	1
9月	1	14	0	3	0	0	0	4	4	5	6	3	9	1	156	0	0	0	13	0
	2	41	2	0	2	0	0	6	3	1	2	0	1	1	69	0	0	0	2	0
	3	20	1	1	0	0	1	0	1	1	7	1	11	0	70	0	0	0	0	0
	4	21	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	5	0	18	0	0	0	0	0
	5	29	2	0	0	0	0	1	3	0	4	0	2	0	33	0	0	0	0	0
	6	179	2	1	0	0	0	1	1	0	4	0	1	0	39	0	0	0	0	0
10月	1	1	1	0	0	0	1	3	0	0	3	0	0	0	8	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数		826	11	23	3	0	16	19	17	30	44	26	56	4	997	0	2	0	545	3
初飛来日		6/4	8/30	8/13	8/23		7/22	5/25	4/23	7/3	7/27	7/20	7/15	8/21	5/13		5/23		6/9	8/21
連続飛来日		7/15					9/5	9/7	8/28	8/29	7/31	8/18		6/24					6/17	

連続飛来日：3日連続飛来の初日 -：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

⑥調査場所：愛南町御荘長月 令和4年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマク ^ロ ヨコハ ^イ	イサ ^マ ヨコハ ^イ	ヒメトビ ^ウ ンカ	ニカ ^メ ガ	サンカ ^メ ガ	フタホ ^ト コヤ ^ガ	イトヨ ^ウ	アヲノ ^メ ガ	アオクサ ^カ メムシ	ミナミ ^ア オカ ^メ ムシ	イモ ^シ ン ^カ ムシ	クモハ ^リ カ ^メ ムシ	ホソハ ^リ カ ^メ ムシ	アサ ^シ カ ^ス ミ ^カ メ	イネ ^ス ゾ ^ウ ムシ	コナ ^ガ	ヒメフ ^タ テ ^ン ヨコハ ^イ	ト ^ウ カ ^ネ イ ^ブ イ	アオト ^ウ カ ^ネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	5	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	6	1	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
6月	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	3	0
	4	0	0	0	0	0	10	0	0	0	3	1	0	0	21	0	0	0	1	1
	5	3	0	0	0	0	24	0	0	0	5	0	1	2	22	0	0	0	7	0
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月	1	53	0	0	0	0	19	0	0	0	3	0	1	0	6	0	0	0	1	3
	2	58	9	0	0	0	6	0	0	0	1	2	1	0	6	0	0	0	6	7
	3	32	23	0	0	0	22	0	0	0	0	1	2	0	8	1	0	0	4	5
	4	13	1	0	0	0	33	0	1	0	0	6	2	0	9	2	0	0	4	4
	5	35	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	7	0	16	1	0	0	6	12
	6	3	0	0	0	0	33	0	0	0	5	0	1	0	1	0	0	0	1	14
8月	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	52	69	0	0	0	2	0	0	0	10	1	6	0	11	0	1	0	4	15
	4	15	6	0	0	0	0	0	0	0	11	0	3	0	17	0	0	0	9	15
	5	10	16	0	0	0	1	0	0	0	1	0	9	0	26	0	0	0	2	19
	6	13	6	1	0	0	0	0	1	0	7	0	13	1	43	0	0	0	1	32
9月	1	4	1	2	0	0	1	1	0	0	5	0	1	0	13	0	0	0	1	13
	2	11	6	0	0	0	0	3	1	0	12	1	2	0	48	0	0	0	1	5
	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	26	1	1	0	33	0	0	0	0	5
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10月	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数		310	140	3	1	0	180	17	5	0	89	13	50	3	294	10	13	0	52	150
初飛来日		5/14	5/11	8/10	6/4		5/31	4/1	5/25		6/17	6/16	6/25	6/24	5/13	4/10	4/5		6/9	6/17
連続飛来日		6/23	7/10				6/18	5/24			6/24		7/19		6/14	4/12			6/21	7/4

連続飛来日：3日連続飛来の初日 -：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

2) 予察灯による水稻海外飛来性害虫の調査

令和4年

予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7 60W白色電球

(捕獲成虫数/半旬)

月	半旬	セジロウンカ						トビイロウンカ						コブノメイガ					
		西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月	西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月	西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月
4月	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0
	2	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0
	3	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0
	4	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0
	5	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0
	6	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	2	1	3	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
7月	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	1	24	5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	5	2	1	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	1	2	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
	2	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
	3	-	2	0	0	3	10	-	0	0	0	1	3	-	0	0	0	0	0
	4	5	5	0	2	14	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
	5	12	8	5	6	4	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
	6	18	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0
9月	1	23	3	0	2	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	2	30	0	0	3	1	5	1	0	0	0	4	0	0	0	0	2	3	0
	3	17	0	0	2	1	3	2	0	2	0	4	0	0	0	0	0	1	0
	4	6	0	1	2	2	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
	5	3	0	1	1	3	-	0	0	2	5	6	-	0	0	0	0	1	-
	6	10	2	7	0	2	-	4	0	3	0	9	-	0	0	0	0	0	-
10月	1	0	0	2	0	0	-	2	0	0	1	0	-	0	0	1	0	0	-
	2	1	0	0	0	3	-	0	0	0	0	2	-	0	0	0	0	1	-
	3	0	0	2	0	1	-	0	0	0	1	2	-	2	0	0	0	0	-
	4	0	1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	1	0	0	1	0	-
	5	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	-	-
	6	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	-	-
総数		134	54	37	22	36	30	9	0	7	7	22	20	6	0	1	1	6	4
(前年)		194	692	101	9	238	104	0	2	3	0	0	0	7	0	0	1	0	0
(平年*)		204	356	113	27	204	180	183	67	114	57	165	934	8	2	8	1	8	1
初飛来日		6/23	6/26	6/25	7/3	8/12	7/8	9/10		9/11	9/22	8/11	7/19	8/27		10/1	10/16	8/28	9/6
連続飛来日		8/20	7/12	7/20		8/12	8/19	9/10					9/7						

連続飛来日：3日連続飛来の初日。 -：欠測。 平年*：各地点の予察灯参照。

日別値（予察灯による水稻海外飛来性害虫の調査）

2022 (令和4 年)	セジロウンカ						トビイロウンカ						コブノメイガ					
	西条市西 泉	松山市上 難波	松前町大 間	久万高 原町入 野	西予市宇 和町山 田	愛南町御 荘長月	西条市西 泉	松山市上 難波	松前町大 間	久万高 原町入 野	西予市宇 和町山 田	愛南町御 荘長月	西条市西 泉	松山市上 難波	松前町大 間	久万高 原町入 野	西予市宇 和町山 田	愛南町御 荘長月
6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/23	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/25	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/26	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/28	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
6/29	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
6/30	0	0	1	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
7/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/8	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/12	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/13	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/15	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0
7/16	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/17	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0
7/18	0	8	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0
7/19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7/20	0	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/21	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/22	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/23	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/24	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/26	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

日別値（予察灯による水稻海外飛来性害虫の調査）

2022 (令和4年)	セジロウンカ						トビイロウンカ						コブノメイガ					
	西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月	西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月	西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月
8/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/4	2	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
8/5	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
8/6	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
8/7	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
8/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/9	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
8/10	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	1	-	0	0	0	0	0
8/11	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	1	0	-	0	0	0	0	0
8/12	-	0	0	0	1	1	-	0	0	0	0	1	-	0	0	0	0	0
8/13	-	2	0	0	1	9	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
8/14	-	0	0	0	1	0	-	0	0	0	0	2	-	0	0	0	0	0
8/15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8/17	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/18	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/19	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8/20	3	4	0	1	12	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8/21	1	2	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/22	4	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/23	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
8/24	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/25	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/27	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8/28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0
8/29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/2	11	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/3	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9/4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
9/5	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/6	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
9/7	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
9/8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9/9	10	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
9/10	5	0	0	3	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
9/11	5	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9/12	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
9/13	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9/14	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/15	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
9/16	0	0	0	1	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
9/17	4	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
9/18	2	0	0	1	1	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
9/19	0	0	1	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
9/20	0	0	0	0	1	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
9/21	0	0	0	1	0	-	0	0	0	0	1	-	0	0	0	0	1	-
9/22	1	0	1	0	3	-	0	0	1	5	3	-	0	0	0	0	0	-
9/23	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-
9/24	1	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	-	0	0	0	0	0	-
9/25	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	2	-	0	0	0	0	0	-
9/26	3	1	0	0	2	-	1	0	0	0	5	-	0	0	0	0	0	-
9/27	1	0	1	0	0	-	0	0	2	0	0	-	0	0	0	0	0	-
9/28	2	1	6	0	0	-	1	0	1	0	3	-	0	0	0	0	0	-
9/29	2	0	0	0	0	-	1	0	0	0	1	-	0	0	0	0	0	-
9/30	2	0	0	0	0	-	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-

3) 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の越冬状況調査

令和4年2月に広葉樹の落葉を2㎡（1㎡×2）分集め、2月24日より室内で加温し、3月8日に虫数を調査。

地区	調査場所	越冬成虫数	越冬虫数/地点	地区	調査場所	越冬成虫数	越冬虫数/地点
東予	四国中央市土居町上野	3		南予	内子②	1	
	西条市氷見	0			内子町五十崎	3	
	西条市丹原町川根	1			伊方町	7	
	西条市丹原町田滝	0			八幡浜②	1	
	今治市朝倉	0			西予市宇和町野福峠	1	
	今治市玉川町龍岡	1			西予市三瓶町	0	
	今治市新谷	3			西予市明浜町高山①	2	
	今治市大西町山之内	2			宇和島市吉田町立間	0	
	今治市菊間町高田	0			宇和島市吉田町川平	0	
	今治市大三島町台	0			鬼北町日吉	1	
東予小計	(調査地点数：10地点)	10	1		鬼北町興野々	0	
中予	東温市	3			宇和島市三間町土居中	3	
	東温市拝志	0			松野町豊岡	1	
	松山市菅沢	0			宇和島市須賀川	0	
	松山市伊台	0			宇和島市高串	0	
	松山市難波	0			宇和島市三浦①	0	
	伊予市上三谷	0			宇和島市津島町繁近③	0	
	伊予市双海町三島	0			愛南町須の川①	0	
	砥部町鶴の崎	3			愛南町貝塚②	0	
	砥部町七折	0			愛南町城辺町太場②	0	
	松山市河野	1		南予小計	(調査地点数：20地点)	20	1
中予小計	(調査地点数：10地点)	7	0.7	計(全県)	(調査地点数：40地点)	37	0.93

注：越冬成虫数はチャバネアオカメムシを調査。

概要：全県的な越冬虫数は平年並であったが、東予地域では、やや多い状況であった。

(参考) 過去10年間の推移

	調査年月	全県		地域					
				東予		中予		南予	
		調査地点数	1地点当越冬虫数(頭/2㎡)	調査地点数	1地点当越冬虫数(頭/2㎡)	調査地点数	1地点当越冬虫数(頭/2㎡)	調査地点数	1地点当越冬虫数(頭/2㎡)
本年		40	0.93	10	1	10	0.7	20	1
平年	平成24年～令和3年	-	1.05	-	0.58	-	1.75	-	0.95
	令和3年2～3月	40	0.23	10	0.2	10	0.4	20	0.15
	令和2年2～3月	40	1.43	10	0.6	10	4.4	20	0.35
	平成31年2～3月	40	0.75	10	0.5	10	0.4	20	1.05
	平成30年2～3月	40	1.68	10	0.9	10	2.3	20	1.75
	平成29年2～3月	40	0.53	10	0.2	10	1.4	20	0.25
	平成28年2～3月	40	0.15	10	0	10	0.5	20	0.05
	平成27年2～3月	40	1.33	10	0.7	10	0.8	20	1.9
	平成26年2～3月	40	2.63	10	0.8	10	3.7	20	3
	平成25年2～3月	40	0.08	10	0	10	0.2	20	0.05
	平成24年2月	39	1.74	10	1.90	9	3.44	20	0.9

4) 予察灯・集合フェロモントラップによる果樹カメムシ類の発消長調査

①予察灯（ライトトラップ） 令和4年

（捕獲成虫数/半旬）

月	半旬	西条市西泉			松山市上難波(農研内)				松山市下伊台(果研内)				
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	2	2	0	0	1	1	0	0	88	78	9	1
	6	1	0	1	0	-	-	-	-	146	89	57	0
5月	1	0	0	0	0	1	1	0	0	10	8	2	0
	2	12	12	0	0	20	19	1	0	95	61	33	1
	3	2	2	0	0	1	1	0	0	70	35	34	1
	4	4	4	0	0	1	0	1	0	30	18	12	0
	5	56	53	3	0	45	34	11	0	85	38	45	2
	6	159	158	1	0	9	7	2	0	25	19	6	0
6月	1	13	13	0	0	2	2	0	0	22	13	8	1
	2	5	5	0	0	6	3	3	0	29	21	8	0
	3	0	0	0	0	4	4	0	0	15	7	7	1
	4	37	14	23	0	48	24	24	0	560	370	190	0
	5	27	18	8	1	16	3	13	0	574	372	191	11
	6	65	25	39	1	50	37	13	0	2345	1934	390	21
7月	1	30	15	12	3	45	26	18	1	1789	1565	209	15
	2	19	16	1	2	38	24	12	2	3298	3157	123	18
	3	17	12	2	3	20	15	5	0	1500	1428	63	9
	4	63	46	5	12	46	25	20	1	3897	3737	122	38
	5	78	66	0	12	16	9	5	2	565	525	31	9
	6	111	90	5	16	168	144	16	8	931	827	67	37
8月	1	319	292	6	21	84	71	6	7	753	676	43	34
	2	84	71	3	10	73	66	1	6	269	242	14	13
	3	-	-	-	-	24	23	0	1	182	170	0	12
	4	139	138	1	0	22	16	0	6	152	130	8	14
	5	76	73	0	3	10	5	0	5	74	59	7	8
	6	42	41	1	0	5	4	0	1	39	35	2	2
9月	1	7	7	0	0	11	9	1	1	56	53	1	2
	2	4	3	0	1	2	2	0	0	27	23	2	2
	3	3	2	0	1	9	9	0	0	68	61	5	2
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	9	7	2	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	25	15	10	0
	6	1	1	0	0	5	4	1	0	25	14	10	1
10月	1	0	0	0	0	2	2	0	0	15	9	5	1
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	3	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0
	4	0	0	0	0	1	1	0	0	4	3	1	0
	5	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		1378	1179	113	86	786	592	153	41	17776	15799	1721	256
(前年)		2564	2304	235	25	2329	1980	270	23	2433	1295	1045	93
(平年*)		908	813	77	18	1087	908	150	22	2092	1312	712	67
初飛来日		-	4/25	4/12	6/25	-	4/25	5/10	7/3	-	4/25	4/24	4/25
連続飛来日		-	5/6	6/16	7/23	-	5/5	6/17	8/5	-	4/25	4/24	6/22
光源		60W白色電球			60W白色電球				20W青色蛍光灯				

特記事項：

<注意報>

第2号：果樹カメムシ類（令和4年5月31日）

<防除技術情報>

第4号：果樹カメムシ類のトラップ誘殺数の増加について（令和4年7月7日）

(予察灯 (ライトトラップ))

月	半月	松前町大間				久万高原町入野				西予市宇和町山田				宇和島市吉田町立間			
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャ バネ アオ カメ ムシ	ツヤ アオ カメ ムシ	クサ ギカ メム シ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0
	3	1	0	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	4	1	2	1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	13	5	8	0
	6	4	2	2	0	0	0	0	0	15	15	0	0	43	30	13	0
5月	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	2	2	1	1	0	0	0	0	25	25	0	0	6	5	1	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	39	39	0	0	13	5	8	0	
	4	1	1	0	0	0	0	0	3	2	1	0	3	2	1	0	
	5	2	2	0	0	0	0	0	32	32	0	0	25	22	3	0	
	6	4	3	1	0	0	0	0	50	48	2	0	12	7	3	2	
6月	1	3	3	0	0	1	1	0	0	15	15	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	2	2	0	0	35	19	16	0	8	0	8	0
	3	3	3	0	0	2	2	0	0	30	25	5	0	3	3	0	0
	4	13	10	3	0	20	8	9	3	295	88	205	2	26	23	2	1
	5	18	11	7	0	57	40	17	0	109	84	22	3	54	52	0	2
	6	42	37	4	1	31	28	1	2	151	123	26	2	10	9	0	1
7月	1	13	11	2	0	74	38	27	9	78	55	21	2	21	16	5	0
	2	9	8	0	1	57	35	6	16	435	381	18	36	22	17	1	4
	3	4	3	0	1	85	73	5	7	159	147	8	4	4	4	0	0
	4	2	2	0	0	358	324	21	13	214	189	5	20	16	11	3	2
	5	8	6	1	1	125	87	20	18	89	79	4	6	25	12	1	12
	6	32	22	4	6	521	392	28	101	99	90	2	7	32	16	2	14
8月	1	24	19	1	4	430	267	19	144	169	149	9	11	50	21	2	27
	2	19	17	0	2	114	89	0	25	138	127	0	11	20	11	0	9
	3	2	2	0	0	108	93	0	15	106	104	0	2	6	4	0	2
	4	1	1	0	0	153	119	6	28	48	46	0	2	24	4	1	19
	5	0	0	0	0	45	28	1	16	17	15	1	1	11	4	0	7
	6	1	1	0	0	27	21	1	5	20	19	0	1	9	5	1	3
9月	1	0	0	0	0	18	15	1	2	28	27	1	0	10	7	0	3
	2	0	0	0	0	11	11	0	0	13	13	0	0	3	2	1	0
	3	0	0	0	0	33	30	0	3	31	30	1	0	15	10	1	4
	4	0	0	0	0	8	8	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	36	27	6	3	2	2	0	0	7	6	0	1
	6	2	0	2	0	28	26	1	1	10	9	1	0	1	1	0	0
10月	1	3	2	1	0	14	9	5	0	4	3	1	0	4	4	0	0
	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	3	2	0	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
総数		220	171	33	16	2361	1774	175	412	2467	2006	351	110	501	320	67	114
(前年)		94	73	19	2	148	96	21	31	4348	3399	861	88	616	396	100	120
(平年*)		73	59	11	3	406	247	45	114	1884	1546	305	33	657	471	89	97
初飛来日		-	4/26	4/14	6/29	-	6/4	6/17	6/16	-	4/26	5/20	6/17	-	4/12	4/12	4/12
連続飛来日		-	6/16	6/16	7/29	-	6/16		6/16	-	4/26	6/15	6/24	-	4/25	4/25	7/20
光源		60W白色電球				60W白色電球				60W白色電球				20W青色蛍光灯			

特記事項：

<注意報>

第2号：果樹カメムシ類（令和4年5月31日）

<防除技術情報>

第4号：果樹カメムシ類のトラップ誘殺数の増加について（令和4年7月7日）

(予察灯 (ライトトラップ)) 令和4年

月	半旬	鬼北町興野々				愛南町御荘長月			
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	8	7	1	0	12	4	8	0
	4	1	1	0	0	1	0	1	0
	5	73	41	32	0	15	4	11	0
	6	999	889	107	3	31	7	24	0
5月	1	35	27	8	0	0	0	0	0
	2	248	218	30	0	-	-	-	-
	3	149	144	5	0	15	6	9	0
	4	56	43	13	0	2	0	2	0
	5	544	519	25	0	43	12	31	0
	6	222	209	12	1	28	12	16	0
6月	1	187	182	5	0	4	0	4	0
	2	296	280	15	1	14	3	11	0
	3	109	101	6	2	8	6	0	2
	4	1196	1098	83	15	104	49	53	2
	5	990	868	96	26	113	76	34	3
	6	834	772	24	38	-	-	-	-
7月	1	707	682	18	7	59	30	24	5
	2	793	722	32	39	61	37	15	9
	3	240	216	8	16	23	19	0	4
	4	746	613	28	105	22	15	1	6
	5	378	310	9	59	24	9	3	12
	6	1362	1171	60	131	51	23	10	18
8月	1	1066	798	17	251	-	-	-	-
	2	714	602	6	106	-	-	-	-
	3	467	420	0	47	24	19	0	5
	4	453	385	3	65	60	49	3	8
	5	112	99	4	9	28	18	4	6
	6	126	118	4	4	22	16	2	4
9月	1	73	68	4	1	20	19	1	0
	2	55	53	0	2	4	3	0	1
	3	143	140	3	0	10	9	1	0
	4	48	44	3	1	-	-	-	-
	5	104	91	13	0	-	-	-	-
	6	81	62	19	0	-	-	-	-
10月	1	27	25	1	1	-	-	-	-
	2	8	2	6	0	-	-	-	-
	3	1	0	1	0	-	-	-	-
	4	7	3	4	0	-	-	-	-
	5	0	0	0	0	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-
総数		13658	12023	705	930	798	445	268	85
(前年)		13393	10089	2706	598	2024	1240	633	151
(平年*)		14475	10078	3823	575	2376	849	1435	92
初飛来日	-	4/12	4/12	4/27	-	4/12	4/11	6/15	
連続飛来日	-	4/12	4/23	6/15	-	4/25	4/11	7/6	
光源		20W青色蛍光灯			60W白色電球				

特記事項：

<注意報>

第2号：果樹カメムシ類（令和4年5月31日）

<防除技術情報>

第4号：果樹カメムシ類のトラップ誘殺数の増加について（令和4年7月7日）

②集合フェロモントラップ 令和4年

(捕獲成虫数/半旬)

月	半旬	西条市丹原町高松				松山市上難波(農研内)				松山市下伊台(果研内)			
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ
4月	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	7	5	0	2	1	0	0	1
	3	0	0	0	0	12	10	1	1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	10	9	0	1	1	1	0	0
	5	37	36	1	0	22	16	6	0	0	0	0	0
	6	20	18	2	0	24	22	2	0	4	3	0	1
5月	1	87	86	0	1	46	40	6	0	2	2	0	0
	2	94	92	1	1	220	173	42	5	31	30	1	0
	3	8	8	0	0	49	18	31	0	3	2	0	1
	4	112	110	2	0	63	28	31	4	13	11	1	1
	5	180	178	1	1	191	140	46	5	17	16	1	0
	6	251	249	1	1	216	120	91	5	11	11	0	0
6月	1	61	60	1	0	247	191	52	4	14	12	1	1
	2	85	84	1	0	93	76	17	0	8	6	1	1
	3	24	24	0	0	86	73	13	0	19	17	0	2
	4	279	278	1	0	249	234	14	1	57	57	0	0
	5	334	333	0	1	187	182	5	0	143	143	0	0
	6	249	247	0	2	300	294	5	1	92	92	0	0
7月	1	342	341	0	1	475	464	7	4	92	92	0	0
	2	526	523	1	2	428	423	4	1	98	97	0	1
	3	629	626	2	1	352	349	1	2	54	53	1	0
	4	1133	1127	3	3	547	540	5	2	74	73	1	0
	5	1807	1805	1	1	376	372	2	2	77	76	1	0
	6	1572	1572	0	0	898	894	3	1	411	408	1	2
8月	1	1116	1112	1	3	1252	1245	4	3	357	353	1	3
	2	1210	1204	3	3	424	423	0	1	55	54	0	1
	3	1065	1061	2	2	184	182	1	1	32	32	0	0
	4	300	294	6	0	112	112	0	0	4	4	0	0
	5	185	183	2	0	53	52	0	1	2	2	0	0
	6	119	118	1	0	11	11	0	0	4	4	0	0
9月	1	16	16	0	0	23	23	0	0	6	6	0	0
	2	24	22	2	0	18	18	0	0	9	9	0	0
	3	32	28	4	0	4	4	0	0	12	12	0	0
	4	2	2	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0
	5	2	2	0	0	3	3	0	0	3	1	2	0
	6	11	10	1	0	2	2	0	0	8	7	1	0
10月	1	16	15	1	0	0	0	0	0	6	5	1	0
	2	4	3	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	3	11	9	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0
	4	9	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		11952	11884	44	24	7190	6752	389	49	1723	1693	15	15
(前年)		430	399	29	2	1331	1163	142	26	215	176	31	8
(平年*)		2989	2944	39	6	2238	2104	116	18	1529	1432	74	23
設置場所		果樹地帯				庁舎敷地(水田野菜地帯)				果樹地帯			

特記事項:

<注意報>

第2号: 果樹カメムシ類(令和4年5月31日)

<防除技術情報>

第4号: 果樹カメムシ類のトラップ誘殺数の増加について(令和4年7月7日)

(集合フェロモントラップ)

月	半月	宇和島市吉田町立間				鬼北町興野々			
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ
4月	1	3	2	1	0	7	6	0	1
	2	6	6	0	0	18	13	3	2
	3	9	9	0	0	31	26	4	1
	4	6	6	0	0	30	27	2	1
	5	7	7	0	0	8	8	0	0
	6	4	4	0	0	24	21	3	0
5月	1	1	1	0	0	13	12	0	1
	2	10	9	0	1	8	7	1	0
	3	1	1	0	0	11	8	3	0
	4	11	9	0	2	41	32	8	1
	5	27	21	1	5	34	29	4	1
	6	59	42	1	16	22	19	2	1
6月	1	30	28	0	2	50	47	2	1
	2	38	37	0	1	53	47	4	2
	3	61	57	1	3	187	168	18	1
	4	77	75	0	2	461	418	39	4
	5	76	72	0	4	550	509	36	5
	6	108	103	0	5	471	457	12	2
7月	1	157	152	1	4	691	682	5	4
	2	505	495	0	10	871	843	7	21
	3	305	293	0	12	786	749	6	31
	4	230	217	0	13	589	544	4	41
	5	212	201	0	11	-	-	-	-
	6	237	233	1	3	582	570	1	11
8月	1	309	306	0	3	769	726	6	37
	2	247	246	0	1	1629	1578	9	42
	3	185	184	0	1	930	855	16	59
	4	94	94	0	0	774	743	12	19
	5	66	66	0	0	515	495	12	8
	6	48	45	0	3	114	105	6	3
9月	1	16	16	0	0	36	34	2	0
	2	7	7	0	0	29	20	8	1
	3	5	4	0	1	55	40	15	0
	4	2	2	0	0	2	2	0	0
	5	0	0	0	0	15	8	6	1
	6	2	2	0	0	70	45	24	1
10月	1	12	12	0	0	73	51	18	4
	2	6	4	2	0	3	3	0	0
	3	7	3	3	1	30	18	12	0
	4	3	2	1	0	9	7	2	0
	5	0	0	0	0	3	3	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		3189	3073	12	104	10594	9975	312	307
(前年)		342	314	21	7	1828	1485	263	80
(平年*)		1914	1845	25	45	4959	4269	616	74
設置場所		果樹地帯				果樹地帯			

注) 各地点とも、
 ○トラップはコガネコールマ
 ダラコール用誘引器。
 ○誘引源はチャバネアオカメ
 ムシ集合フェロモン剤。
 ○基準調査期間は、4月～10
 月。
 ○平年値は10か年平均。

特記事項：

<注意報>

第2号：果樹カメムシ類（令和4年5月31日）

<防除技術情報>

第4号：果樹カメムシ類のトラップ誘殺数の増加について（令和4年7月7日）

5) 性フェロモントラップ等による野菜等害虫の発消長調査

①性フェロモントラップによるチョウ目害虫 令和4年

(各使用トラップ：SEトラップ) (捕獲雄成虫数/半旬)

月	半旬	ハスモンヨトウ							シロイチモジヨトウ				
		四国中央市中之庄町	西条市丹原町池田	松山市上難波(農研)	伊予市下三谷	大洲市五郎	西予市宇和町清沢	愛南町御荘長月	西条市丹原町願連寺	松山市上難波(農研)	伊予市下三谷	大洲市東大洲	愛南町御荘長月
4月	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	2	0	1	1	1	1	0	3	6	0	2	0	0
	3	0	0	0	1	0	0	2	2	0	3	1	0
	4	0	1	0	0	1	0	1	2	0	2	1	0
	5	0	2	1	2	3	1	1	0	1	2	0	0
	6	0	4	4	4	4	0	11	0	0	3	0	0
5月	1	0	2	4	3	4	2	12	2	0	1	0	0
	2	1	3	1	8	6	5	15	3	1	3	1	0
	3	3	3	5	6	6	4	22	3	2	3	1	0
	4	2	7	8	15	4	2	35	7	1	3	1	0
	5	1	7	8	12	3	6	24	10	1	8	0	0
	6	8	13	1	12	6	2	12	24	13	27	0	0
6月	1	10	5	3	9	3	4	9	33	8	40	0	0
	2	13	22	6	12	16	13	31	67	10	30	1	1
	3	14	19	2	6	9	11	29	52	18	37	2	1
	4	11	18	1	0	9	11	19	38	14	38	3	1
	5	16	11	10	0	14	12	13	42	26	20	2	0
	6	51	15	5	0	19	16	11	30	20	26	1	0
7月	1	37	12	9	0	8	14	18	57	18	50	9	1
	2	42	20	9	2	9	8	7	73	43	74	7	1
	3	7	33	10	17	10	9	8	126	68	81	6	0
	4	21	40	6	40	12	12	15	128	62	68	6	0
	5	19	36	16	39	14	13	25	45	38	58	8	1
	6	38	41	16	36	21	19	19	66	56	59	4	2
8月	1	18	49	3	47	12	21	15	37	37	26	3	0
	2	46	43	3	52	10	17	10	48	41	44	0	0
	3	26	47	3	53	12	14	34	65	39	55	2	0
	4	58	88	17	55	18	24	38	90	96	51	9	3
	5	62	118	6	55	18	26	37	65	91	55	3	0
	6	146	139	53	65	14	36	50	146	107	95	5	1
9月	1	224	141	26	71	34	53	51	145	92	40	8	1
	2	118	95	12	46	21	47	41	128	60	57	5	4
	3	74	128	17	77	17	15	49	121	111	89	9	5
	4	319	417	192	263	174	244	554	130	247	130	18	16
	5	332	236	96	108	65	112	271	125	176	74	1	5
	6	138	233	125	64	59	144	166	88	99	48	1	2
10月	1	284	318	136	66	47	116	168	70	61	35	5	1
	2	377	400	167	87	50	131	350	45	42	50	3	2
	3	218	405	133	62	44	80	154	33	33	21	1	3
	4	273	443	68	48	40	53	171	26	15	15	0	1
	5	329	406	23	38	41	40	160	32	7	18	0	0
	6	206	299	66	42	40	65	109	37	13	8	0	0
11月	1	158	160	27	36	29	32	130	5	11	8	0	1
	2	256	177	41	32	38	16	144	7	18	5	0	1
	3	159	178	47	27	47	40	148	9	28	2	2	1
	4	132	146	76	30	46	39	147	9	82	6	1	1
	5	107	127	97	35	47	56	188	7	60	10	0	1
	6	171	122	108	31	39	46	155	5	48	8	0	1
総数		4525	5230	1668	1715	1144	1631	3683	2290	2014	1588	130	58
前年値		4376	3386	2156	1663	2079	918	2573	2061	965	914	151	232
平年値*		4317	3245	1682	2160	2716	1517	3976	620	669	713	244	160
初飛来半旬	5月第2	4月第2	4月第2	4月第2	4月第2	4月第2	4月第5	4月第1	4月第1	4月第5	4月第2	4月第3	6月第2
前年	5月第1	4月第2	4月第1	4月第4	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第2	4月第1	4月第4	5月第3	5月第3
平年*	5月第4	4月第4	4月第3	4月第4	4月第1	5月第2	4月第1	5月第1	4月第5	4月第2	5月第2	4月第6	
設置場所	庁舎敷地	庁舎敷地(水田野菜地帯)	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	雨よけアスファ横	圃場	圃場	圃場	圃場

*平年：10年平均 *基準調査日は、11月末まで。

(各使用トラップ：SEトラップ) (捕獲雄成虫数/半旬)

月	半旬	オオタバコガ					タバコガ	ヨトウガ	カブラナガ	コナガ		ニカメイガ
		西条市 丹原町 池田	松山市 上難波 (農研)	松前町 大間	久万高 原町入 野	大洲市 東大洲	松山市 上難波 (農研)	松山市 上難波 (農研)	松山市 上難波 (農研)	松山市 上難波 (農研)	大洲市 東大洲	松山市 上難波 (農研)
4月	1	0	0	0	0	0	0	7	48	1	0	0
	2	0	0	13	0	1	0	2	28	3	1	0
	3	1	0	30	0	0	0	1	33	4	0	0
	4	2	0	35	0	1	0	3	43	2	0	0
	5	6	0	15	1	2	0	2	32	0	0	0
	6	4	1	-	1	0	0	2	38	0	0	0
5月	1	1	0	-	1	2	0	4	43	0	3	0
	2	1	1	25	0	5	0	7	33	0	0	0
	3	1	0	36	0	12	0	4	34	0	2	0
	4	3	0	28	1	1	0	1	17	0	1	0
	5	3	0	17	0	0	0	0	8	1	0	0
	6	0	0	16	0	0	0	1	11	1	0	0
6月	1	0	0	7	1	1	0	0	13	3	0	0
	2	1	0	8	0	4	0	0	17	2	1	0
	3	6	0	16	1	4	0	0	26	0	1	0
	4	12	0	34	1	9	0	0	39	0	0	0
	5	26	0	67	3	8	0	0	42	2	0	0
	6	10	0	53	3	6	0	0	51	3	1	0
7月	1	6	11	52	2	6	0	0	30	7	0	0
	2	3	0	55	2	2	0	0	13	0	0	0
	3	7	0	54	2	1	1	0	12	0	1	0
	4	26	0	51	0	4	0	0	4	0	0	0
	5	41	0	39	0	6	0	0	3	0	0	0
	6	40	1	48	5	3	0	0	0	0	0	0
8月	1	33	1	50	2	4	1	0	2	0	0	0
	2	31	1	43	1	0	0	0	5	0	0	0
	3	36	0	37	1	0	0	0	2	1	0	0
	4	59	0	40	1	2	0	0	2	0	0	0
	5	53	0	33	0	1	3	0	2	0	1	0
	6	75	0	44	0	0	1	0	0	0	0	0
9月	1	39	4	54	6	5	2	0	6	0	0	0
	2	54	1	57	6	20	1	1	9	1	0	0
	3	68	0	53	4	4	2	1	12	2	0	0
	4	51	3	52	18	22	0	11	14	4	0	0
	5	64	5	52	7	4	1	8	24	3	0	0
	6	71	2	56	4	5	0	4	25	0	0	0
10月	1	70	1	58	5	2	0	1	19	1	0	0
	2	45	3	55	12	4	0	21	20	3	1	0
	3	38	3	50	4	3	0	13	14	1	0	0
	4	51	4	53	1	2	0	4	10	2	0	0
	5	65	2	55	1	3	0	2	7	7	2	0
	6	61	5	56	0	1	1	1	12	12	2	0
11月	1	48	2	47	0	5	0	0	8	7	0	0
	2	42	0	42	0	3	0	0	9	6	0	0
	3	40	1	35	0	8	0	1	4	4	1	0
	4	35	1	30	1	8	1	0	8	7	0	0
	5	14	0	26	0	3	0	0	6	6	1	0
	6	6	0	25	0	0	0	0	8	10	0	0
総数		1349	53	1802	98	187	14	102	846	106	19	0
前年値		804	154	1852	61	217	34	168	965	44	88	1
平年値*		690	106	1574	26	551	11	203	890	43	92	30
初飛来半旬		4月第3	4月第6	4月第2	4月第5	4月第2	7月第3	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第2
前年		4月第1	4月第2	4月第1	4月第1	4月第1	8月第3	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	7月第1
平年*		4月第3	6月第2	4月第1	6月第2	4月第3	7月第4	4月第1	4月第1	4月第2	4月第2	6月第2
設置場所		庁舎敷地 (水田・ 野菜地 帯)	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場

*平年：10か年平均 *基準調査日は、11月末まで。

②黄色粘着シートによる有翅アブラムシ類

令和4年

月	半旬	アブラムシ類		
		西条市 丹原町 池田	松山市 上難波 (農研)	大洲市 東大洲
4月	1	0	1	-
	2	4	11	-
	3	7	20	-
	4	9	24	-
	5	4	17	-
	6	6	12	-
5月	1	5	12	-
	2	3	12	-
	3	4	5	-
	4	2	9	-
	5	3	16	-
	6	3	32	-
6月	1	0	17	-
	2	1	5	-
	3	2	5	-
	4	3	5	11
	5	1	5	9
	6	0	5	4
7月	1	0	1	3
	2	0	1	4
	3	1	1	4
	4	1	2	8
	5	1	1	11
	6	1	1	13
8月	1	1	6	18
	2	0	3	27
	3	0	5	40
	4	0	9	47
	5	2	6	70
	6	8	14	79
9月	1	7	14	82
	2	3	7	48
	3	7	8	66
	4	0	1	32
	5	2	2	3
	6	2	7	6
10月	1	1	4	8
	2	0	4	8
	3	0	2	7
	4	0	4	17
	5	1	10	17
	6	4	-	28
11月	1	7	26	47
	2	23	33	101
	3	41	48	73
	4	65	46	72
	5	70	55	99
	6	70	44	85
総数		375	578	1147
前年値		277	793	591
平年値*		390	353	928
初飛来半旬		4月第2	4月第1	
前年		4月第1	4月第1	4月第1
平年*		4月第1	4月第1	4月第1
設置場所		庁舎敷地 (水田・ 野菜地 帯)	圃場	圃場

黄色粘着シートの大きさ、
20×10cm

*平年：10か年平均 *基準調査日は、11月末まで。

9 病虫害発生予察速報（稲・果樹・野菜共通）

令和4年度

番号	病虫害名	作物名等	発生場所	発見月日	前年月日	前年比較
1	セジロウンカ	水稻（予察灯）	西条市西泉	6月23日	6月8日	+15
2	セジロウンカ	水稻（予察灯）	松山市上難波	6月26日	6月26日	+0
3	セジロウンカ	水稻（予察灯）	松前町大間	6月25日	7月3日	-8
4	セジロウンカ	水稻（予察灯）	久万高原町入野	7月3日	7月11日	-8
5	セジロウンカ	水稻（予察灯）	西予市宇和町山田	8月12日	7月6日	+36
6	セジロウンカ	水稻（予察灯）	愛南町御荘長月	7月8日	7月9日	-1
7	トビイロウンカ	水稻（予察灯）	西条市西泉	9月10日	1月0日	-
8	トビイロウンカ	水稻（予察灯）	松前町大間	9月11日	8月11日	+30
9	トビイロウンカ	水稻（予察灯）	久万高原町入野	9月22日	-	-
10	トビイロウンカ	水稻（予察灯）	西予市宇和町山田	8月11日	-	-
11	トビイロウンカ	水稻（予察灯）	愛南町御荘長月	7月19日	-	-
12	チャバネアオカメムシ	予察灯	西条市西泉	4月25日	5月14日	-19
13	チャバネアオカメムシ	予察灯	松山市上難波	4月25日	4月28日	-3
14	チャバネアオカメムシ	予察灯	松前町大間	4月26日	8月17日	-111
15	チャバネアオカメムシ	予察灯	久万高原町入野	6月4日	5月14日	+20
16	チャバネアオカメムシ	予察灯	西予市宇和町山田	4月26日	5月14日	-18
17	チャバネアオカメムシ	予察灯	愛南町御荘長月	4月12日	5月9日	-27
18	チャバネアオカメムシ	果樹（予察灯：青色）	松山市下伊台	4月25日	5月11日	-16
19	チャバネアオカメムシ	果樹（予察灯：青色）	宇和島市吉田町立間	4月12日	5月14日	-32
20	チャバネアオカメムシ	果樹（予察灯：青色）	鬼北町興野々	4月12日	4月12日	+0
21	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	西条市丹原町高松	04月第5	04月第4	+1半旬
22	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	松山市上難波	04月第2	04月第1	+1半旬
23	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	松山市下伊台	04月第4	04月第4	0半旬
24	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	宇和島市吉田町立間	04月第1	04月第1	0半旬
25	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	鬼北町興野々	04月第1	04月第1	0半旬
26	ツヤアオカメムシ	予察灯	西条市西泉	4月12日	5月16日	-34
27	ツヤアオカメムシ	予察灯	松山市上難波	5月10日	5月14日	-4
28	ツヤアオカメムシ	予察灯	松前町大間	4月14日	9月11日	-147
29	ツヤアオカメムシ	予察灯	久万高原町入野	6月17日	6月4日	+13
30	ツヤアオカメムシ	予察灯	西予市宇和町山田	5月20日	6月13日	-23
31	ツヤアオカメムシ	予察灯	愛南町御荘長月	4月11日	4月2日	+9
32	ツヤアオカメムシ	果樹（予察灯：青色）	松山市下伊台	4月24日	5月8日	-14
33	ツヤアオカメムシ	果樹（予察灯：青色）	宇和島市吉田町立間	4月12日	4月4日	+8
34	ツヤアオカメムシ	果樹（予察灯：青色）	鬼北町興野々	4月12日	4月2日	+10
35	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	西条市丹原町高松	04月第5	05月第3	-4半旬
36	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	松山市上難波	04月第3	04月第4	-1半旬
37	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	松山市下伊台	05月第2	05月第2	0半旬
38	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	宇和島市吉田町立間	04月第1	04月第1	0半旬
39	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	鬼北町興野々	04月第2	04月第1	+1半旬
40	クサギカメムシ	予察灯	西条市西泉	6月25日	8月7日	-42
41	クサギカメムシ	予察灯	松山市上難波	7月3日	-	-
42	クサギカメムシ	予察灯	松前町大間	6月29日	8月25日	-56
43	クサギカメムシ	予察灯	久万高原町入野	6月16日	8月13日	-57
44	クサギカメムシ	予察灯	西予市宇和町山田	6月17日	6月28日	-11
45	クサギカメムシ	予察灯	愛南町御荘長月	6月15日	5月14日	+31
46	クサギカメムシ	果樹（予察灯：青色）	松山市下伊台	4月25日	5月17日	-22
47	クサギカメムシ	果樹（予察灯：青色）	宇和島市吉田町立間	4月12日	7月8日	-86
48	クサギカメムシ	果樹（予察灯：青色）	鬼北町興野々	4月27日	5月16日	-19
49	クサギカメムシ	フェロモントラップ	西条市丹原町高松	05月第1	10月第2	-61半旬
50	クサギカメムシ	フェロモントラップ	松山市上難波	04月第1	04月第1	0半旬
51	クサギカメムシ	フェロモントラップ	松山市下伊台	04月第2	04月第5	-3半旬
52	クサギカメムシ	フェロモントラップ	宇和島市吉田町立間	05月第2	05月第1	+1半旬
53	クサギカメムシ	フェロモントラップ	鬼北町興野々	04月第1	05月第2	-6半旬

番号	病虫害名	作物名等	発生場所	発見 月日	前年 月日	前年 比較
54	ヒメトビウンカ	水稲（予察灯）	西条市西泉	7月1日	6月19日	+12
55	ヒメトビウンカ	水稲（予察灯）	松山市上難波	6月24日	7月1日	-7
56	ヒメトビウンカ	水稲（予察灯）	松前町大間	8月13日	6月8日	+65
57	ヒメトビウンカ	水稲（予察灯）	久万高原町入野	8月20日	-	-
58	ヒメトビウンカ	水稲（予察灯）	西予市宇和町山田	8月13日	8月5日	+8
59	ヒメトビウンカ	水稲（予察灯）	愛南町御荘長月	8月10日	5月17日	+83
60	イネミズゾウムシ	水稲（予察灯）	西条市西泉	7月4日	-	-
61	イネミズゾウムシ	水稲（予察灯）	久万高原町入野	6月27日	5月16日	+41
62	イネミズゾウムシ	水稲（予察灯）	愛南町御荘長月	4月10日	-	-
63	コブノメイガ	水稲（予察灯）	西条市西泉	8月27日	9月9日	-12
64	コブノメイガ	水稲（予察灯）	松前町大間	10月1日	-	-
65	コブノメイガ	水稲（予察灯）	久万高原町入野	10月16日	6月15日	+121
66	コブノメイガ	水稲（予察灯）	西予市宇和町山田	8月28日	-	-
67	コブノメイガ	水稲（予察灯）	愛南町御荘長月	9月6日	-	-

※前年比較：-（マイナス）は前年より早い、+（プラス）は前年より遅い

VI 病虫害防除指導に関すること

(1) 協議会、研修会、病虫害発生調査等の参加状況

東予地域		中予地域		南予地域	
月/日	実施内容（開催地区）	月/日	実施内容（開催地区）	月/日	実施内容（開催地区）
4/11 4/28	たまねぎ病虫害調査（西条市） たまねぎ病虫害調査（西条市）			4/8 4/18 4/19 4/19 4/21 4/22 4/27 4/27 4/28	白ネギ防除指針検討（西予） いちご病虫害調査（西予・大洲・内子） いちご病虫害調査（大洲・内子） いちご病虫害調査（宇和島・鬼北） いちご病虫害調査（西予） 麦類病虫害調査（西予） 麦類病虫害調査（大洲） 西予市水稻防除指針打合せ（西予） いちご病虫害調査（宇和島）
5/17 5/18	種子馬鈴薯圃場検査（今治市） いちご病虫害調査（西条市）	5/17 5/24 5/31	種子馬鈴薯圃場検査（北条） トマト・ピーマン調査打合せ（久万高原） 伊予地区果樹害虫対策会議（伊予市）	5/2 5/6 5/9 5/10 5/10 5/18 5/19 5/24 5/25	麦類病虫害調査（西予） 麦類病虫害調査（大洲） かんきつ害虫調査（八幡浜） 麦類病虫害調査（西予） 西予市水稻防除協議会（西予） いちご病虫害調査（大洲・内子） いちご病虫害調査（大洲・内子） いちご病虫害調査（西予） いちご病虫害調査（西予）

東予地域		中予地域		南予地域	
月/日	実施内容(開催地区)	月/日	実施内容(開催地区)	月/日	実施内容(開催地区)
6/9	ビワキジラミ広域調査(四国中央)	6/7	いちご本圃指針検討会(松山)	6/1	きゅうり病害虫調査(大洲)
6/16	甘長とうがらし炭疽病調査(今治)	6/8	トマト・ピーマン病害虫調査(久万高原)	6/20	いちご病害虫調査(西予)
6/22	いちご病害虫調査(西条)	6/21	トマト・ピーマン病害虫調査(久万高原)	6/21	いちご病害虫調査(大洲・内子・鬼北)
		6/29	水稲病害虫調査(久万高原町)	6/22	いちご病害虫調査(大洲・内子)
				6/23	いちご病害虫調査(西予)
				6/24	大洲喜多技連果樹部会(大洲)
				6/29	水稲病害虫調査(宇和島・鬼北)
7/14	水稲病害虫調査(今治)	7/6	麦栽培指針検討会(松山)	7/12	水稲病害虫調査(大洲・内子)
7/14	水稲病害虫調査(西条)	7/8	ナス病害虫調査(松山)	7/14	いちご病害虫調査(西予)
7/28	水稲病害虫調査(今治)	7/11	ピーマン・トマト病害虫調査(久万高原)	7/15	いちご病害虫調査(大洲・内子)
		7/15	水稲病害虫発生調査(久万高原)	7/19	いちご病害虫調査(宇和島・鬼北)
		7/19	水稲病害虫研修会(松山)	7/22	水稲病害虫調査(宇和島)
		7/22	水稲病害虫発生調査(伊予・東温)	7/25	北宇和技連果樹部会(宇和島)
		7/25	いちご病害虫調査(久万高原)	7/27	水稲病害虫調査(西予)
		7/28	水稲病害虫調査(久万高原)	7/29	水稲病害虫調査(大洲・内子)
				7/29	みかん害虫防除対策会議(大洲)
8/1	いちご病害虫調査(西条)	8/2	水稲病害虫調査(伊予・東温)	8/4	いちご防除指針検討(西予)
8/4	水稲病害虫発生調査(今治)	8/8	水稲病害虫調査(久万高原)	8/17	いちご病害虫調査(西予)
8/5	水稲病害虫発生調査(四国中央)	8/19	水稲害虫発生調査(久万高原)	8/18	いちご病害虫調査(西予)
8/8	いちご病害虫調査(西条)	8/23	水稲病害虫調査(久万高原)	8/19	水稲病害虫調査(愛南)
8/18	水稲病害虫発生調査(今治)	8/24	水稲害虫発生調査(松山)	8/23	水稲病害虫調査(大洲・内子)
8/26	水稲病害虫調査(西条)	8/30	水稲病害虫発生調査(伊予・東温)	8/24	水稲病害虫調査(鬼北・宇和島)
				8/25	八西技連果樹部会(八幡浜)

東予地域		中予地域		南予地域	
月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)
				8/31	水稲病害虫調査 (西予)
9/1 9/2 9/5 9/29	水稲病害虫発生調査 (今治) 水稲病害虫調査 (四国中央) 甘長トウガラシ病害虫調査 (今治) サトイモ疫病発生調査 (四国中央)	9/8 9/9 9/12 9/14 9/15 9/27	水稲病害虫発生調査 (松山) 水稲病害虫発生調査 (伊予・東温) かんきつ害虫発生調査 (伊予) かんきつ害虫発生調査 (伊予) かんきつ害虫発生調査 (砥部) 麦作技術向上研修会 (松山)	9/22 9/28	大豆病害虫調査 (西予) かんきつ害虫調査 (大洲)
10/25	ミニトマト病害虫調査 (今治)	10/6 10/11 10/12 10/14 10/27	JA えひめ中央病害虫防除指導 (松山) かんきつ害虫発生調査 (砥部) かんきつ害虫発生調査 (伊予) かんきつ害虫発生調査 (伊予) 水稲防除指針検討会 (久万高原)	10/18 10/19 10/20 10/21 10/24 10/27 10/31	いちご病害虫調査 (鬼北) いちご病害虫調査 (宇和島) かんきつ害虫調査 (大洲) かんきつ害虫調査 (大洲) いちご病害虫調査 (大洲・内子) いちご病害虫調査 (西予) かんきつ害虫調査 (宇和島・愛南)
11/8 11/10 11/11	東予地区サトイモ技術協議会 (西条) JA 越智今治水稲指針検討会 (今治) JA 越智今治果樹指針検討会 (今治)	11/29	愛媛県粒剤農薬研究会 (松山)	11/9 11/10 11/14 11/18 11/24 11/29	かんきつ害虫調査 (西予) かんきつ害虫調査・対策打合せ (西予) かんきつ害虫対策打合せ (西予) かんきつ害虫調査・対策打合せ (西予) JA 東宇和かんきつ防除指針検討会 (西予) 愛媛県粒剤農薬研究会 (松山)

東予地域		中予地域		南予地域	
月/日	実施内容（開催地区）	月/日	実施内容（開催地区）	月/日	実施内容（開催地区）
12/6 12/9	いちご病害虫調査（東温）	12/21	伊予市双海地区柑橘放任園害虫対策会議（伊予）	12/2 12/5 12/8 12/15 12/20 12/27	かんきつ害虫対策検討会（西予） 大洲喜多技連果樹 西予市水稻防除協議会（西予） いちご病害虫調査（宇和島） JA 東宇和果樹指針検討会（西予） 大洲喜多技連野菜部会指針検討会（大洲）
1/23 1/24 1/26	たまねぎ白色疫病・べと病調査（今治） 東予園芸果樹指針検討会（西条） たまねぎ白色疫病・べと病調査（西条）	1/13 1/16 1/23 1/25	いちご病害虫調査（東温） いちご病害虫調査（松前） たまねぎ白色疫病・べと病調査（松山） たまねぎ白色疫病・べと病調査（松前）	1/18 1/19 1/20 1/31	たまねぎ白色疫病・べと病調査（西予） いちご病害虫調査（西予） いちご病害虫調査（西予） かんきつ害虫対策協議会（西予）
		2/6	かんきつかいよう病調査（松山）	2/14 2/20	たまねぎ白色疫病・べと病調査（西予） いちご病害虫調査（西予）
3/16 3/22	周桑きゅうり部会講習会（西条） カキ炭疽病越冬病斑調査（西条）	3/2 3/15	JA 果樹技術指導員会（松山） JA 果樹技術指導員会病害虫研究部会（松山）	3/8 3/14 3/15 3/16 3/17 3/23	カキ炭疽病越冬病斑調査（内子） いちご病害虫調査（大洲） たまねぎ白色疫病・べと病調査（西予） いちご病害虫調査（大洲・内子） いちご病害虫調査（西予） いちご病害虫調査（西予）

2 病害虫等診断件数

月	県関係機関	農協（団体）	農家・一般	その他	月計
4	17	15	12	1	45
5	44	15	17	0	76
6	55	29	15	2	101
7	44	36	13	0	93
8	33	27	16	3	79
9	32	21	19	1	73
10	27	22	11	0	60
11	18	10	6	1	35
12	7	4	3	0	14
1	10	8	5	0	23
2	11	2	5	3	21
3	24	15	3	1	43
合計	322	204	125	12	663

1) 数値は、電話等による相談、サンプルを現場で、または所内持ち込みによる診断受付件数

VII 植物防疫関係調査成績

1 重要病害虫侵入警戒調査

国内への侵入・定着が警戒される各重要病害虫について、侵入警戒調査を実施した。

1) ウリミバエ、ミカンコミバエ種群及びチチュウカイミバエ

県下 21 地点に誘引トラップを設置し、4 月～11 月にかけて調査を実施した。

調査結果：各地点ともに、調査対象となるミバエ類の誘殺は認められなかった。

地域	設置場所	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
東予 (5)	四国中央市松柏	0	0	0	0	0	0	0	0
	西条市丹原町高松	0	0	0	0	0	0	0	0
	今治市大三島町宗方	0	0	0	0	0	0	0	0
	今治市大西町山之内	0	0	0	0	0	0	0	0
	今治市菊間町西山	0	0	0	0	0	0	0	0
中予 (9)	松山市上難波	0	0	0	0	0	0	0	0
	松山市粟井	0	0	0	0	0	0	0	0
	松山市菅次	0	0	0	0	0	0	0	0
	松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊予市下三谷	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊予市宮下	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊予市下難	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊予市上灘	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0	0	0	0	0	
南予 (7)	喜多郡内子町五十崎	0	0	0	0	0	0	0	0
	大洲市長浜町沖浦	0	0	0	0	0	0	0	0
	八幡浜市舌間	0	0	0	0	0	0	0	0
	八幡浜市川名津	0	0	0	0	0	0	0	0
	宇和島市吉田町玉津	0	0	0	0	0	0	0	0
	宇和島市高串	0	0	0	0	0	0	0	0
	南宇和郡愛南町緑	0	0	0	0	0	0	0	0

誘引剤：

- ①メドフライコール 45% (チチュウカイミバエ対象)
- ②ユーゲルア D 8 (ウリミバエ・ミカンコミバエ種群対象)

2) ウメ輪紋ウイルス (PPV)

県内への侵入警戒のためウメ、モモ等の果樹生産地域、観光園地等での発生調査を実施した。令和 4 年度は 10 市町 16 地点の調査を実施した。

調査結果：各地点ともに、ウメ輪紋病の発生は認められなかった。

調査市町	生産地域等	観光園地	発病の有無
西条市	ウメ (2)	ウメ (1)	発病なし
今治市	-	ウメ (2)	発病なし
松山市	-	ウメ (2)	発病なし
久万高原町	-	ハナモモ (1)	発病なし
砥部町	ウメ (2)	-	発病なし
大洲市	-	ウメ (1)	発病なし
宇和島市	-	ウメ (1)	発病なし
内子町	-	ウメ (1)	発病なし
松野町	モモ (2)		発病なし
愛南町	-	ウメ (1)	発病なし
計	6 か所	10 か所	

3) アリモドキゾウムシ

誘引剤を利用したトラップにより、2地点のサツマイモ圃場で調査を実施した。
調査結果：アリモドキゾウムシの発生は認められなかった。

設置場所	5月	6月	7月	8月	9月	10月
西条市上市	0	0	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	0	0	0

誘引剤：スイートビルア剤

4) イモゾウムシ

目視により、2地点のサツマイモ圃場で調査を実施した。
調査結果：イモゾウムシの発生は認められなかった。

設置場所	5月	6月	7月	8月	9月	10月
西条市上市	0	0	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	0	0	0

5) カンキツグリーンング病（ミカンキジラミ）

目視により、21地点のカンキツ園で調査を実施した。
調査結果：各地点ともに、カンキツグリーンング病及びミカンキジラミの発生は認められなかった。

地域	設置場所	4月	6月	9月
東予 (5)	四国中央市松柏	0	0	0
	西条市丹原町高松	0	0	0
	今治市大三島町宗方	0	0	0

	今治市大西町山之内	0	0	0
	今治市菊間町西山	0	0	0
中予 (9)	松山市上難波	0	0	0
	松山市栗井	0	0	0
	松山市菅沢	0	0	0
	松山市庄	0	0	0
	伊予市下三谷	0	0	0
	伊予市宮下	0	0	0
	伊予市下難	0	0	0
	伊予市上灘	0	0	0
	砥部町大南	0	0	0
南予 (7)	喜多郡内子町五十崎	0	0	0
	大洲市長浜町沖浦	0	0	0
	八幡浜市舌間	0	0	0
	八幡浜市川名津	0	0	0
	宇和島市吉田町玉津	0	0	0
	宇和島市高串	0	0	0
	南宇和郡愛南町緑	0	0	0

6) トマトキバガ

フェロモントラップにより、12地点のトマト・ミニトマト圃場で調査を実施した。

調査結果：4市町の計5地点でトマトキバガの発生が確認された。

調査場所：今治市、松山市、松前町、伊予市、久万高原町、大洲市

設置場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
今治市	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
松山市①	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0
松山市②	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-
久万高原町①	-	-	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-
久万高原町②	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
松前町①	0	0	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
松前町②	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
松前町③	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0
伊予市①	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊予市②	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	4
大洲市①	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
大洲市②	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0

2 中四国防除所職員等協議会発表要旨

作物名	水稻	県名	愛媛県	所属	愛媛県病害虫防除所南予駐在
調査・研究課題名			担当者	松崎幸弘・黒田剛・篠崎毅・ 中村篤史・小川翔也	
愛媛県におけるイネカメムシの発生状況					

1. 目的

イネカメムシは、以前から県内でも発生していたが、局所的であり目立った発生事例は知られていなかったが、近年は防除所が行う巡回調査等において本虫の発生量が急増する状況にある。他県においては、吸汁害による不稔で青立ちを多数生じさせる等の被害が報告されており、今後は愛媛県内でも同様の被害発生が懸念されるため、県内におけるイネカメムシの発生状況を明らかにする。

2. 調査(試験)方法

予察灯での成虫の誘殺状況、圃場での捕獲状況を巡回調査から明らかにした。予察灯の調査対象は、イネカメムシの記録をとりはじめた全県の2021年以降とした。巡回調査の調査対象は2009年以降の南予地域の毎月中旬調査とした。

1) 予察灯による成虫の誘殺状況

調査地点：西条市西泉、松前町大間、久万高原町入野、西予市宇和町山田、愛南町御荘長月
誘引光源：60w 白熱電球

2) 巡回調査の発生状況

調査方法：本田内捕虫網 20 回すくい取り

調査回数：月 1 回（各月の中旬）

対象月：出穂期以降にあたる 7 月～8 月

対象作型：早期・早植え（移植時期：4～5月）、短期・普通期（移植時期：6月）。

3. 結果の概要

1) 予察灯の誘殺は7月から9月にみられた。

2) 予察灯の誘殺数は地点によって大きな偏りがあり、愛南町御荘長月における誘殺数の全体に占める割合は、2021年は87%、2022年は78%となった。

3) 予察灯の誘殺数ピークは、2021年は7月第3半旬、第4半旬、8月第5半旬に、2022年は7月第3半旬、8月第3半旬に認められた。

4) 巡回調査においては、2009年から2019年までの11か年では3か年のみ発生が認められていたが、2020年以降の3か年はいずれも発生が認められた。

5) 巡回調査における年間捕獲頭数は、2019年までの3か年は5頭未満であったが、2020年以降は5頭以上で、年次を経るごとに増加し、2022年には14頭であった。

6) 以上のことから、本県におけるイネカメムシの発生は、一部に大きく偏っているものの、広範囲に誘殺されており、巡回調査においても直近3か年は毎年捕獲され、捕獲頭数も増加しており、従来主要種であるホソハリカメムシ、クモヘリカメムシの捕獲頭数に近づいている。

表1 予察灯におけるイネカメムシ半旬別誘殺数

予察灯 (設置場所)	7月						8月						9月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【2021年】																		
西条市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
松前町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久万高原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
西予市	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	1	1	0	0	0	0
愛南町	0	0	20	20	4	0	0	1	4	6	10	5	2	0	2	0	1	0
【2022年】																		
西条市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
久万高原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
西予市	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	2	3	2	3	4	0	0	0
愛南町	1	2	5	2	0	0	-	-	19	11	18	18	3	7	7	-	-	-

6月以前、10月以降の誘殺はない。(予察灯調査期間4月～10月)

-: 欠測

表2 巡回調査におけるイネカメムシ類と他の主要斑点米カメムシ類の発生状況(南予地域)

調査年月	調査 圃場数	内出穂 圃場数	発生圃場数(捕獲頭数)					
			イネカメムシ	クモヘリ カメムシ	ホソハリ カメムシ	ミナミアオ カメムシ	アカスジ カスミカメ	
2009年	7月	8	5	0	2(2)	2(2)	0	1(1)
	8月	3	1	0	0	0	0	0
	9月	2	2	0	0	0	0	0
2010年	7月	8	5	0	0	0	0	0
	8月	4	4	0	0	0	0	0
	9月	2	2	0	0	0	0	1(2)
2011年	7月	8	0	0	0	0	0	0
	8月	3	1	0	0	0	0	0
	9月	2	2	0	0	0	0	0
2012年	7月	8	4	1(1)	1(5)	1(1)	0	0
	8月	8	6	2(3)	2(5)	1(1)	0	1(1)
	9月	3	3	0	1(7)	0	0	1(3)
2013年	7月	8	4	0	1(3)	1(1)	0	0
	8月	7	5	2(2)	0	1(1)	1(1)	0
	9月	3	3	0	2(3)	0	0	1(6)
2014年	7月	8	3	0	1(4)	2(2)	0	1(1)
	8月	7	5	0	1(1)	0	0	0
	9月	2	2	0	0	0	0	0
2015年	7月	8	4	0	1(8)	0	0	1(1)
	8月	8	5	0	1(3)	2(2)	0	0
	9月	2	2	0	1(1)	0	0	0
2016年	7月	8	0	0	2(5)	2(2)	0	1(1)
	8月	6	3	0	0	1(2)	0	0
	9月	2	2	0	1(3)	1(1)	0	0
2017年	7月	8	2	0	1(19)	2(6)	0	0
	8月	7	4	1(2)	2(5)	1(2)	1(1)	1(2)
	9月	3	3	0	1(3)	0	0	0
2018年	7月	8	1	0	0	0	0	0
	8月	6	3	0	0	2(2)	0	1(2)
	9月	3	3	0	1(4)	0	0	2(7)
2019年	7月	8	3	0	3(5)	0	1(1)	1(1)
	8月	8	5	0	1(7)	1(2)	0	0
	9月	3	3	0	0	0	1(1)	1(21)
2020年	7月	8	5	3(4)	2(55)	2(7)	0	2(3)
	8月	8	5	1(1)	1(2)	0	0	2(2)
	9月	3	3	0	0	0	0	0
2021年	7月	8	3	1(3)	0	1(2)	0	1(5)
	8月	8	5	2(4)	0	0	0	0
	9月	3	3	0	0	0	1(10)	0
2022年	7月	8	5	3(7)	1(1)	3(8)	0	0
	8月	8	5	1(7)	1(6)	2(5)	0	0
	9月	3	3	0	2(2)	0	0	0

3 成績概要書作成

作物名	かんきつ	県名	愛媛県	所属	愛媛県病害虫防除所南予駐在
調査・研究課題名		担当者	黒田 剛・松崎 幸弘		
<p>柑橘栽培地域におけるヒノキ球果を利用した果樹カメムシ類の発生予測の実証</p> <p>協力分担：八幡浜支局地域農業育成室西予農業指導班</p>					

1. 目的

柑橘栽培地域では、9月頃からチャバナアオカメムシやツヤアオカメムシの新成虫による果実吸汁と落果被害が発生する。果樹カメムシ類の発生量及び飛来時期には年次変動があり、防除のタイミングを逃すと大きな被害を受けることがあり、被害を最小限に抑えるためには、果樹カメムシ類の発生量及び飛来時期の予測が重要かつ有効であると考えられる。

そこで、ヒノキ球果を利用した発生予測手法（堤 2003, 2001）の有効性を現地実証する。

2. 調査方法

1) 調査場所：愛媛県西予市明浜町周辺のヒノキ山林

（当地域は周囲をヒノキ・スギ山林に囲まれた地域）

2) 調査項目及び方法

・ヒノキ球果結実量調査（7月）

ヒノキ球果量評価基準（右表）に基づいて調査
（3地点）

・ヒノキ球果サンプル採集

1 地点当たりヒノキ球果約 30 個採集
（採集日：令和4年7月22日）

・ヒノキ球果の口針鞘数調査

採集した球果サンプルを、電子レンジで1分～
1分30秒（600W）加熱し、縫合部分（隙間）を
開き、実体顕微鏡下で計数

・球果からのカメムシ類離脱時期予測（飛来時
期予測）：次式により算出

$$Y = 54.17 - 3.776X + 0.01937X^2 \quad (※)$$

Y：球果採集日から離脱までの日数 X：球果1果当たりの口針鞘数

※堤隆文（2003）おもしろ生態とかしい防ぎ方：果樹カメムシ（農文協）の離脱時期予測式

・防除実施状況調査：農協等の生産組織に聞き取り調査

表 ヒノキ球果量の評価基準（結実達観量）

極少	一部の樹では上部に球果が見られるが、多くの樹では上部にも球果がない。
少	球果が全くない樹も見られるが、多くの樹の上部には球果がある。
やや少	球果が全くない樹も見られるが、多くの樹の上部には球果があり、一部の樹では中央部にも見られる。
中	中央部まで球果が見られる樹が多い。
やや多	多くの樹では中央部までたくさんの球果が見られ、一部は下部にも球果がある。
多	下部まで球果が見られる樹が多い。
極多	ほとんどの樹で下部までたくさんの球果が見られる。

※参考文献：おもしろ生態とかしい防ぎ方 果樹カメムシ（堤隆文：農文協）

3. 結果の概要

1) ヒノキ球果結実量は、各地点とも一部の樹では上部に球果が見られるが、多くの樹では上部にも球果がない状態で、今年の球果量は極少と評価した（表1）。また、球果の結実量が極少の場合、新成虫の発生量も極少とされており、今年の新成虫の発生量は少なく、防除の必要性も低いと予想した。

2) 球果1果当たりの平均口針鞘数は、地点Ⅰ：3.20、地点Ⅱ：2.43、地点Ⅲ：0.30、全平均：1.98であった（表2）。

3) 予測式により果樹カメムシ類の離脱予測時期を算出した結果、地点Ⅰ：9月2日、地点Ⅱ：9月5日、地点Ⅲ：9月13日、全平均：9月7日となった。半旬単位では9月1半旬～3半旬、旬単位では9月上旬～中旬（上旬主体）に飛来する予測結果となった（表3）。

4) 実際の防除の有無及び防除時期について聞き取り調査した結果、園地での発生はほとんどなく、各地区とも防除は実施されなかった（表5）。

5) 過去の調査によると、平成27年は今年と同様に球果量が極少であり、新成虫の発生も少なく、9月の防除は実施されなかった。また、平成29年は、概ね9月2半旬～3半旬に1回目の防除が実施されており、予測式による離脱時期予測結果と半旬単位ではほぼ一致している（表1, 4, 5）。

以上の結果より、柑橘栽培地域におけるヒノキ球果量調査、口針鞘数調査、離脱時期予測式による果樹カメムシ類新成虫の発生予測は、現地で利用できる発生予測手法として有効であると考えられた。



図1 ヒノキ球果



図2 ヒノキ球果の口針鞘

表1 ヒノキ球果の結実量評価結果

調査地点	R4	H29	H28	H27	H26
I	極少	中	少～やや少	極少	多～極多
II	極少	やや少～中	極少	極少	多～極多
III	極少	やや少～中	少	極少	多～極多

※H26～29は、西予農業指導班調査

表2 各調査地点におけるヒノキ球果の口針鞘数

調査地点	1果当たりの口針鞘数(30果調査/地点)										平均
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
I	1	8	0	2	3	0	0	4	1	3	3.20
	0	0	4	5	0	0	7	1	8	6	
	12	5	1	1	0	4	6	3	9	2	
II	1	6	6	6	3	2	5	3	6	2	2.43
	1	1	2	0	4	6	1	0	0	0	
	0	4	1	2	0	4	2	3	2	0	
III	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0.30
	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	
平均											1.98

※1地点当たり3樹程度の球果を採集(採集日:令和4年7月22日)

※調査地点II・IIIは、ヒノキ球果が少なく採集困難であったため、結実量調査地点とは異なる。

表3 予測式による果樹カメムシ類の離脱時期予測(飛来時期予測)

調査地点	球果採集日	口針鞘数(X)	計算値(Y)	日数(Y)	離脱予測日
I	7月22日	3.20	42.3	42	9月2日
II	7月22日	2.43	45.1	45	9月5日
III	7月22日	0.30	53.0	53	9月13日
平均	7月22日	1.98	46.8	47	9月7日

※予測式: $Y=54.17-3.776X+0.01937X^2$ ※離脱予測日=球果採集日+日数(Y)

※口針鞘数(X):各調査地点の30果当たりの平均値 ※日数:回帰式で得られた計算値を四捨五入した数値

表4 年次別離脱予測結果

調査地点	離脱予測日			
	R4	H29	H28	H27
I	9月2日	9月13日	9月10日	9月15日
II	9月5日	9月12日	9月19日	9月11日
III	9月13日	9月10日	9月11日	9月14日
平均	9月7日	9月12日	9月13日	9月12日

※ヒノキ球果採集時期:7月下旬

※調査地点:ヒノキ結実量の年次変動により、年によっては一部変更あり

表5 果樹カメムシ類に対する防除実施状況(スプリンクラー共同防除)

地区名	防除の有無及び初回防除日		
	R4	H29	H27
俵津	防除なし	9月13日	防除なし
渡江	防除なし	9月9日	防除なし
高山	防除なし	9月3・8日	10/16(応急)
宮野浦	防除なし	9月8日	10/19(応急)

※地区名は西予市明浜町内の地区

作物名	野菜類	県名	愛媛県	所属	愛媛県病害虫防除所
調査・研究課題名			担当者	篠崎毅、宮下裕司、中村篤史、小川翔也	
ワタアブラムシに対するネオニコチノイド系殺虫剤の感受性					

1. 目的

愛媛県内の施設栽培の愛媛果試第 28 号園において、ネオニコチノイド系殺虫剤（IRACコード：4A）を散布したにもかかわらず、ワタアブラムシの密度が低下しない事例が確認された。この要因として、薬剤感受性の低下が疑われたため、室内において感受性検定を行うとともに有効な防除薬剤の探索を行った。

2. 調査方法

1) 供試虫

かんきつ個体群：松山市粟井地区 施設栽培愛媛果試第 28 号より採取

露地野菜個体群：松山市難波地区 露地栽培スイカより採取

2) 供試薬剤：表のとおり

表 供試薬剤

RACコード	薬剤名	倍率
4A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000
4A	アドマイヤーフロアブル	2,000
4A	ダントツ水溶剤	2,000
4A	アクタラ顆粒水溶剤	3,000
4A	スタークル顆粒水溶剤	2,000
4C	トランスフォームフロアブル	2,000
21A	ハチハチフロアブル	2,000
9B	コルト顆粒水和剤	4,000
29	ウララ50DF	10,000

3) 試験方法（窪田・武智（2020）の方法を一部改変）

8月24日もしくは9月2日に、皮ポンチで直径50mmにくり抜いたインゲン葉またはナス葉を各薬液に10秒間浸漬し、風乾後1%寒天（クリスタルバイオレット添加）を流し込んだ直径50mmの小型容器（SPL-310050）内に静置しリーフディスクとした（各薬剤3反復）。現地より持ち帰ったワタアブラムシ無翅胎生雌成虫をリーフディスク上に10頭乗せ、通気口を有した蓋を被せ、蓋と容器の部分はパラフィルムで封をした。25℃・長日条件（16L8D）で保存し、処理72時間後に実体顕微鏡下で成虫の生存・死亡・苦悶虫数を計数するとともに、産仔された幼虫の生存虫数を計数した。

3. 結果の概要

1) IRACコード4Aの薬剤は、露地野菜個体群に対していずれも死亡率は100%と高い効果を示したのに対し、かんきつ個体群では、いずれも生存個体が確認された。また、モスピラン顆粒水溶剤以外の薬剤では生存幼虫も多く確認され、明らかに効果不足であった。

2) IRACコード4A以外の薬剤は、トランスフォームフロアブルで、かんきつ個体群で若干の生存個体が確認されており、感受性低下の可能性が示唆された。その他の薬剤については、明確な感受性の違いは認められなかった。

3) 以上の結果から、今回の施設栽培カンキツ園で発生していたワタアブラムシは、ネオニコチノイド系殺虫剤の抵抗性個体群であることが確認された。トランスフォームフロアブルについては、さらに検討が必要であるものの、それ以外の系統の薬剤については、十分な効果があると考えられた。

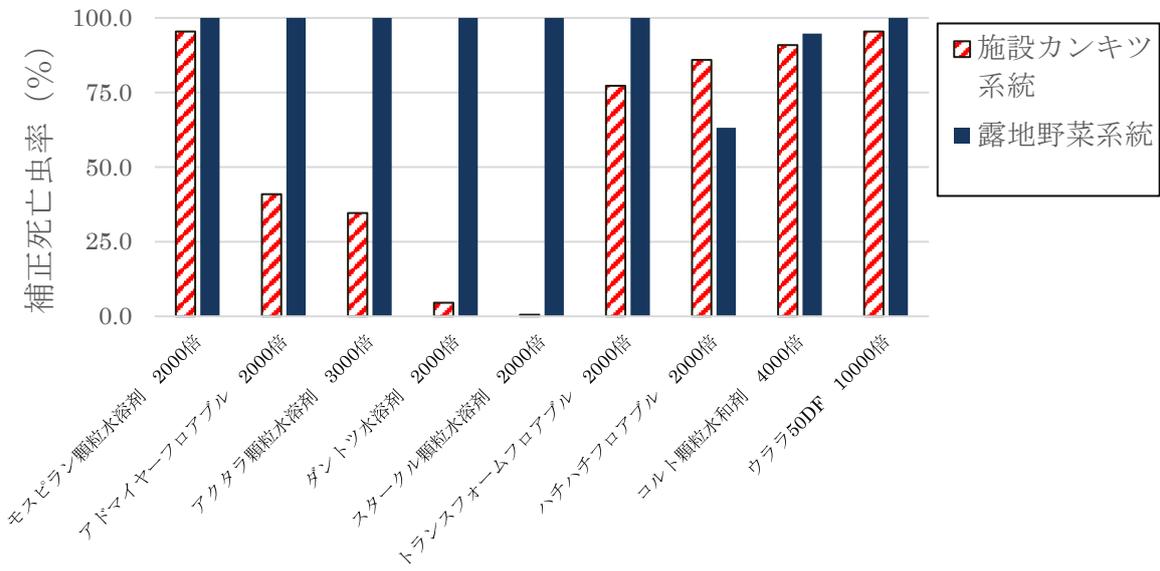


図 ワタアブラムシに対する薬剤の効果 (室内試験)
 処理3日後 成虫死亡率